

1600迄 (1719件)

1591年-08:00|インドネシア| |||<即位>パシヤン君主「Pangeran Benawa2世」(~1618年マタラムに統合)
1591年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王「ノオ・コウネ」(~1596年死去)
1591年-05:30|スリランカ| |||<死去>ジャナ王国国王「プ・ヴァラジャ・パンダラム」
1591年-05:30|インド| |||<就任>アラカル王国ラジャ「アリ・ラジャ・アブ・ハカル1世」(~1607年)
1591年-05:30|インド| |||<即位>アマト・カール王国国王「フルハン・ニザーム・シャ2世」(~1595年死去)
1591年-05:30|スリランカ| |||<即位>ジャナ王国国王「Ethirimana Ginkam」(~1617年死去)
1591年-05:30|インド| |||<即位>ヒール王国シャ「Ali Barid Shah2世」(~同年)⇒「Amir Barid Shah2世」(~1601年)
1591年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ王国スルタン「Unsa1世」(~1603年)
1591年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレク・ベ・イレベ「ホ・スタン・アリ・ハ・シャ」(~1592年)
1591年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンデリア王国総督「ジョヴァンニ・モチーネーゴ」(~1593年)
1591年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「クラス・フレミング・フ・リヘ・ティル・ウィク」(~15970413没)
1591年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ムスタファ・ハ・シャ」(~1592年)
1591年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンシメジャ「ペドロ・デ・ソウザ」(~1595年)
1591年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「ハジ・シャバン・ハ・シャ」(~1593年)
1591年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定提督「Francisco de Andrade」(~同年)⇒提督「Miguel Luis de Meneses」(1期目~1594年)
1591年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「テリ・ハサン・ハ・シャ・ガジ」(~15930622)
1591年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「アントニオ・フェレイラ・ペレイラ」(~1592年6月)
1591年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ニコラとステファン」(~1593年)
1591年-01:00|チュニジア| |||<即位>チュニス・ベ「イスマダン1世」(~1613年死去)
1591年-01:00|ニジェール| |||<即位>デントキ王国アスキヤ朝国王「Askiya Muhammad Gao」(~1592年)
1591年-01:00|イタリア| |||イタリアでガリレイがピサの斜塔で、全ての落下体は同じ時間で落下することを証明する実験を行う
1591年-01:00|イタリア| |||ウフィツィ美術館一部公開(フィレンツェ)
1591年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ植民地総督「Miguel Teles de Moura」
1591年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Goncalo Alves」⇒総督「Duarte Peixoto da Silva」(~1592年死去)
1591年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ベルキオール・デ・ランデム」
1591年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・ゴメラ伯「Alonso de Espinosa」知事(~1610年)
1591年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「ルカス・デル・バジェ・アルバラード」(3回目~1596年)
1591年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「アントニオ・アルバレス・ペレイラ」
1591年1月2日-09:00|日本|福島県南相馬市|天正18年12月7日|<所領安堵>陸奥小高領主48000石「相馬義胤」(⇒慶長2(1597)年5月陸奥牛越に移転)
1591年1月14日-09:00|日本|秋田県横手市|天正18年12月19日|<減封>出羽横手5万石「小野寺義道」⇒出羽国仙北上浦郡31600石(検地反対一揆で)(⇒慶長6(1601)年改易)
1591年1月14日-09:00|日本|茨城県ひたちなか市|天正18年12月19日|<水戸城合戦>常陸国太田城主佐竹義重は嫡子義宣をして那珂郡菅谷村の寄居城などを攻め破って攻略し、兵を勝田村の勝倉に進め勝倉城主勝倉四郎を攻め之れを討ち取って攻略
1591年1月15日-09:00|日本|茨城県水戸市|天正18年12月20日|<水戸城合戦>佐竹義宣、東中務政義、額田四郎義房らをして茨城県水戸城主江戸重通を攻め破りて水戸城を攻略、重通は下総国の結城に退去
1591年1月16日-09:00|日本|茨城県|天正18年12月21日|<府中城合戦>佐竹義重は更に新治郡石岡の府中城主大掾貞国、清幹を攻めて之れを破り攻略、常陸を統一/秀吉より支配権を認められる
1591年1月25日-09:00|日本|千葉県野田市|天正19年|<加増>下総関宿2万石「松平(久松)康元」⇒4万石(慶長8年8月14日(16030919)死去)
1591年1月25日-08:00|中国| ||明・隆慶4年|<死去>ヤカント・ハン国ハン「アブ・ダル・カリム」
1591年1月25日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・洪寧1年|大越莫朝・洪寧と改元(~1592年旧10月)
1591年2月1日-09:00|日本|広島県広島市中区|天正19年1月8日|毛利輝元、広島城がほぼ完成し入城
1591年2月3日-01:00|ドイツ| |||カルヴァン派主体のドイツ新教同盟が結成される
1591年2月10日-09:00|日本|秋田県男鹿市|天正19年1月17日|<減封>出羽国78500石「秋田実季」⇒52439石(~寛永7(1630)年蟄居)
1591年2月10日-09:00|日本|秋田県仙北市|天正19年1月17日|<所領安堵>出羽角館44350石「戸沢光盛」(~天正20年3月15日(15920426)死去)
1591年2月15日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天正19年1月22日|<死去>大和・紀伊・和泉三国110余万石(郡山城)「豊臣秀長」51歳、病死
1591年2月20日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天正19年1月27日|<拝領>大和・紀伊(郡山城)(秀長遺領のうち)「豊臣秀保(三好吉房の三子)」郡山豊臣家を相続(~文禄4(1595)年4月16日痘瘡により夭折)
1591年2月24日-09:00|日本|京都府京都市|天正19年閏1月|(1月~)秀吉、京都に御土居を築く/京都市街地全体を囲んだ土塁のことで外側に堀をめぐらせた南北約8.5km、東西約3.5kmの縦長の形をしており、全長22.5kmという長大な建造物
1591年3月11日-09:00|日本|滋賀県|天正19年閏1月16日|<加増>近江・美濃国内(上山城)2万155石「富田知信(信広)」+美濃国池田郡内8010石(⇒4.26近江国蒲生郡内9107石・同国野洲郡三上村で若干を加増)

1600迄 (1719件)

1591年3月13日 00:00|マリ/モロッコ/ニジェール| |||ソガイ帝国がモロッコ、ソガイ州からの侵攻により滅ぼされデング地域
元の場所に撤退

1591年3月25日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「ブラス・ソリス・デ・メロ」(~1595年)

1591年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロドヴィコ・ベルツィ」「アスカニオ・ベルツィ」

1591年4月2日-09:00|日本|茨城県|天正19年2月9日|佐竹義宣が鹿島・行方両郡の常陸大掾系の一族を中心とする
南方三十三館と称される武將たちを太田城に招き謀殺/常陸一國の支配体制確立

1591年4月2日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正19年2月9日|<加増>会津黒川42万石「蒲生氏郷」、会津6郡(長井
・信夫・伊達・安達・田村・刈田)44万石⇒86万石

1591年4月2日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正19年2月9日|<改易>陸奥大崎30万石「木村吉清」失政・領内一揆発生
の責任

1591年4月2日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正19年2月9日|<減移封>会津米沢(12郡余)72万石「伊達政宗」6郡没収
、葛西・大崎旧領13郡30万石を与えられる⇒陸奥岩出山(19郡余)58万石(⇒慶長8(1603)年陸奥仙台62万5千石)

1591年4月14日-01:00|ニジェール| |||<即位>ソガイ帝国皇帝「ムハマト・ガオ」⇒「アスキ・ヌー1世」(~1599年)

1591年4月21日-09:00|日本|京都府京都市|天正19年2月28日|豊臣秀吉の命で千利休(71)が葎屋町の屋敷で切腹(
誕生:1522)

1591年4月24日-09:00|日本|愛知県名古屋市西区|天正19年3月|大教坊源蔵ら、尾張国大野木六所社の社殿を再興

1591年4月24日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正19年3月|<転封>甲斐・信濃国2か国「羽柴秀勝」⇒美濃国岐阜13万
石(~天正20年9月9日(15921014)病死)

1591年4月24日-09:00|日本|京都府京都市中京区|天正19年3月|京本能寺洛中に移る

1591年4月24日-09:00|日本|山梨県|天正19年3月|<加増移封>近江国佐和山城2万石「加藤光泰」⇒甲斐24万石(~文
禄2年8月29日(15930924)病死)

1591年5月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「シュテファン1世スルトゥル」(~1592年10月)

1591年5月-02:00|ルーマニア| |||<即位>ワキア公「ステファン1世」(~1592.8)

1591年5月6日-09:00|日本|岩手県二戸市|天正19年3月13日|<九戸政実の乱>陸奥の九戸政実が、南部信直に対し
て反旗を翻す/九戸側の櫛引清長の苦米地城攻撃を皮切りに、ついに九戸政実は5千の兵を動かして挙兵し、九
戸側に協力しない周囲の城館を次々に攻め始めた

1591年5月6日-09:00|日本|広島県広島市|天正19年3月13日|<拝領>安芸広島112万石「毛利輝元」父祖伝来の吉田
都山城から広島へ居城を移した(~慶長5(1600)年10月10日長門萩29万8千石)

1591年5月6日-09:00|日本|福岡県|天正19年3月13日|<拝領>筑前一国と筑後・肥前各2郡30万7300石「小早川隆景」
(~文禄4(1595)年隠居)

1591年5月15日-05:30|イント/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領イント 総督「マヌエル・デ・スザ・コウチニョ」

1591年5月15日-05:30|イント/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領イント 総督「マティアス・デ・アルバカーキ」(~15970525)

1591年5月16日-09:00|日本|茨城県水戸市|天正19年3月23日|佐竹義宣が本拠を太田城から水戸城へ移す

1591年5月21日-09:00|日本|兵庫県三田市|天正19年3月28日|<死去>摂津三田23000石「山崎堅家」⇒嫡男「山崎家
盛」が嗣ぐ(⇒慶長5(1600)年冬、因幡若桜へ)

1591年5月29日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハーゲン・シュート・ウラハ辺境伯「エルスト・ヤーコフ」

1591年6月9日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ミナス侯爵フランシスコ・デ・スザ」(1回目~1598
年)

1591年6月11日-09:00|日本|大阪府堺市|天正19年4月20日|<死去>茶人の津田宗及

1591年6月17日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「アリス・デ・サルダニャー」(~15990824)

1591年6月17日-09:00|日本|滋賀県|天正19年4月26日|<加増>近江・美濃国内(上山城)2万8165石「富田知信(信広)
」+近江国蒲生郡内9107石・同国野洲郡三上村で若干を加増(⇒文禄4(1595)年2月28日、伊勢安濃郡2万石を加増、
嫡男・信高に分知)

1591年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「ヘンリク・クラッグ・ティル・トリンデラップ」(2回目~1595062
3)

1591年7月2日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴァンチエンツォ・ガリレイ(生年1520年頃/ガリレオ・ガリレイの父、イタリアのリュート奏者、作曲
家、音楽理論家)

1591年7月4日-09:00|日本|島根県|天正19年5月14日|<拝領>出雲3郡・伯耆3郡・安芸1郡・隠岐一国14万石「吉川広
家」(⇒慶長5(1600)年10月10日周防岩国3万石)

1591年7月13日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天正19年5月23日|直江兼続、出羽庄内藤島城を開城させ一揆制圧

1591年7月18日-01:00|スロベニア| |||<死去>ヤコブス・ガルス、スロベニアの作曲家(生年1550年)

1591年7月26日-09:00|日本|兵庫県養父市|天正19年6月6日|<死去>但馬八木1万5千石「別所重棟」⇒子の「別所吉
治」が嗣ぐ(~慶長5(1600)年関ヶ原合戦で西軍に与し改易)

1591年8月1日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「セルダル・フェハト・パシャ」(1期目~15920404)

1591年8月3日-09:00|日本|岩手県|天正19年6月14日|<葛西大崎一揆(陸奥国)>政宗は再び出陣して本格的に一揆
の掃討に取りかかるが、一揆勢の烈しい抵抗に遭い浜田景隆・佐藤為信ら重臣が相次いで討ち死にを遂げる

1591年8月9日-09:00|日本|岩手県|天正19年6月20日|<和賀・稗貫一揆(陸奥国)>和賀氏らは再仕置軍に鎮圧され、
和賀義忠は逃走の途中で土民に殺害された

1591年8月9日-09:00|日本|岩手県|天正19年6月20日|南部領内で火を噴いた九戸政実の乱の鎮圧のため奥州再仕
置軍は奥羽に侵攻し、蒲生氏郷や浅野長政と合流して一揆を平定しながら北進

1591年8月14日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正19年6月25日|<葛西・大崎一揆>伊達政宗、陸奥国大崎宮崎城を攻
略

1600迄(1719件)

1591年8月17日-09:00|日本|宮城県登米市|天正19年6月28日|<佐沼城の戦い>政宗は再び佐沼城を攻撃、落城させる/政宗は葛西領も平定
1591年8月19日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|天正19年7月|<拝領>下野烏山2万石「成田氏長」(⇒慶長5(1600)年37000石に加増)
1591年8月19日-09:00|日本|三重県松阪市|天正19年7月|<拝領>伊勢一志郡3万5千石「服部一忠」松坂城主(〜文禄4(1595)年7月所領没収)
1591年8月21日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>マテウ総督「Antonio Pereira Lopes de Berredo」(〜15950120)
1591年8月21日-09:00|日本|宮城県登米市|天正19年7月3日|<葛西大崎一揆>伊達政宗、この寅刻に陸奥国大崎佐沼城を攻略し、城主兄弟をはじめ「究意之者共」500名を討ち捕らえ、2000余人を「刎首」、女子供まで「撫切」に処す/葛西、大崎一揆が鎮圧される
1591年8月22日-09:00|日本|宮城県登米市|天正19年7月4日|<葛西大崎一揆>寺池城が陥落すると残った一揆勢も降伏して、ようやく一揆は終息
1591年9月-02:00|ルーマニア| ||<即位>モルダヴィア王「アロン1世」(1期目〜1592.6)
1591年9月12日-09:00|日本/ポルトガル/インド| ||天正19年7月25日|豊臣秀吉がポルトガルのインド総督へ書簡、布教の禁止と貿易を求める
1591年9月18日-09:00|日本|広島県三原市|天正19年8月|小早川隆景、三原成就寺方丈を造立
1591年9月18日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正19年8月|<改易>葛西大崎30万石(寺池城(登米城))「木村吉清」葛西大崎一揆の責任を問われ
1591年9月22日-09:00|日本|京都府京都市中京区|天正19年8月5日|顕如は秀吉から京都堀川六条の地を寄進され、本願寺を建立(西本願寺)
1591年9月25日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン選帝侯「クリスティアン1世」
1591年9月25日-01:00|ドイツ| ||<就任>ザクセン選帝侯国摂政「Sophie of Brandenburg」(〜1601年)
1591年9月29日-01:00|ドイツ| ||<死去>東フリースラント伯「Johan2世」
1591年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ベッルツィ」「オットアヴィアーノ・ゴジ」
1591年10月1日-09:00|日本|宮城県石巻市|天正19年8月14日|旧葛西家臣らが伊達政宗によって陸奥須江山で誅殺される
1591年10月6日-09:00|日本|大阪府|天正19年8月19日|<拝領>河内ほか1万石「北条氏直」再興(〜11.4大坂で病死)
1591年10月7日-09:00|日本|岩手県北上市|天正19年8月20日|和賀、稗貫一揆が鎮圧される/和賀氏らも頑強に抵抗したものの、再仕置軍に鎮圧され、和賀義忠は逃走の途中で土民に殺害された
1591年10月8日-09:00|日本| ||天正19年8月21日|秀吉、奉公人・侍・中間・小者・百姓の身分を固定化する身分統制令を発布、転職を禁ず
1591年10月10日-09:00|日本|岩手県二戸郡一戸町|天正19年8月23日|<九戸政実の乱>九戸政実輩下の小島谷摂州は50名の兵を引き連れて美濃木沢で仕置軍に奇襲をかけ480人に打撃を与え、これが緒戦となった
1591年10月16日-01:00|バチカン| ||<死去>第229代ローマ教皇「グレゴリウス14世」55歳(誕生15351102)
1591年10月18日-09:00|日本|岩手県二戸郡一戸町|天正19年9月1日|<九戸政実の乱>豊臣軍が、九戸政実方の姉帯城、根反城を攻略/九戸政実は九戸城に籠もる
1591年10月19日-09:00|日本|岩手県二戸市|天正19年9月2日|<九戸城の戦い(陸奥国)>総勢6万の兵が九戸城を包囲し、以降攻防を繰り返した/九戸政実は再仕置軍の包囲攻撃に対し、少数の兵で健闘したが、城兵の半数が討ち取られた
1591年10月21日-01:00|オランダ| ||ネーデルラントで、モリッツ軍がニメーゲンを占領
1591年10月21日-09:00|日本|岩手県二戸市|天正19年9月4日|<九戸政実の乱>奥州の九戸政実が蒲生氏郷に降伏/九戸実親はじめ城内に居た者は全て二の丸に押し込められ惨殺、撫で斬りにされ火をかけられ
1591年10月24日-09:00|日本|愛知県津島市|天正19年9月7日|豊臣秀吉の母大政所、尾張国津島社の居森殿を造営させ、この日遷宮
1591年11月 06:00|コスタリカ/スペイン| ||<就任>コスタリカ暫定総督「バートロミー・デ・ランス」(〜1593年2月)
1591年11月1日-09:00|日本/フィリピン| ||天正19年9月15日|豊臣秀吉、原田孫七郎をルソンに派遣し、入貢を求める
1591年11月3日-01:00|バチカン| ||<就任>第230代ローマ教皇「インノケンティウス9世」(〜12.30死去)
1591年11月6日-09:00|日本|岩手県二戸市|天正19年9月20日|<移封>陸奥三戸領主「南部信直」⇒陸奥福岡城10万石/南部信直は重臣の北秀愛を和賀稗貫8千石の城代とし、北秀愛は鳥谷ヶ崎城を花巻城と改名
1591年11月6日-09:00|日本|岩手県二戸市|天正19年9月20日|<九戸政実の乱>九戸政実(56陸奥九戸城主)処刑
1591年11月8日-09:00|日本|福井県|天正19年9月22日|<加増>若狭国小浜8万石「浅野長政」+若狭の蔵入地から6500石(⇒文禄2(1593)年甲斐国府中21万5千石)
1591年11月9日-09:00|日本|宮城県大崎市|天正19年9月23日|<改名>伊達政宗は陸奥国岩手沢城を岩出山城とし居城とした
1591年11月11日-09:00|日本|広島県世羅郡世羅町|天正19年9月25日|世羅郡青近八幡宮の社殿再興
1591年11月13日-09:00|日本|宮崎県西臼杵郡高千穂町|天正19年9月27日|県領主高橋元種、日向高千穂の領主・三田井親武を、甲斐宗説と連合で攻め、これを滅ぼす
1591年11月16日-09:00|日本|岩手県二戸市|天正19年10月|<加増>南部信直:九戸の乱後、津軽三郡の替地として和賀・稗貫・志和三郡を⇒10万石/九戸城を福岡城と改めて三戸から移る
1591年11月18日 00:00|イギリス| ||<死去>2代マリ女伯「エリザベス・ステュアート」
1591年11月18日 00:00|イギリス| ||<就任>2代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」エリザベス・ステュアートの夫(〜15920207死去)
1591年11月27日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョ・アコステイノ・カンピ・ギウスティアーニ」(〜15931126)

1600迄(1719件)

1591年11月28日-09:00|日本|福島県会津若松市|天正19年10月13日|<加増>陸奥国会津42万石「蒲生氏郷」+伊達政宗旧領⇒73万4千石

1591年12月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アロン」(1回目~1592年6月)

1591年12月-01:00|スペイン| |||フェリペ2世が、アラゴンで起こった反乱を鎮圧して、地方貴族の特権を停止

1591年12月-01:00|フランス/スペイン| |||フランス王アンリ4世、フランス北部のルアンを包囲するがスペイン軍に撃退される

1591年12月16日-09:00|日本|千葉県館山市|天正19年11月|(6月~)<移転>安房一国(岡本城)4万石「里見義康」⇒館山城(⇒慶長2(1597)年9万1千石に高直し)

1591年12月19日-09:00|日本|大阪府|天正19年11月4日|<死去>河内ほか1万石「北条氏直」元小田原城主、後北条氏第5代当主(30)河内国天野で(誕生:永禄5(1562))/後北条氏嫡流は途絶える

1591年12月25日-09:00|日本|愛知県津島市|天正19年11月10日|尾張国津島社の楼門が建立される

1591年12月30日-01:00|バチカン| |||<死去>第230代ローマ教皇「インノケンティウス9世」[15190720生~](享年72)

1592年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「トクメン・ジャサト・ハン」

1592年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>アンボン島ポルトガル首領「Antonio Pereira Pinto」(~1596年)

1592年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Tristao de Sousa」(~1595年)

1592年-08:00|インドネシア| |||<即位>パンカラン君主「Raden Kara」(~1621年)

1592年-08:00|マレーシア| |||<即位>パハン・スルタン「アブドゥル・ガフル・ムヒディン・シャー」(~16140816没)

1592年-05:30|スリランカ| |||<即位>キャンディ王国国王「ウイマラ・ダルマシリヤ1世」(~1604年死去)

1592年-05:30|インド| |||ニルギリ国はマジュリノの支流(~1728年)

1592年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルベイ「ハデ・イム・オスマン・パシャ」(~同年)

1592年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジョヴァンネ・メニコ・チコニヤ」(~1594年)

1592年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハリル・パシャ」(~1593年)

1592年-01:00|フランス| |||<死去>ジョユース公「Antoine Scipion」

1592年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファド・ケーツ執行官「ペーター・クリストフ・シュバティウス」(~1597年)

1592年-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー総督「ペーター・エルンスト・グラーフ・フォン・マンズフェルト・ヘルドルゲン」(12.6まで代行~1594年2月)

1592年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Henri de Bourbon」(~16080227死去)

1592年-01:00|スペイン| |||<就任>リャゴルザ伯「Francis」(~1598年)

1592年-01:00|フランス| |||<即位>ジョユース公「Henri」(~16080928死去)

1592年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ植民地総督「Duarte Peixoto da Silva」

1592年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Frei Francisco de Vila Nova de Portimao」(~1593年)

1592年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島領土執達吏(トースハウ)「Mogens Nielsson」(~1593年)

1592年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「アトキア伯爵ジョアン・ゴンサルベス・デ・アタイン」(~1628年没)

1592年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Thomas Mortimer」(~同年)⇒「Cuthbert Gerrard」(1期目~1593年)

1592年 00:00|イギリス/フォークランド| |||イギリスの探検家デ・ベイスがフォークランド諸島を発見

1592年 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領トビ総督・総司令官・大審問院長代行「ペドロ・デ・イエゴ・デ・アラナ」⇒暫定総督・総司令官・大審問院長「フリオ・ナルバエス・デ・メントーサ」(~1593年)

1592年 05:00|キューバ| |||キューバ総督のオフィスがサンチアゴからハバナに移る。以後、ハバナが実質的な首都となる

1592年 07:00|メキシコ| |||サルイス・ポトシに銀鉱発見

1592年1月5日-01:00|ベルギー/トビツ/オランダ| |||<死去>ユリヒ=クレフェ=ベルク連合公、ゲルデルン公、マルク伯「ヴィルヘルム5世」兼ラウゲンスベルク伯「ヴィルヘルム4世」

1592年1月5日-01:00|ベルギー/トビツ/オランダ| |||<即位>ユリヒ=クレフェ=ベルク連合公・ラウフェンスベルク伯・マルク伯「ヨハン・ヴィルヘルム1世」(~16090325死去)

1592年1月15日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天正19年12月|豊臣秀吉が松浦鎮信に命じ朝鮮出兵兵站基地として勝本城を築く(本多因幡守俊正(俊政)に守らせる)

1592年1月21日-09:00|日本|宮城県東松島市|天正19年12月7日|<葛西大崎一揆(陸奥国)>伊達政宗は秋保氏一族の馬場定重・頼重父子に命じて小野城主・長江勝景(葛西晴信・相馬義胤からみて義兄)を殺害させた

1592年1月30日-01:00|バチカン| |||<就任>第231代ローマ教皇「クレメンス8世」(~16050303死去)

1592年1月31日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのベイルベイ「シナンパシャ・ゲート・メフメト・パシャ」(1回目~15930128)

1592年2月1日-09:00|日本|京都府京都市|天正19年12月18日|<辞任>関白「豊臣秀吉」

1592年2月7日 00:00|イギリス| |||<死去>2代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」

1592年2月7日 00:00|イギリス| |||<就任>3代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」先代の息子(~16380806死去)

1592年2月11日-09:00|日本|京都府京都市|天正19年12月28日|<就任>関白「豊臣秀次」(豊臣秀吉の姉「日秀尼」の長男、~文禄4年7月8日)/秀吉は太閤となる

1592年2月13日-09:00|日本| ||天正20年|文禄通宝(銀銭・銅銭)を铸造

1592年2月13日-09:00|日本|駒沢大学|天正20年|江戸駿河台吉祥寺境内に「学林」設立

1592年2月13日-09:00|日本|東京都千代田区|天正20年|小田原の浄土宗誓願寺が江戸の神田に移転

1592年2月13日-09:00|日本|長崎県壱岐市|天正20年|勝本城頭に城山稻荷神社を建立

1592年2月13日-08:00|中国| ||明・万暦20年|<死去>ヤルカント・ハン「アブドゥル・カリム」

1592年2月13日-08:00|中国| ||明・万暦20年|<即位>ヤルカント・ハン「ムハンマド」アブドゥル・ウッラシト1世の子、アブドゥル・カリムの

1600迄(1719件)

弟(〜1610年、死去)

1592年2月13日-07:00|ベトナム||大越莫朝・洪寧2年1月|大越チントゥン(鄭松)がタロン城を攻撃、莫朝軍の死傷者多数、莫敬止、城を放棄、都より敗走し(莫朝)亡命

1592年2月29日-01:00|イタリア||<死去>アレサント・ロ・ストリツィョ、イタリアの作曲家(生年1540年頃)

1592年3月14日-09:00|日本|大分県|天正20年2月|<交替>豊後府内、豊後一国37万石「大友義統」隠居⇒嫡子「大友義乗」が継ぐ(⇒文禄2(1593)年5月1日改易)

1592年3月14日-09:00|日本|埼玉県行田市|天正20年2月|<加増移封>駿河沼津城4万石「松平忠康(徳川家康の四男)」⇒武蔵忍城10万石(⇒慶長5(1600)年、尾張・美濃国清洲52万石)

1592年3月14日-08:00|中国||明・万暦20年2月|寧夏でモンゴル出身の将軍ホバイが挙兵(〜9月)

1592年3月22日-01:00|ドイツ||<死去>メレンブルク=シュヴェーリン公「ヨハン7世」

1592年3月22日-01:00|ドイツ||<即位>メレンブルク=シュヴェーリン公「アドルフ・フリートリヒ1世」ヨハン7世の息子(〜1628年神聖ローマ皇帝フェルディナント2世によって廃位)

1592年4月-05:30|インド||ムガル帝国がオリッサ地方を併合

1592年4月1日-01:00|サンマリノ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マリノ・オネーニ」「ジュリアーノ・ゴジ」

1592年4月1日-09:00|日本|千葉県旭市|天正20年2月19日|<移封>武蔵忍(城預かり)「松平家忠」⇒下総上代1万石(〜文禄3(1594)年下総小見川へ)

1592年4月4日-02:00|トルコ||<就任>オスマン帝国大宰相「カジ・エリ・シブ・シュ・パシャ」(3期目〜15930128)

1592年4月12日-09:00|日本|千葉県佐倉市|天正20年3月|<加増移封>下総小金3万石「松平(武田)信吉(徳川家康五男)」⇒下総佐倉5万石(〜慶長7(1602)年常陸水戸へ)

1592年4月18日-01:00|ドイツ||<死去>フェルデナント伯「George John1世」

1592年4月18日-01:00|ドイツ||<就任>フェルデナント伯「George Gustavus」(〜16340603死去)

1592年4月26日-09:00|日本|秋田県仙北市|天正20年3月15日|<死去>出羽角館44350石「戸沢光盛」⇒甥の「戸沢政盛」が継ぐ(〜慶長7(1602)年9月、常陸松岡に転封)

1592年5月23日-01:00|韓国/日本||天正20年4月12日|<文禄の役>午前8時、日本軍の一番隊の宗義智と小西行長は700艘の大小軍船で対馬・大浦を出発し、午後2時過ぎに釜山に上陸/当地の慶尚左水使朴泓は山中へ逃亡し、漢城府へと走った/慶尚右水使元均は巨済島から急行したが、日本軍の勢力が凌駕するのを見て交戦を諦め、水軍船舶(主力艦の板屋船を含む)を戦わずして沈めると、水軍将卒を解散し、玉浦萬戸李雲龍、所非浦権管李英男、永登萬戸禹致績ら側近や精兵だけを連れ、4隻に分乗して昆陽へ撤退/慶尚道水軍は壊滅し、日本軍は楽々と制海権を確保

1592年5月24日-03:00|韓国/日本||天正20年4月13日|<釜山鎮の戦い(朝鮮)>朝6時、宗義智は釜山の城壁に攻め寄せた/鄭撥は味方の軍船を沈め、兵民とともに城に籠った/日本軍は火縄銃の援護を受けながら、城壁に梯子を掛けて攻め込み、戦の経験豊富な日本兵は朝鮮側の防衛を圧倒/宗義智による攻撃を受けた後、朝鮮軍は二次防衛線まで後退/朝鮮側の鄭撥は、弓手を再編成して反撃したが、この時はすでに朝鮮側は三次防衛線まで後退していた/数時間の戦闘の後、朝鮮軍は矢を使い果たし、日本軍も損害を受けたため部隊を再編成した後、攻撃を再開/鄭撥が被弾して戦死

1592年5月24日-01:00|韓国/日本||天正20年4月13日|<釜山鎮の戦い(朝鮮)>午前8時頃には城内に攻め入られ、副使の李庭憲を含む朝鮮側將兵は多くが打ち取られた/釜山とは山を隔てて反対側に位置する左水営を拠点とする水軍の将である慶尚左水使朴泓は、山頂から釜山城が攻撃されているのを見て驚愕し、救援には向かわず任地も軍船も放棄して、そのまま逃亡/隣の管区の水軍の将で、巨済島の右水営から急行してきた慶尚右水使元均は、当地は混乱状態で兵士が集まらず戦うことは不可能と考え、慶尚道に属した2つ水軍の100隻あまりの軍艦と火炮を海に沈め、自らは側近と数隻の船に乗って、昆陽まで退却

1592年5月25日-01:00|韓国/日本||天正20年4月14日|<多大鎮の戦い>夜半、小西行長は奇襲して木石土塊を掘に投じて、午前4時から8時の間にこれを埋めた/日本軍は攻城、激しい乱戦となり尹興信は戦死し、日本側は多大鎮の砦を占拠:<西平浦の戦い>西平浦の砦も陥落

1592年5月26日-09:00|韓国/日本||天正20年4月15日|<東萊城の戦い>(14日〜)小西行長軍の兵に宋象賢が生け捕りに抵抗し刺され息絶えた。東萊城内の制圧は2時間ほどで終わった/朝鮮軍は崩壊して潰走:小西行長らが、左水営・機張城を攻略/左水使・朴泓は山林に逃走

1592年5月26日-09:00|韓国/日本||天正20年4月15日|日本軍はこの日さらに無人の慶尚左水営と機張を占領/日が暮れてから宗義智隊は梁山に到達し、偵察中に鉄砲を射かけたところ、朝鮮城兵は驚愕して城を捨てて潰走

1592年5月27日-09:00|韓国/日本||天正20年4月16日|<梁山城の戦い>朝早く、無人となった梁山城を小西主殿助率いる小西・宗両隊先発隊が占領

1592年5月28日 04:00|韓国/日本||天正20年4月17日|<鵲院関の戦い>午後、小西行長と松浦鎮信隊は鵲院に迫った/密陽府使朴晋は兵を集めて、洛東江左岸に雲門嶺山地が迫る鵲院関の隘路で待ち伏せ、初めて野戦で迎え撃ち、日本軍の進撃を阻止しようとしたが、日本軍の斥候がこの敵兵を発見。二手に分かれ、行長の八代衆が正面から攻撃する間に、鎮信の平戸の鉄砲衆が右側面に回り込み、山手から狙い撃った/朝鮮軍は伏兵に驚き、散々撃たれて遁走。日本軍は追撃して300名余を討ち取った/朴晋は密陽に戻り、兵器倉庫に火を放つと城を捨てて山中に逃れた

1592年5月29日-09:00|韓国/日本||天正20年4月18日|<安骨浦・金海城の戦い>黒田長政らが、金海府城を攻略

1592年5月29日-09:00|韓国/日本||天正20年4月18日|小西行長は密陽を占領

1592年5月30日-09:00|韓国/日本||天正20年4月19日|加藤清正率いる第二軍が彦陽を落とす

1592年5月30日-09:00|韓国/日本||天正20年4月19日|三番隊の黒田長政と大友吉統は海路から安骨浦を攻撃。

1600迄 (1719件)

朝鮮軍も港から軍船を出して迎撃し、初めて海戦が発生、日本軍は押し返して5隻を奪い、上陸して城に迫った/金海府使徐礼元は金海城の城門を閉ざして抗戦したが、日本軍は城外の藁を刈って堀に投げ入れ、埋め立てて城壁をにじり上った。これを見た草溪郡守李惟俊が西門を開けて逃亡し、それを見た朝鮮城兵も持ち場を捨てて逃げ出したので、止む無く徐礼元も城を脱出して晋州へ落ち延びた。城はたちまち日本軍の占領することとなり、日本軍が斬った首は数千といわれる

1592年5月31日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月20日|<慶州城の戦い>二番隊の加藤清正と鍋島直茂は慶州城を攻撃。朝鮮城兵は弓で抗戦したが、新任の慶州府尹邊応星はまだ到着しておらず、次官である慶州判官朴毅長は敵の猛攻に恐怖に駆られて逃亡。城兵は大混乱に陥り、城内に乱入した日本軍は1500余の首を取った

1592年5月31日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月20日|小西行長は大邱城を占領

1592年6月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督代行「ネストル・ウレヒ」(~10.8)

1592年6月1日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月21日|加藤清正と二番隊は永川を占領

1592年6月1日-09:00|韓国| |||郭再祐が慶尚道で最初の義兵軍を立ち上げる

1592年6月2日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月22日|小西行長は仁同城を占領

1592年6月3日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月23日|小西行長は浅瀬で洛東江を渡って善山に至った/李鎰は尚州城に入ったが、尚州牧使金加は、出迎えを口実に城を出てそのまま逃亡。城には尚州判官権吉が一人取り残っていたが、一兵もいなかった

1592年6月4日-01:00|フランス| |||<死去>モンパンス公・シャペロー公「フランソワ・ド・ブルボン」

1592年6月4日-01:00|フランス| |||<就任>モンパンス公・シャペロー公「アンリ・ド・ブルボン」(~16080227死去)

1592年6月4日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月24日|<尚州の戦い(朝鮮)>日本軍は、正面から小西行長隊が、松浦鎮信、大村喜前・五島純玄の各隊は左右から攻撃/李鎰は北に敗走し、李鎰の軍は潰走/300人が討ち取られ、防禦使兼兵曹佐郎李慶流や尚州判官権吉といった多くの軍官が戦死/この戦いの前に尚州城はすでに落城しており、従事官(官僚)で校理の朴、尹暹も死亡し、倭学通事(通訳)景応舜は捕虜となった

1592年6月5日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月25日|小西行長が尚州で朝鮮軍に勝利

1592年6月5日-09:00|日本|愛知県常滑市|天正20年4月25日|尾張国大谷八幡社の社殿が建立

1592年6月6日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月26日|日本軍が咸昌と聞慶を占領

1592年6月7日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月27日|忠州にて小西行長らが、朝鮮軍を破る

1592年6月8日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月28日|<秋風嶺の戦い>三番隊の黒田長政は秋風嶺を越えようとしているところで朝鮮軍と義兵張智賢の連合軍が立ち塞がって交戦したが、撃破

1592年6月8日-09:00|韓国/日本| ||天正20年4月28日|<忠州の戦い(朝鮮)>早朝、申弼は敵情を得ぬまま忠州城を出て、北西の弾琴台に陣をしいた/小西行長は軍を三つにわけて三方向より攻撃。申弼は弓矢で応戦したが、数千挺の火縄銃による一斉射撃によって敵をなぎ倒すという日本軍の戦術を十分に把握しておらず弓隊は混乱して敗走。申弼は劣勢を挽回しようと二度突撃を行ったが、いずれも撃退され為すすべなく軍が大潰走、申弼は自ら馬に鞭打って川に飛び込み、水中に没して自殺/朝鮮兵は蹴散らされ、逃げ惑って漢江は死体で埋め尽くされた。李宗張とその息子李希立、金汝ヅ、邊から諸将が乱戦の中で戦死。李鎰は東の山間に逃げ込んで辛くも脱出し、敗報を知らせた。日本軍はさらに追撃して、3千余の首級を挙げ、数百の捕虜を得た

1592年6月9日-09:00|韓国| |||朝鮮国王宣祖は、夜逃げ同然で漢城府を放棄して北の開城に向かった/臨津江では、南岸の一部の家屋を焼き払い、船は尽く北岸に集めて、日本軍が渡河のための資材を得られないようにしてから逃げる

1592年6月10日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳成龍」(~7.9)

1592年6月10日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月|亀井茲矩の軍は泗川付近に上陸し、泗川城を攻略し、さらに昆陽城と河東城を攻略/朝鮮軍の金時敏は、1千の兵で泗川城に近づいたが、日本軍の守備が厳重なのを見て、攻撃を止めた

1592年6月10日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月1日|小西行長、加藤清正らが麗州占領

1592年6月11日-09:00|韓国| ||天正20年5月2日|首都防衛の要である漢江を任されていた都元帥金命元は、日本軍が数万の軍勢であることを見て戦意喪失、防戦自体を諦めて火炮を川に遺棄させ、軍を棄てて臨津に逃れた/副元帥申恪も山中に走って楊州へ逃げた/漢城府の防衛を任されていた留都大將李陽元は、これを聞いて都を放棄して楊州に撤退/首都は朝鮮乱民が放火掠奪に奔り、宮殿焼失

1592年6月12日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月3日|<清州占領>三番隊は忠清道に入り、青山を經由して清州を占領

1592年6月16日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月7日|<玉浦開戦>李舜臣、李億祺、元均の三将が率いる朝鮮水軍は全羅左水營・麗水より加徳島に向かう途中、巨済島東側にある入江・玉浦に停泊中の日本の水軍と輸送船団とを発見し襲撃/不意を突かれた日本側は十分に防戦できず、文禄の役における初めての朝鮮側勝利

1592年6月17日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ボンメルン・グオルグ・スト公「エルスト・ルトヴィグ・イ化平等公」

1592年6月17日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ボンメルン・グオルグ・スト公「フィリップ・ユリス」(~1603年)

1592年6月17日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/クロアチア/トルコ| |||ビハッチ(当時クロアチア領)がオスマン帝国により陥落

1592年6月17日-09:00|韓国/日本/朝鮮| ||天正20年5月8日|朝鮮水軍は赤珍浦に日本船13隻が停泊しているのを見え/日本軍は船には戻らずに陸から鉄砲で銃撃をしたが、朝鮮水軍は陸戦を避け、放置されていた船を焼いてしばらく交戦した後で引き揚げた

1592年6月24日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「フランシスコ・デ・アルメイダ」(~15930408)

1592年6月27日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月18日|<臨津江の戦い>早朝、渡河した朝鮮軍は河畔に残っていた僅かな加藤隊の前哨部隊に殺到して、これを包囲/加藤清正は主力部隊を率いて駆けつけて挟み撃ち/朝鮮軍は退路を失って自ら崖より江に飛び降りて溺死する者も多数で、背水の陣となった朝鮮兵に逃げ場はなく、多

1600迄(1719件)

くは日本兵の撫で斬りに遭ってほぼ全滅

1592年7月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「コラン・ニルソン・ホーイ・アフ・ジ・エス」(3回目~1600年6月)

1592年7月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア対立総督「ピョートル7世」(~10.4死去)

1592年7月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「マルチン・ガルス・オニエス・デ・ロヨ」(~15981122)

1592年7月6日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月27日|<臨津江の戦い>加藤清正、鍋島直茂、小西行長、黒田長政らが漢城を出陣、開城の南に流れる臨津江で対岸の朝鮮軍と対峙。和平交渉を行うも朝鮮軍が渡航したため戦闘となり、秀吉軍が勝利/一番隊と二番隊は下流で渡河し、この地を守備していた李舜らの軍は遁走し、一矢も放たずに駆逐された/臨津江の防御線を突破された金命元と李陽元は平壤に向けて退却を始めた/日本軍は開城を占領し、金郊駅からは二番隊が咸鏡道に向かい、一番隊と後続の三番隊が平壤に向けて追撃を続けた

1592年7月7日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月28日|小西行長、加藤清正、黒田長政らが臨津江を渡河して朝鮮京畿道開城を陥とす

1592年7月8日-09:00|韓国/日本| ||天正20年5月29日|<泗川海戦>泗川沖で李舜臣率いる朝鮮水軍が、日本水軍を破る

1592年7月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「崔興源」(~15931117)

1592年7月9日-02:00|韓国/日本| ||天正20年6月|<原州の戦い(鶴原山城の戦い)>江原道の助防将元豪が日本軍の小隊に攻撃を加えると、毛利吉成らが兵を向け、元豪は逃亡。日本軍は原州に向けて出発したが、牧使金悌甲らは士卒4000人とともに鶴原山城にこもり阻止しようとしたが、毛利吉成らは険しい崖をよじ登り攻略し、金悌甲らは戦死

1592年7月9日-02:00|韓国/日本| ||天正20年6月|<平昌の戦い>毛利吉成は平昌郡守権斗文に降伏の使者を送ったが、権斗文の部下が使者を切り殺し、権斗文らは山中に逃亡。毛利吉成は激怒し、秋月種長に彼らを攻めさせた

1592年7月9日-02:00|韓国/日本| ||天正20年6月|清洲・平壤・幸州山で義僧(霊圭、惟政ら)が蜂起

1592年7月10日-02:00|韓国/日本| ||天正20年6月2日|<唐浦の海戦>朝、李舜臣は唐浦に停泊中の得居(来島)通幸・亀井茲矩率いる20余隻の船団を攻撃し、一説には日本軍船団は全滅

1592年7月13日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)代行「ミカウス・タルグオサス」(1回目~10.22)

1592年7月13日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「エルナン・リアス・デ・サベドゥ」(1回目~1594年)

1592年7月13日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領メハ・アンダルス総督「エルナン・リアス・デ・サベドゥ」(1回目~1590708)

1592年7月13日-09:00|韓国/日本| ||天正20年6月5日|<鼎津の戦い>安国寺恵瓊らの1,500の日本軍が咸安方面から宜寧に入ろうとしていたが、郭再祐は鼎津に兵を置いて渡河を阻んだ。日本軍は渡ることができず引き揚げた

1592年7月13日-09:00|韓国/日本| ||天正20年6月5日|<茂溪の戦い>前僉使で武勇の人と言われる孫仁甲率いる朝鮮軍が毛利勢の村上景親が守る茂溪の砦を攻めたが、日本軍が奮戦して撃退し、さらに追撃し数百人を倒した

1592年7月13日-09:00|韓国/日本| ||天正20年6月5日|<龍仁の戦い>勇将として選ばれた白光彦(助防将)・李之詩(助防将)らが率いる、精兵として選ばれた数千九百人の朝鮮兵が龍仁の城を奪取しようと攻撃したが、脇坂安治家臣配下の守備隊600人は、脇坂安治本軍の援軍が到着するまで朝鮮軍との交戦を避けた/脇坂安治本軍1,000人が到着すると、日本軍は反撃を開始し朝鮮軍を破り、10万人の朝鮮軍は崩壊し武器を捨てて退却/朝鮮軍では、白光彦、李之詩、その弟李之礼ら勇将が戦死し、李洸(全羅道巡察使)、尹国馨(忠清道巡察使)、金効(慶尚道巡察使)、権慄(光州牧使)ら朝鮮軍指揮官らは各地へ逃走

1592年7月13日-09:00|韓国/日本| ||天正20年6月5日|<醴泉の戦い>毛利の武将吉川広家の兵が、醴泉に集まった朝鮮義兵数千を攻撃し撃退

1592年7月14日-09:00|韓国/日本| ||天正20年6月6日|<第1次唐項浦海戦>(5日~)慶尚右水使・元均・全羅右水使・李億祺の艦隊と合流し51隻となった李舜臣率いる朝鮮水軍は、唐項浦沖に集結していた加藤清正旗下の日本水軍を攻撃。李舜臣は艦隊を2つに分けて日本水軍を誘引し、先の唐浦の海戦のようにまず日本軍の大型船の安宅船を先に攻撃して撃沈して主導権を握り、再び日本水軍壊滅という一方的な勝利を収めた

1592年7月15日-09:00|韓国/日本| ||天正20年6月7日|<栗浦海戦>李舜臣の朝鮮船隊は正午頃に永登浦に到着、小規模の倭船隊を発見して追撃/来島通之は海戦で敗れ倭軍は船を捨てて陸地へ逃亡

1592年7月20日-08:00|中国/日本/韓国/朝鮮| ||天正20年6月12日|毛利吉成が鉄嶺で朝鮮軍を破る

1592年7月23日-09:00|日本|熊本県葦北郡芦北町|天正20年6月15日|<梅北一揆(日向国)>島津氏の家臣・梅北国兼、佐敷城の町人らと共に城の明け渡しを求め、ついに城内に入り城を占拠

1592年7月23日-08:00|朝鮮/日本| ||天正20年6月15日|<大同江の戦い>(~16日)夜半に高彦伯と柳璟令は宗義智の陣営を強襲/不意を突かれた宗軍は義智の部将の杉村智清を失い苦戦したが、義智自ら抜刀し敵兵を数人斬るなどして奮戦し、朝鮮軍も李宣と任旭景が戦死/敗走を始めた朝鮮軍の背後に救援に駆け付けた小西行長や黒田長政の軍勢が襲いかかり朝鮮軍は大敗し、敗走する朝鮮兵は溺死するものが相次いだ

1592年7月24日 05:00|コロンビア| |||ト市議会は、アロンソ・モロ・ベジドを指導者として反乱開始(アルカラスの反乱)

1592年7月24日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年6月16日|<平壤城の戦い>日本軍は徒歩で浅瀬の大同江を渡り平壤城を目指した/一方、平壤城の金命元と尹斗寿は夜襲部隊の敗戦を知ると門を開いて兵士と民を避難させ武器は池の中に捨てて、自身らは順安に逃亡/日本軍は斥候により朝鮮軍が逃亡したことを知ると平壤城を接收し、立札を立て民を安心させ、その一方で城内の兵糧数十万石を押収

1600迄 (1719件)

1592年7月25日-09:00|日本|熊本県葦北郡芦北町|天正20年6月17日|<梅北の乱>佐敷城留守居役らが策を練り、饗応の席を設けて城を占拠していた梅北国兼を誘い出し、その場で殺害。国兼に賛同した島津家臣も討たれた/島津歳久が秀吉によって一揆の黒幕とみなされ、島津義久の追討を受けて死亡したほか、一揆に家臣が参加したという理由で肥後の阿蘇惟光がわずか12歳で斬首された

1592年7月28日-09:00|韓国/日本| ||天正20年6月20日|<鉄嶺の戦い>毛利吉成らの日本軍が、李渾率いる朝鮮軍1千を鉄嶺で撃破

1592年8月-02:00|ル=マ7| ||<即位>モルタガ17公「アレクサンドル5世」(~1593.9~15970320死去)、「ペトル7世」(~10.25死去殺される)

1592年8月7日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年6月30日|黒田長政が海州を占拠

1592年8月8日-09:00|韓国/日本| ||天正20年7月|<麻田の戦い>鉄原に陣を張っていた伊東祐兵率いる日本軍が、麻田に集結していた義兵を攻撃して数百人を討ち取った=><漣川城の戦い>敗残兵が漣川城に入ったことを知り、伊東祐兵が漣川城を攻め落城させた

1592年8月12日-09:00|韓国/日本| ||天正20年7月5日|脇坂安治が抜け駆けで巨済島に出陣するも、李舜臣率いる朝鮮水軍に大敗

1592年8月14日-09:00|韓国/日本| ||天正20年7月7日|<閑山島海戦(朝鮮)>海戦用の水軍や朝鮮沿岸を西進する作戦を持たなかった日本軍は、陸戦部隊や後方で輸送任務に当たっていた部隊から急遽水軍を編成して対抗したが、脇坂安治の抜け駆けが主な原因となり1500人の日本水軍が敗北

1592年8月14日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月7日|<熊峠の戦い>小早川隆景ら六番隊は熊峠で鄭湛(金堤郡守)率いる数千の朝鮮軍を撃破/鄭湛は戦死

1592年8月14日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月7日|明朝の祖承訓が小西行長の守る平壤を攻めるが、大敗

1592年8月15日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月8日|<閑山島海戦>脇坂艦隊は朝鮮水軍の迎撃を受け大きな被害を出し、脇坂安治も窮地に陥るが、座乗船の大きさと櫂の数による機動性を生かして撤退に成功

1592年8月15日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月8日|<梨峙(熊峙)の戦い>(7日~)六番隊の一部部隊2000人が梨峙に向かったが、権慄らに撃退される

1592年8月16日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月9日|<第1次錦山の戦い>日本軍の小早川隆景らは錦山に集結/義兵軍高敬命は趙憲らと連携して錦山の小早川隆景を攻撃するも朝鮮軍の士気が低く高敬命らは退却

1592年8月17日-09:00|韓国/日本| ||天正20年7月10日|<安骨浦海戦>安骨浦に停泊している日本艦隊を李舜臣が襲撃/攻撃を受けた日本艦隊は夜の内に安骨浦を発って帰投し、朝鮮水軍も翌日から根拠地へ帰投

1592年8月17日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月10日|<第1次錦山の戦い>高敬命は錦山の小早川隆景を再攻撃するも日本軍は士気が低い朝鮮軍を集中攻撃して敗走させた為に義兵軍も敗色濃厚になる/高敬命は退却を促す部下らの言葉を聞かずに日本軍に突入り戦死し朝鮮側の惨敗に終わる

1592年8月20日-01:00|ドイツ| ||<死去>リュネブル侯「グィルヘルム若公」

1592年8月20日-01:00|ドイツ| ||<就任>リュネブル侯「エルスト2世」(~16110302死去)

1592年8月23日-09:00|朝鮮/日本/中国| ||天正20年7月16日|<第1次平壤城の戦い>明軍の祖承訓率いる遼東軍に、朝鮮軍3000が合流/平壤城への攻撃を開始/日本軍が敵兵を撃退

1592年8月24日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月17日|<海汀倉の戦い>未明、海汀倉において朝鮮軍を加藤清正率いる日本軍が破った/日本軍は夜半より密かに朝鮮軍に近づき暁霧に乗り喊声を発して攻撃朝鮮軍は大いに敗れ死傷者を残して北に逃れ鏡城に帰った

1592年8月25日-01:00|ドイツ| ||<死去>ハッセン=カッセル方伯「グィルヘルム4世(賢明伯)」

1592年8月25日-01:00|ドイツ| ||<就任>ハッセン=カッセル方伯「モリッツ(碩学伯)」グィルヘルム4世の息子(~16270317退任)

1592年8月25日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月18日|<海汀倉の戦い>朝鮮軍が朝再度の攻撃を掛けようとして計画している間に、加藤清正は伏兵を潜ませて朝鮮軍を待ち受け、二番隊は沼地に面する部分を除いて完全に朝鮮軍を包囲し、撃破/敗北した朝鮮軍では元喜(富寧府使)らが戦死し、韓克かは死傷者を捨て鏡城へ逃亡

1592年8月25日-09:00|日本| ||天正20年7月18日|反乱軍の中に島津歳久の家臣が多くいたため、秀吉は島津歳久を討つよう命じ、歳久は兄義久からの追撃を受け、自害(56歳)

1592年8月26日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月19日|<海汀倉の戦い>咸鏡道を北進する加藤清正が海汀倉で朝鮮軍との戦闘に勝利/大量の兵糧を確保

1592年8月26日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月19日|祖承訓率いる明軍が、平壤を攻撃するも、小西行長らが撃退

1592年8月30日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月23日|会寧で朝鮮の謀反軍から朝鮮王国の王子臨海君と順和君を引き渡され、捕らえる

1592年8月30日-09:00|韓国/日本| ||天正20年7月23日|朝鮮の義兵が慶尚道永川を奪回

1592年9月1日-09:00|日本|徳島県阿南市|天正20年7月25日|<死去>2代平島公方「足利義助」=>子の「足利義種」が継ぐ(~寛永7年4月13日(16300524)死去)

1592年9月5日-09:00|韓国/日本| ||天正20年7月29日|<清州の戦い>日本軍の一部部隊が清州に向かって進撃していたが、防禦使李沃の朝鮮軍は逃走し、日本軍が清州城を占領/朝鮮の義兵趙憲と霊圭は2,600の兵を集め、清州城を攻めたが、日本軍に撃退され、趙憲ら朝鮮軍は後退して城の西の高地に陣を布いた/夜、日本軍は多数の敵を警戒して、その夜密かに城を出て退却/翌日、趙憲らは城に入った

1592年9月5日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月29日|<第2次平壤城の戦い>朝鮮の将金命元(都元帥)率いる朝鮮軍1万人あまりが平壤を攻撃したが、これを一番隊の小西行長らが大いに破り、朝鮮軍は多くの損害を出し撤退

1592年9月5日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年7月29日|<オランガイ侵攻>(~8月中旬)加藤清正は、「オランガイ(女真族)」[注

1600迄(1719件)

76] の戦力を試すために、豆満江を渡って満州に入り、近在の女真族の城を攻撃/咸鏡道の朝鮮人3000人もこれに(加藤清正の軍勢8,000人に)加わった/連合軍は城を陥落させ、国境付近に宿営したが、日本軍は女真からの報復攻撃に悩まされ依然優位には立っていたものの、撤退/二番隊は東へ向かい、鍾城、穩城、慶源、慶興を占領し、最後に豆満江の河口のソル^{ソル}に達した

1592年9月6日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月|<小川の戦い>柳宗介らが率いる朝鮮軍が毛利吉成らの日本軍を迎え撃つべく伏兵を敷いたが、日本軍はこれを察知し朝鮮軍に奇襲、朝鮮軍は破れ柳宗介も戦死

1592年9月6日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月|秋月の兵は逃れた朝鮮軍を掃討し、使者を斬った者を殺し、樵斗文を捕虜とし引き揚げた

1592年9月6日-09:00|日本|愛知県豊川市|天正20年8月|堀尾与左衛門の室、三河国豊川郷天王社の社殿を建立

1592年9月6日-09:00|日本|秋田県仙北市|天正20年8月|<拝領>出羽角館44350石「戸沢政盛」叔父戸沢光盛の遺料(⇒慶長7(1602)年常陸松岡へ)

1592年9月6日-08:00|中国/日本/韓国| ||天正20年8月上旬|毛利吉成が寧海府を攻略

1592年9月9日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|天正20年8月4日|秀吉が、大政所の追善のため、高野山に1万石の寄進をして青巖寺を建てさせる

1592年9月12日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月7日|<善山・仁同の戦い>細川忠興・長谷川秀一・木村重茲らが率いる1万2000日本軍が、善山に立て籠もっていた朝鮮軍義兵を掃討/その後、南条元清と合流して、仁同の朝鮮軍義兵の根拠地を撃破

1592年9月13日-01:00|フランス| ||<死去>シエル・ド・モンテニュ(59歳、15330228生/フランスの哲学者、モリス)

1592年9月14日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月9日|<梁山の戦い>立花宗茂が南平県監韓楯500兵を撃退

1592年9月23日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月18日|<第2次錦山の戦い>(15日~)忠清道の趙憲・靈圭らの義兵軍が権慄の制止を振り切って錦山を攻撃/立花宗茂・安国寺惠瓊らが迎撃して趙憲らは戦死

1592年9月25日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月20日|<第1次星州城の戦い>朝鮮軍数千人が毛利勢の依る星州城をとり囲む。開寧で報告を受けた毛利輝元はすぐに援軍を送り、朝鮮軍は側背を衝かれて撤退

1592年9月27日-08:00|中国/韓国/日本| ||天正20年8月22日|<延安の戦い>小西行長らと共に平壤を制圧した三番隊黒田長政は延安城を攻撃/城には義勇兵と民衆合わせて2000人が籠城して抵抗/黒田隊は5000の兵で攻めますが、城兵は熱湯をかけたり、丸太や岩を落とすなどして応戦して何度も撃退/激しい抵抗に手を焼いた黒田隊は城を落とすことをあきらめ撤退

1592年10月-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンドル」3世悪候(〜15930908)

1592年10月1日-01:00|サマリ| ||<就任>サマリ/共和国執政「パ・オルアント・オ・オフリ(交代)⇒ジョ・ガ・アン・パ・オ・ベ・ルツィ」「カ・ツロ・ボ・ネリ」

1592年10月4日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月29日|<釜山浦の戦い>朝鮮水軍が日本軍の拠点となっていた釜山を攻撃したが勝てずに退却

1592年10月4日-09:00|韓国/日本| ||天正20年8月29日|<長林浦海戦>李舜臣全羅連合船隊は倭戦船を東萊にある長林浦で発見して全て撃沈

1592年10月5日-08:00|中国| ||明・万暦20年9月|ホ・バイの反乱が鎮圧される

1592年10月6日-09:00|日本|埼玉県秩父市|天正20年9月|徳川家康が社領57石を寄進して代官成瀬吉右衛門に秩父神社社殿を建造させた(埼玉県)

1592年10月8日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「アロン」(2回目〜15950625)

1592年10月11日-09:00|韓国/日本| ||天正20年9月6日|朝鮮義兵が、慶州を奪回

1592年10月14日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正20年9月9日|<死去改易>美濃国岐阜13万石「豊臣秀勝(小吉)」羽柴秀吉甥、陣中で病没(無嗣)

1592年10月14日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天正20年9月9日|<拝領>美濃岐阜13万3千石「織田秀信(三法師)」豊臣政権下の一大名となる(〜慶長5(1600)年8月23日西軍に加わった結果降伏開城)

1592年10月14日-09:00|日本|奈良県|天正20年9月9日|<拝領>大和国内1万7千石「織田信雄」(〜慶長5(1600)年改易)

1592年10月14日-09:00|日本|福井県大野市|天正20年9月9日|<拝領>越前大野4万5千石「織田秀雄」(信雄の嫡男)(〜慶長5(1600)年関ヶ原合戦で西軍に与し所領没収)

1592年10月15日-09:00|韓国/日本| ||天正20年9月10日|<第2次星州城の戦い>兵を集めた15,000の朝鮮軍が再び毛利勢の依る星州城に迫り、毛利輝元の武将らが救援に駆けつけ金泉駅で朝鮮軍を破った

1592年10月15日-09:00|韓国/日本| ||天正20年9月10日|<知礼城の戦い>日本軍は知礼城を攻め落して帰還

1592年10月20日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年9月15日|<鏡城の戦い>鄭文孚らの義兵軍が蜂起。日本軍支配下に入っていた李氏朝鮮叛乱軍の支配する鏡城の奪取に成功

1592年10月20日-09:00|朝鮮| ||咸鏡北道にて、義兵が決起

1592年10月22日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア大元帥(首相)「スタニスラフ・ラトヴィラ」(〜15951009)

1592年10月25日-02:00|ルーマニア| ||<死去>モルダヴィア公「ペトル7世」殺される

1592年10月25日-02:00|ルーマニア| ||<復位>モルダヴィア公「アロン1世」(2回目〜15950503〜1597.5死去)

1592年10月27日-09:00|日本|栃木県佐野市|天正20年9月22日|<交替>下野佐野3万9千石「佐野房綱」隠居⇒養子の「佐野政綱(信種が改名)」が継ぐ(⇒慶長19(1614)年7月27日改易)

1592年10月28日-09:00|韓国/日本| ||天正20年9月23日|<昌原の戦い>日本勢は細川忠興、長谷川秀一、木村重茲などの20,000弱の軍勢を編成し、釜山を出発して昌原を攻めた/慶尚右兵使の柳崇仁は官軍および収容した敗兵を指揮して抵抗したが日本軍に大敗/敗走した柳崇仁は後方の晋州城へ入ろうとするが、部下であり守将の晋州牧使・金時敏は日本軍の突入を怖れて城門を開く事を拒否し、やむなく柳崇仁は城外で敗兵を再編成して

1600迄 (1719件)

日本軍に野戦を挑むが敗死

1592年10月31日-09:00|韓国/日本| ||天正20年9月26日|<昌原の戦い>日本軍が昌原城を攻め落して1千4百人を討ち取った/柳崇仁は逃走し咸安を守った

1592年11月-02:00|ルーマニア| ||<即位>ワラキア公「アレクサンダー3世」(~1593. 6)

1592年11月 06:00|ニカラガ/スペイン| ||<就任>ニカラガ総督「バーソロミュー・デ・レンス」(~1593年)

1592年11月2日-09:00|日本|愛知県あま市|天正20年9月28日|三位法印常閑、尾張国海東郡貴船社の社殿を建立

1592年11月4日-09:00|韓国/日本| ||天正20年10月|<春川の戦い>江原道の助防将元豪がまたも兵を募り、数千人を集め、原州の朴渾と共に春川城を攻めた。春川城を守る島津豊久率いる兵500人が門を開き出撃すると朝鮮軍は混乱、日本軍は奮闘し朝鮮軍を撃退、朴渾は戦死し、元豪は逃亡

1592年11月4日-09:00|韓国/日本| ||天正20年10月1日|日本軍は咸安を攻略し、柳崇仁は晋州方面へ逃げ延びた/敗走した柳崇仁は後方の晋州城へ入ろうとするが、部下であり守将の晋州牧使・金時敏は日本軍の突入を怖れて城門を開くことを拒否し、やむなく柳崇仁は城外で敗兵を再編成して日本軍に野戦を挑むが敗死

1592年11月13日-09:00|韓国/日本| ||天正20年10月10日|<第1次晋州城の戦い>(4日~)日本軍が晋州城攻城、容易に攻略できないと判断し、長期戦を厭って退却

1592年11月17日-01:00|スウェーデン| ||<死去>スウェーデン王国国王「ヨハン3世」54歳

1592年11月17日-01:00|スウェーデン| ||<即位>スウェーデン王国国王「シグムント」(ホーランド王シグムント3世) (~15990724退位)

1592年11月19日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年10月16日|<咸興の戦い>加藤清正が咸鏡道地区の咸興を占領

1592年11月22日-09:00|韓国/日本| ||天正20年10月19日|<胡寧の戦い>京畿道巡察使の沈岱は漢城奪回を狙い、胡寧城で兵を集めていたが、伊東祐兵が襲撃し、胡寧城は落城し沈岱は殺された

1592年11月27日-09:00|韓国/日本|兵庫県三木市|天正20年10月24日|<死去>播磨国三木13万石「中川秀政」、水原の近くで鷹狩りをしていた時に敵兵に包囲され戦死⇒弟「中川秀成」が相続(6万6千石⇒文禄3(1594)年2月、豊後岡7万4千石⇒慶長5(1600)年)所領安堵)

1592年12月 05:00|コンゴ| ||アロンソ・モレノ・ベジトが殺害され、反乱終結

1592年12月3日-01:00|オランダ/スペイン| ||<死去>スペイン領ネーデルラント総督「ハルマ公Alexander Farnese」

1592年12月3日-01:00|オランダ/スペイン| ||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Peter Ernst I von Mansfeld-Vorderort」(~1594年)

1592年12月3日-01:00|イタリア| ||<即位>ハルマ公(ファルネーゼ家)ラファエロ1世(~16220305死去52歳)

1592年12月4日-09:00|韓国/日本| ||天正20年11月|<機張城の戦い>数千の朝鮮軍義兵が機張城に攻め寄せたが、日本軍はこれを撃退し、800の首を得た

1592年12月6日-01:00|ベルギー| ||<死去>ベルギー総督「ハルマ公爵アレクサンダー・デ・ファルネーゼ」

1592年12月13日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年11月10日|<咸興の戦い>咸鏡道巡察使尹卓然は咸鏡南道で兵を募り、鍋島直茂本陣を攻撃しようとして、独山のふもとに集結し陣を構えたが、鍋島勢が先手を打ってこれを襲撃し1千人を討ち取った。朝鮮軍の敗残兵は元平の山地に逃れ、再び兵を募り、鍋島勢は出撃し再び朝鮮軍を破り営舎を焼き払った

1592年12月14日-09:00|日本|愛知県豊橋市|天正20年11月11日|三河国牟呂八幡社の社殿が建立

1592年12月18日-09:00|朝鮮/日本| ||天正20年11月15日|<吉州長坪の戦い>咸鏡道の日本軍吉州城守備部隊は周辺での略奪を行っており鄭文孚の義兵軍がこれを待ち伏せして撃破、追撃して吉州城を包囲

1592年12月27日-09:00|日本|京都府京都市|天正20年11月24日|<死去>本願寺顕如(50)

1592年12月28日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・武安1年11月25日|<死去>莫朝(大越)第5代皇帝「英祖莫茂治」殺害される

1592年12月28日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・武安1年11月25日|<即位>莫朝(大越)第6代皇帝「景宗莫全」(~15930114後黎朝軍に捕らえられる~15930227処刑される)武安と改元

1593年-08:00|モンゴル| ||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「フヤン・セチェン・ハーン」(~1603年没)

1593年-06:30|ミャンマー/タイ| ||アユタヤ軍がノン・サライでビルマ軍を撃破

1593年-05:30|スリランカ| ||<死去>シタワカ王国国王「ラジャシリヤ1世」

1593年-05:30|インド| ||<即位>ゴワ・スルタン「I Mangari Daeng Manrabbia Sultan Alau' ddin」(~16390615)

1593年-05:30|スリランカ| ||<即位>シタワカ王国国王「Rajasuriya」(~1594年)

1593年-03:00|ケニア/ポルトガル| ||ポルトガルがモンバサを占領し、要塞を建設

1593年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドル・ベイル・ベイ「オクス・メフメド・パシャ」(~同年)⇒「ハイダー・ル・パシャ」(~同年)⇒「マフメド・パシャ」(~1595年)

1593年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「カギルチ・メフメド・パシャ」(~1594年)

1593年-02:00|ルーマニア| ||ドブルジャはシリストラのヴァイェットの一部

1593年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのパシャ「ムスタファ2世パシャ」(1回目~1594年)

1593年-01:00|モンテネグロ| ||<就任>モンテネグロ司教公「ルイム2世」(~1636年)

1593年-01:00|オーストリア/トルコ| ||オスマン朝が対オーストリア15年戦争を開始

1593年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督「Fernando de Meneses」(~1597年)

1593年 00:00|フェロー諸島| ||<就任>フェロー諸島領土執達吏(ト・スハウ)「Soren Nielsson」(1期目)⇒「Strange Madson」(2期目~1597年)

1593年 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島知事「William Stanley」(~1594年)

1593年 00:00|イギリス/ブラジル| ||イギリスのジェームズ・ランカスター、ペルナンブコを襲撃

1593年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| ||<死去>ガラショザ島ドナリア長官「Fernando Coutinho3世」

1600迄(1719件)

- 1593年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、ヘレス・デ・ラ・チョリカ州暫定市長「ルイス・デ・フエンテス・イ・デ・ラ・セルタ」(~1594年)
- 1593年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア総督「ベルナルディノ・デ・オバント」(~1603年)
- 1593年1月-02:00|トルコ| |||イスタンブールで常備騎兵軍の反乱がおこる
- 1593年1月3日-09:00|日本|長野県千曲市|天正20年12月|<拝領>信濃筑摩1万5千石「石川康勝」(⇒慶長5(1600)年所領安堵⇒慶長18(1613)年大久保長安事件で改易)
- 1593年1月3日-09:00|日本|長野県松本市|天正20年12月|<死去>信濃松本10万石「石川数正」⇒「石川康長」が継ぐ(弟、康勝に15千石、泰次に5千石分知58千石)(⇒慶長5(1600)年所領安堵)
- 1593年1月3日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・宝定1年12月|大越莫子全が宝定と改元
- 1593年1月3日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄1年12月1日|<中和の戦い>平壤の小西勢が、平壤近郊の中和の砦に立て籠もった林仲リョラの朝鮮軍を殲滅
- 1593年1月10日-09:00|日本| ||文禄1年12月8日|年号を「文禄」に改元
- 1593年1月12日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄1年12月10日|<吉州双浦の戦い>吉州の南西の城津より日本軍400名が吉州救援に向かうが、鄭文孚軍の待ち伏せに遭い撃破される
- 1593年1月14日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・宝定1年12月12日|<廃位>莫朝(大越)第6代皇帝「景宗莫全」後黎朝軍に捕らえられる(~15930227処刑される)
- 1593年1月16日-09:00|韓国/日本| ||文禄1年12月14日|(13日~)<第3次星州城の戦い>金へン率いる5,000の朝鮮軍が星州城を包囲するが、日本軍に撃退される
- 1593年1月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「コカ・シナン・パシャ」(3期目~15950216)
- 1593年1月28日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのバイエルバイ「メフメト・パシャ・ザード・ハサン・パシハ」(~1594年8月)
- 1593年1月28日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄1年12月26日|<金化の戦い>島津義弘が金化に陣を移すと、またも元豪が数百の兵を率いやって来た/義弘の子の久保がこれを攻撃し元豪らを討ち取り、首をさらした。これにより江原道方面は平穏となった
- 1593年1月30日-09:00|日本|群馬県前橋市|文禄1年12月28日|<転封>武蔵奈良梨12000石「諏訪頼忠」⇒上野総社(~同年隠居)⇒子の「諏訪頼水」が継ぐ(⇒慶長6(1601)年諏訪高島27000石に転封)
- 1593年2月 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「ゴンサロ・デ・パルマ」(~15950330)
- 1593年2月2日-09:00|日本|茨城県守谷市|文禄2年|<改名>下総相馬郡守谷1万石「明智定政」土岐家を再興⇒「土岐定政」(⇒慶長2年3月3日(15970419)死去)
- 1593年2月2日-09:00|日本|京都府久世郡久御山町|文禄2年|<死去>山城御牧3万5千石「津田盛月」⇒長男の「津田信任」が継ぐ(同年洛外千人斬り事件で犯人として逮捕され剃髪して長意と号して土籍剃奪⇒弟「津田高勝」が1万3千石で家名相続(⇒慶長12(1607)年6月24日婦女への狼藉により除封)
- 1593年2月2日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄2年1月|<竹山の戦い>辺以中率いる朝鮮軍が福島勢の守る竹山城を攻めるが、福島勢が逆襲し朝鮮軍は大敗
- 1593年2月2日-09:00|日本|愛知県一宮市|文禄2年1月|尾張国妙興寺の仏殿が建立
- 1593年2月4日 00:00|イギリス| |||<死去>初代オークニー伯「ロバート・スチュワート」
- 1593年2月4日 00:00|イギリス| |||<就任>2代オークニー伯「パトリック・スチュワート」(~1614年剥奪)
- 1593年2月6日-09:00|日本| ||文禄2年1月5日|<死去>106代天皇「正親町上皇」77歳(誕生:永正14(1517)0529)
- 1593年2月6日-09:00|日本|北海道|文禄2年1月5日|<所領安堵>蝦夷松前「蠣崎慶広」(蠣崎季広の三男)豊臣秀吉より蝦夷地支配・松前の領有許可
- 1593年2月8日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄2年1月7日|<第3次平壤城の戦い>明、朝鮮連合軍の攻撃を受け、小西行長らが夜間に平壤城から撤退
- 1593年2月9日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄2年1月8日|<第3次平壤城の戦い>小西行長らが鳳山に入るも、守将の大友義統が既に逃走していたため、更なる撤退を余儀なくされる
- 1593年2月19日-09:00|朝鮮/中国/日本| ||文禄2年1月18日|明軍が開城府を奪還
- 1593年2月24日-09:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年1月23日|<端川の戦い>城津より更に南西の端川の日本軍500名が鄭文孚軍からの援軍と朝鮮軍に撃破されるも、先の加藤清正の援軍が来着して朝鮮連合軍を撃破
- 1593年2月25日-09:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年1月24日|<碧蹄館の戦い(朝鮮)>査大受率いる明軍の偵察隊が日本軍の偵察隊(主な指揮官は加藤光泰、前野長康)に勝利、日本軍偵察隊は60人余りの死者をだし撤退
- 1593年2月26日-09:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年1月25日|<碧蹄館の戦い(朝鮮)>越川峠南面にて正面で交戦開始/宗茂と直次の本隊2000は、先鋒の惟道らと中陣700の小野鎮幸、米多比鎮久を陣替する際に、直次と戸次鎮林を陣頭に立てて、左側面から敵後詰・高彦伯の朝鮮軍数千に奇襲を仕掛けて撃退に成功、更に宗茂は800騎の備えを率いて明・朝鮮軍を猛烈追撃、戦果を拡大/ここで日本軍は7千の敵軍と遭遇。立花軍は奮戦するが、敵軍は次々に新鋭を繰り出し兵を入れ換え、十時惟道、内田統統、安田国継らは突撃を敢行。鎗を投げて数十騎を突落し、明・朝鮮軍を中央突破して回転突破したが、その際に中陣の戸次統直は強弓を引いて20餘の敵兵を射落し援護しながらも、惟道が李如梅の毒矢を受けて、帰陣から間もなく戦死、旗奉行の池辺永晟も惟道負傷後は先鋒隊の指揮を暫任し中陣と替わるのを成功させたが、後の追撃戦で戦死/寡兵の立花・高橋勢は奮戦してこれを撃退、越川峠北方右側にて兵を休ませ、この後に小早川隆景など日本軍先鋒隊が到着すると、疲労の深い立花勢を後方に下げて、西方の小丸山に移陣
- 1593年2月26日 02:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年1月25日|<碧蹄館の戦い(朝鮮)>午前11時頃、正面に出た隆景軍の先陣二隊の内、明軍の矢面に立った栗屋景雄隊が次々繰り出される新手を支えきれずに後退を始めると明軍はすかさず追撃に移る/戦機を待ってそれまで待機していたもう一方の井上景貞隊がその側背に回り込んで攻撃し、井上隊にいる清水景治も鉄砲隊で射撃したことで明軍は大混乱となった/その機を逃さず立花宗茂が

1600迄 (1719件)

部将の立花成家に鉄砲隊を率いて三回撃たせ、高橋勢と共に多数の軍旗を掲げて太鼓を鳴らせ、全軍揃って左方から敵陣に強襲/小早川秀包、毛利元康、筑紫広門勢が右方から側撃、隆景本隊と吉川広家、安国寺恵瓊、宇喜多家の家臣戸川達安と国富貞次、花房職之も正面より進撃し、明軍前衛を撃破して北の碧蹄館にいた李如松の本隊に迫って正午の激戦となった、この際立花軍には小西行長からの使者宇佐美民部が奮戦して兜首二つを取った/立花家臣の金甲の将・安東常久と一騎討ちして李如松自身も落馬したが、李如梅の矢を受けて常久は戦死/落馬した李如松は小早川の部将井上景貞の手勢に迫られたが、側近の李有聲が盾となってこれを助け、李如梅、李如柏らが救出、李如松の親衛隊も李有升など80余名ほど戦死/そこに明軍副総兵楊元が火軍(火器装備部隊)を率いて援軍として駆けつけ態勢を回復して防戦に努める

1593年2月26日 03:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年1月25日|<碧蹄館の戦い(朝鮮)>正午頃には戦いの大勢は決し、隆景らの日本軍は退却する明軍を碧蹄館北方の峠・恵陰嶺に午後2時から4時まで追撃し深追を止めたが、宗茂と秀家の軍勢はより北の虎尾里まで追討し、午後5時までに漢城へ引き上げ、明軍は開城まで撤退/なお、立花軍の金備え先鋒隊長小野成幸や与力衆の小串成重、小野久八郎と一門の戸次鎮林、そして高橋家中今村喜兵衛、井上平次、帆足左平、梁瀬新介も戦死/また、秀包の家老の横山景義、部将桂五左衛門、内海鬼之丞、伽羅間弥兵衛、手島狼之助、湯浅新右衛門、吉田太左衛門、波羅間郷左衛門など、広家配下の綿貫藤次郎も戦死

1593年2月27日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・康祐1年1月27日|<即位>莫朝(大越)第7代皇帝「関宗莫敬止」(~同月殺害される)康祐と改元⇒第8代皇帝「代宗莫敬恭」(~1621年)

1593年2月27日 02:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年1月26日|<碧蹄館の戦い>未明、立花宗茂隊2000兵が進軍開始/午前6時より11時までの激戦を経て、通報を受けた宇喜多秀家が指揮する日本軍4万が漢城郊外の碧蹄館で迎撃、一大決戦となり日本軍が勝利/この戦いで明軍は大きな損失をだし、総司令官・李如松は危うく討ち死に寸前まで追い込まれたが、平壤まで退却、李如松の麾下の親衛隊の内、李有升ら勇士80人余りも戦死/この戦いの敗北によって李如松は戦意を喪失して明軍の勢いはそがれ、武力による日本軍撃退方針を諦めて講和交渉へと転換

1593年3月1日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄2年1月28日|<白塔郊の戦い>吉州城の日本軍が南へ撤退/鄭文孚率いる朝鮮軍3千人余りが日本軍を攻撃したが、吉州の南方約8kmの白塔において日本軍が迎え討ち、朝鮮軍を撃退

1593年3月2日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄2年1月29日|吉州守備隊救援に成功した日本軍は全軍撤収/加藤清正本隊と合流し、日本軍は咸鏡道より全軍撤収

1593年3月2日-09:00|韓国/中国| ||明軍李如松が開城まで撤退

1593年3月3日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・乾統1年2月|大越莫朝・乾統と改元(~1625)

1593年3月13日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年2月11日|朝鮮軍の権慄が漢城方面へ偵察に出した部隊が日本軍と遭遇して、89人を使った

1593年3月14日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年2月12日|<幸州山城の戦い>漢城奪回をうかがう朝鮮全羅巡察使・権慄の陣する幸州山城を、宇喜多秀家を総大将として小早川、吉川ら毛利勢及び黒田勢、それに奉行石田三成らの軍勢をもって攻撃したが撤退

1593年3月19日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年2月17日|<幸州山城の戦い>朝鮮全羅巡察使・権慄が幸州山城に火を放ち、撤退

1593年3月22日 05:00|エクアドル/スペイン| ||<就任>スペイン領土暫定総督・総司令官・大審問院長「エスバン・デ・マニョン」(~16000130)

1593年3月24日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年2月22日|<第4次熊浦海戦>朝鮮水軍敗北

1593年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ジュリアーノ・コルベッリ」「アンニバレ・ベルツィ」

1593年4月8日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ジェローム・デ・アルメイダ」(~1594年8月)

1593年4月12日 02:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年3月中旬|龍山の焼き討ち/明の宋応昌が漢城の龍山にある食料貯蔵庫を焼き討ちし、秀吉軍は2ヶ月分の食料を失う

1593年5月11日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Pedro Suarez」(1期目~1597年)

1593年5月17日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年4月17日|日本と朝鮮の間で休戦協定結ばれる

1593年5月18日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年4月18日|合意条件に基づき、日本軍は漢城を出て、明の勅使・沈惟敬・朝鮮の二王子(臨海君、順和君)とともに釜山まで後退

1593年5月19日-09:00|韓国/中国| ||明軍、漢城府を奪還

1593年5月19日-09:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年4月19日|明軍、漢城府を奪還/李如松が漢城へ入城、朝鮮国王宣祖も漢城に復帰

1593年5月30日 00:00|イギリス| ||<死去>クリスティーナ・マ、殺害される/イギリス(イングランド)の劇作家

1593年5月31日-09:00|日本|大分県|文禄2年5月1日|<改易>豊後府内37万8500石領主「大友吉統(義統)」/朝鮮出兵中勝手に陣所を放棄したほか、卑怯の振るまいがあったとして廃絶

1593年5月31日-09:00|日本|鹿児島県出水市|文禄2年5月1日|<改易>出水「島津忠辰」/「虚病」と称して高麗出陣を怠った

1593年5月31日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文禄2年5月1日|<改易>肥前岸岳8万石「波多親」(朝鮮在陣中の不手際)徳川家康に預けられ、のち常陸に追放

1593年6月-02:00|ルーマニア| ||<即位>ワキア公「ミハイル2世」(~1600. 10)

1593年6月22日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ムスタファ・パシャ」(~1594年6月)

1593年6月22日-01:00|クアチア/トルコ| ||<シラクの戦い>クアチア軍がオスマン帝国に勝利、オスマン軍初の敗退

1593年6月24日-09:00|日本| ||文禄2年5月25日|<格付>陸奥大浦4万5000石「津軽為信」

1593年7月4日-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウー国王「ラダジー」(~16120704)

1593年7月5日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>スペインのポルトガル副王「政府ジュンタ」(議長:ミゲル・デ・カストロ、リスボン大

1600迄 (1719件)

司教)」(~1598年)

- 1593年7月11日-09:00|韓国/中国/日本| ||文禄2年6月13日|明、朝鮮軍が晋州城へ進軍、立花と小早川軍は転進し釣り野伏せ戦法を連携して明軍を撃退
- 1593年7月11日-09:00|日本|福島県会津若松市|文禄2年6月13日|蒲生氏郷が会津に城を築く
- 1593年7月11日-01:00|イタリア| ||<死去>ジュゼッペ・アルチンボルド、イタリアの画家(生年1527年)
- 1593年7月12日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年6月14日|日本軍は昌原より進撃を開始し、咸安を経由して宜寧に集結していた平安巡辺使・李賓、全羅巡察使・権慄、全羅兵使・宣居怡などの李朝軍を敗走させた
- 1593年7月14日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年6月16日|晋州を目指す日本軍が、咸安に侵攻し、これを焼き討ちにする
- 1593年7月16日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年6月18日|晋州をを目指す日本軍が、宜寧に侵攻し、これを焼き討ちにする
- 1593年7月20日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年6月22日|<第2次晋州城の戦い>晋州城内から、援兵を請う為に脱出した朝鮮軍の使者林遇華が、日本軍に捕らえられる/日本軍は林遇華を城内に示して攻撃を加えるも、城方はこれを退ける
- 1593年7月23日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年6月25日|<第2次晋州城の戦い>宇喜多秀家率いる日本軍が、晋州城東方に櫓を築いて城内を攻撃するも、城方も城内に櫓を築いて応戦し、これを退ける
- 1593年7月26日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年6月28日|<第2次晋州城の戦い>日本軍が晋州城西面の城壁を崩す/この攻防で、朝鮮側の将黄進が戦死
- 1593年7月27日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年6月29日|<第2次晋州城の戦い>日本軍黒田長政配下の後藤基次や加藤清正配下の森本一久らが先を争って突入し晋州城を攻略/朝鮮軍将兵、市民は全滅
- 1593年7月28日-09:00|日本|愛知県一宮市|文禄2年7月|僧景存、尾張国妙興寺の仏殿を再興
- 1593年8月1日-09:00|韓国/日本/中国| ||文禄2年7月5日|日本軍は全羅道求礼へ進出し、明軍及び朝鮮軍を撃破
- 1593年8月3日-09:00|韓国/日本/中国| ||文禄2年7月7日|日本軍は全羅道谷城へ進出し、明軍及び朝鮮軍を撃破
- 1593年8月5日-09:00|韓国/日本/中国| ||文禄2年7月9日|日本軍は晋州城へ撤退
- 1593年8月6日-09:00|日本|三重県度会郡玉城町|文禄2年7月10日|<死去>伊勢岩手城2万650石「牧村利貞」48歳、朝鮮において病死⇒2万300石「稲葉道通」弟が継ぐ(⇒翌年2万6千石⇒慶長5(1600)年伊勢田丸へ)
- 1593年8月18日-01:00|ドイツ| ||<即位>グェルテンベルク公「フリートリヒ1世」(~16080129死去)
- 1593年8月18日-01:00|ドイツ| ||<退位>グェルテンベルク公「ルートヴィヒ敬虔公」(生年1554年)
- 1593年8月27日-09:00|日本|秋田県仙北市|文禄2年8月|最上勢、秀吉蔵入地の管轄権を巡り、出羽仙北に侵入し、役内・中村・寺沢・院内・横堀・小野寺を攻撃
- 1593年8月31日-09:00|日本|大阪府堺市|文禄2年8月5日|<死去>今井宗久(74)茶人・豪商/三大宗匠の一人[1520年生~]
- 1593年9月-02:00|ルーマニア| ||ミハイ勇敢公がワキアの公位につく
- 1593年9月4日 01:00|アゾレス諸島/スペイン| ||<就任>グアラオザ島トナリア長官「Fernando Coutinho4世」(~1626年死去)
- 1593年9月8日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主代行「ストロ・フ・ゼス」(~10.7)
- 1593年9月13日-09:00|日本|熊本県阿蘇市|文禄2年8月18日|<死去>肥後阿蘇荘領主「阿蘇惟光」切腹、滅亡
- 1593年9月17日 01:00|アゾレス諸島/スペイン| ||<就任>フロレス島・コルゴ島トナリア長官「Francisco de Mascarenhas」(~1608年死去)
- 1593年9月24日-09:00|韓国/日本|山梨県|文禄2年8月29日|<死去>甲斐24万石「加藤光泰」西平浦の陣中で病死(享年57)息子の作十郎(貞泰)は、若年を理由に領地召上げ
- 1593年9月25日 00:00|マン島/イギリス| ||<死去>マン島主・ダービー伯「ヘンリー・スタンレー」
- 1593年9月25日 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島主・ダービー伯「フェルディナント・スタンレー」(~15940416死去)
- 1593年9月25日-09:00|日本|石川県|文禄2年9月|<拝領>能登一国21万5千石「前田利政」(父の所領のうち⇒慶長5年(1600)9月改易)
- 1593年9月25日-09:00|日本|大分県|文禄2年9月|<拝領>豊後国大野・直入・大分・海士辺4郡内2万5000石「木下吉隆」(⇒13日さらに300石加増⇒文禄4(1595)年7月1日さらに1万石加増)
- 1593年9月26日-09:00|韓国/日本| ||文禄2年9月2日|問註所統景、問註所正白兄弟は小早川秀包の先鋒になって明軍と晋州城外西南方二十里の河東郡に遭遇し以下数百兵は戦死、宗茂は敗れた小早川軍を救援、明軍は敗れて晋州城に戻る
- 1593年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスト・ベルツツィ」「フランチェスコ・ジャンニニ」
- 1593年10月7日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「ミハイ2世勇者」(~1600年10月)
- 1593年10月23日-09:00|韓国| ||朝鮮・万暦21年9月29日|朝鮮国王宣祖、漢城府に帰る
- 1593年10月24日-09:00|日本|大分県|文禄2年閏9月|<拝領>豊後・伊勢国内26300石「駒井重勝」(⇒文禄4(1595)年8月8日1300石加増)
- 1593年10月24日-09:00|日本|大分県臼杵市|文禄2年閏9月|<加増移封>美濃国内1万石「太田一吉(宗隆)」→豊後臼杵6万5千石(~慶長5(1600)年、改易)
- 1593年10月24日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文禄2年閏9月|<加増移封>越前国府中12万石「木村重茲」⇒山城淀18万石(~文禄4年7月15日(15950820)、秀次事件連座の罪で摂津国茨木の大門寺において自害)
- 1593年10月24日-09:00|日本|福井県越前市|文禄2年閏9月|<移封>越前大野城8万石「青木一矩」⇒越前府中城(⇒慶長4(1599)年2月5日越前北ノ庄21万石)
- 1593年10月24日-09:00|日本|福井県大野市|文禄2年閏9月|<拝領>越前大野45000石「織田秀雄(信雄の子)」(~慶長

1600迄 (1719件)

5 (1600) 年改易)

1593年10月25日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「コメス・ペレス・ダス・マリニャス」
1593年10月25日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督代理「Pedro de Rojas」(~12.3)
1593年11月9日-09:00|日本|長野県飯田市|文禄2年閏9月17日|<移封>近江蒲生「京極高知」→信濃飯田6万石(後に10万石)(~慶長5(1600)年丹後宮津へ)
1593年11月9日-09:00|日本|長野県飯田市|文禄2年閏9月17日|<死去>信濃飯田10万石「毛利秀頼」⇒<拝領>信濃国内1万石「毛利秀秋(長男)」(秀頼の遺領の一部)
1593年11月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Albrecht」
1593年11月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Philip4世」(~16020312死去)
1593年11月19日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「柳成龍」(~15981106)
1593年11月27日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アントニオ・セバ・ケリマルティ」(~15951126)
1593年12月3日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ルイス・ペレス・ダス・マリニャス」(~15960714)
1593年12月14日 00:00|イギリス| |||<死去>第4代セックス伯「ヘンリー・ラドクリフ」
1593年12月14日 00:00|イギリス| |||<就任>第5代セックス伯「ロバート・ラドクリフ」(~16290922死去)
1593年12月21日-09:00|日本|埼玉県深谷市|文禄2年10月29日|<死去>武蔵深谷1万石「松平康直」⇒家康の七男「松平松千代」が継ぐ(~慶長4年1月12日(15990207)死去)
1594年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「タジール・アリフィン・シャー1世」
1594年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「アラウディン・シャー」(~1603年没)
1594年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「フレイ・ラム1世」(~1596.5殺された)
1594年-07:00|カンボジア| |||アユタヤ軍がクメール王都ポムプクを占領
1594年-05:30|インド| |||<再建>ボンチ国
1594年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「ペドロ・ロペス・デ・ソウサ」(~同年)⇒「ジョエロ・モデ・アゼベド」(~1613年)
1594年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「ハサン・イブン・モハメッド」(~1603年)
1594年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「マルカントニオ・ヴェニエ」(~1596年)
1594年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「クルト・メフメト・パシャ」(~1596年4月)
1594年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンテリア王国総督「ニコ・ドナ」(~1598年)
1594年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハサン・パシャ」(5期目~同年)⇒「アリ・パシャ・ホスタン」(~同年)⇒「ムラト・パシャ」(~1595年)
1594年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマニス・ハン「Pir Mansur・ベイ」(~1608年)
1594年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「カテル・パシャ」(2回目~1596年)
1594年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ提督「Mendo de Ledesma」(~1597年)
1594年-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Ernest of Austria」(~15950220死去)
1594年-01:00|イタリア| |||<即位>ピオンビエーノ公「レオナルド・アッピアーニ」(~1603年)建国
1594年-01:00|セルビア/トルコ| |||セルビア人の反乱(ハナト蜂起)
1594年 00:00|イギリス| |||<就任>13代サースランド伯「ジョン・ゴートン」(~16150911死去)
1594年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Thomas Burscough」(~同年)⇒「Edward Ellis」(1期目~同年)⇒「Randolph Stanley」(~15950617死去)
1594年 00:00|ポルトガル/スリランカ| |||ポルトガルが、キャンティ王国に進軍、失敗
1594年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>サンタマリア島トナタ財長官「Bras Soares de Sousa」(~1626年)
1594年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官「バルタザール・デ・ヴァイッラファーナ」⇒「ロペ・デ・ベガ・ポルトカロ」(2回目~1596年)
1594年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「ロドリゴ・ボンセ・デ・レオン」(2回目~1602年)
1594年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、ペレス・デ・ラ・チョルテカ州市長「マルティン・デ・ベガ・イ・アゼイトゥーノ」(~1596年)
1594年1月6日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「フェルナンド・デ・サラテ」(~15950701死去)
1594年1月6日-09:00|日本|広島県神石郡神石高原町|文禄2年11月15日|三吉清覚、木造の神像3体(神石郡油木八幡宮蔵)を造立
1594年1月11日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|文禄2年11月20日|<拝領>若狭高浜2万石「木下利房」(⇒慶長元(1596)年3万石に加増~慶長5(1600)年改易)
1594年1月11日-09:00|日本|福井県小浜市|文禄2年11月20日|<拝領>若狭小浜8万石「木下勝俊」(~慶長5(1600)年改易)
1594年1月11日-09:00|日本|山梨県甲府市|文禄2年11月20日|<移封>若狭小浜86500石「浅野長政(長吉)」⇒甲斐国府中21万5千石(~慶長4(1599)年、隠居後常陸真壁へ)
1594年1月17日-09:00|日本| ||文禄2年11月26日|日本初の木活字本「古文考経」出版
1594年1月22日-09:00|日本|愛知県豊橋市|文禄2年12月|八田嘉兵衛尉ら、三河国橋本牛頭天王社の社殿を建立
1594年2月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー総督「エルスト・エルツヘルツォーク・フォン・オステルライヒ」(~15950212没)
1594年2月2日-01:00|イタリア| |||<死去>ジョヴァンニ・ピエール・エルミージュ・ダ・パレストリーナ(生年1525年、イタリアの作曲家)
1594年2月19日 00:00|イギリス| |||<就任>17代キャリック伯「ヘンリー・フレデリック・ステュアート」先代の長男(~16121126死去)
1594年2月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ロスー公(スコットランド王位の法定推定相続人)「Henry Frederick」(~16121106死去)
1594年2月20日-09:00|日本|愛知県刈谷市|文禄3年|<減移封>伊勢国神戸4万石「水野忠重」⇒三河刈谷城2万石(~

1600迄(1719件)

慶長5年7月19日(16000827)加賀井重望に殺害される)

- 1594年2月20日-09:00|日本|東京都新宿区|文禄3年|徳川家康、今川義元の菩提を弔うため、笑岩長闇を開山に万昌山長延寺(市ヶ谷長延寺町)創立
- 1594年2月20日-09:00|日本|長野県松本市|文禄3年|石川数正・康長父子によって松本城天守閣完成(長野県)
- 1594年2月20日-09:00|日本|三重県桑名市|文禄3年|<拝領>伊勢長島1万石「福島高晴」(~慶長5(1600)年大和宇陀松山3万石)
- 1594年2月20日-08:00|中国| ||明・万暦22年|明で播州宣慰使の楊応竜の反乱がおこる
- 1594年2月20日-09:00|日本|千葉県香取市|文禄3年1月|<移封>下総上代「松平家忠」⇒下総小見川1万石(~慶長5年8月1日(16000908)伏見城の戦いで戦死)
- 1594年2月23日-09:00|日本| ||文禄3年1月4日|<死去>曲直瀬正盛(道三)、医師(生年1507年)日本医学中興の祖
- 1594年2月26日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|文禄3年1月7日|<減移封>甲斐府中24万石「加藤貞泰」⇒美濃黒野4万石(幼少のため~慶長5(1600)年所領安堵)
- 1594年2月27日-01:00|フランス| ||フランス、アンリ4世が、サトル大聖堂で正式にフランス国王として戴冠
- 1594年3月1日-01:00|スウェーデン| ||ジギスムトがスウェーデン国王に即位
- 1594年3月20日-09:00|日本|福井県福井市|文禄3年1月29日|<死去改易>越前東郷11万石「長谷川秀一」病を得て陣中で没、継嗣なく長谷川家は廃絶
- 1594年3月22日-09:00|日本|大分県臼杵市|文禄3年2月|<就任>豊後臼杵6万石「福原長堯」
- 1594年3月27日-01:00|フランス| ||ルアン、ル・アブル・アミンなどがアンリ4世に帰順
- 1594年3月29日-09:00|日本|大分県大分市|文禄3年2月8日|<拝領>豊後府内1万3千石「早川長政」(⇒慶長2(1597)年改易)
- 1594年3月29日-09:00|日本|大分県国東市|文禄3年2月8日|<拝領>豊後安岐1万5千石「熊谷直盛」(⇒慶長4(1599)年10月改易)
- 1594年3月29日-09:00|日本|大分県国東市|文禄3年2月8日|<拝領>豊後富来2万石「垣見一直」(⇒慶長4(1599)年5月改易)
- 1594年3月29日-09:00|日本|大分県竹田市|文禄3年2月8日|<加増移封>播磨国三木6万6千石「中川秀成」⇒豊後竹田(岡城)74000石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)
- 1594年3月29日-09:00|日本|大分県豊後高田市|文禄3年2月8日|<拝領>豊後高田1万3千石「竹中重利」(⇒慶長5(1600)年所領安堵⇒同年、豊後府内藩2万石に移封)
- 1594年3月29日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|文禄3年2月8日|<移封>播磨国内2万石「福原直高」⇒但馬国豊岡城2万石(⇒翌年7月1万石加増)
- 1594年3月29日-09:00|日本|福井県福井市|文禄3年2月8日|<移封>越前藤枝5万石「丹羽長昌」⇒越前東郷5万石(~慶長5(1600)年改易)
- 1594年4月 04:00|刊| ||海賊ホー金斯、バルバライソを襲撃、町を略奪
- 1594年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「リベリオ・ガブリエリ」「イノセント・ホネリ」
- 1594年4月16日 00:00|マン島/イギリス| ||<死去>マン島主・ダービー伯「フェルディナント・スタンレー」
- 1594年4月16日 00:00|イギリス| ||<就任>ダービー伯「ウィリアム・スタンレー」(~16420929死去)
- 1594年4月17日-09:00|日本|奈良県吉野郡吉野町|文禄3年2月27日|豊臣秀吉、関白秀次らとともに吉野で花見の宴を催す
- 1594年4月25日-09:00|韓国/日本| ||文禄3年3月5日|<第2次唐項浦海戦>(4日~)李舜臣の朝鮮水軍は唐項浦沖で30隻の倭戦船を撃沈
- 1594年5月8日-01:00|ベルギー/フランス| ||プロイセンの領有権はド・ラ・トゥール・ド・ゲルニユ王朝に渡された
- 1594年5月10日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文禄3年3月20日|淀城の天守、櫓などが破却される
- 1594年5月20日-09:00|日本|青森県弘前市|文禄3年4月|<移転>陸奥津軽郡一円45000石(陸奥大浦城主)「津軽為信」⇒陸奥弘前(堀越城)47000石(⇒慶長5(1600)年上野国大館2000石加増)
- 1594年5月20日-09:00|日本|福島県会津若松市|文禄3年4月|<高直し>陸奥会津73万石「蒲生氏郷」⇒検地により92万7千石(~文禄4年2月7日(15950317)死去)
- 1594年5月30日-01:00|ハンガリー| ||<死去>バラッシー・バーリント(生年1554年、ハンガリーの詩人)
- 1594年5月31日-01:00|イタリア| ||<死去>ティントレット(生年1518年、イタリアの画家)
- 1594年6月-01:00|オーストリア/オーストリア| ||<就任>オーストリア総督「アフト・パッサ」(~11月)
- 1594年6月4日-09:00|日本|奈良県天理市|文禄3年4月16日|<拝領>山辺郡岸田1万石「岸田忠氏」秀吉の直臣となる(慶長5(1600)年改易)
- 1594年6月4日-09:00|日本|奈良県大和郡山田市|文禄3年4月16日|<死去改易>大和郡山100万石「豊臣秀保」無嗣
- 1594年6月14日-01:00|イタリア| ||<死去>オラント・ディ・ラッソ、イタリアの作曲家(生年1532年頃)
- 1594年6月19日-09:00|日本|京都府京都市北区|文禄3年5月|小早川隆景、京都黄梅院に香積厨を造立
- 1594年6月19日-09:00|日本|京都府京都市東山区|文禄3年5月|淀殿が、父浅井長政の菩提寺として養源院を建立
- 1594年6月21日-09:00|日本|茨城県つくば市|文禄3年5月3日|波多親、筑波山麓に配流
- 1594年6月29日-01:00|デンマーク| ||<死去>デンマーク王国摂政・執事代行「ニールス・カース・ティル・タルブ・ゴール」
- 1594年6月29日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事代行「クリストファー・ヴァルケント・ル・ティル・グロ・ラッブ」(⇒15960607、執事~16010117没)
- 1594年7月 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ファン・マルチノ・バルヌエボ」(~16020619)
- 1594年7月9日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ドミンゴ・マルティネス・デ・アベンタダーニョ」(~1595年

1600迄(1719件)

-)
- 1594年7月18日-09:00|日本|兵庫県神戸市北区|文禄3年6月|<拝領>播磨三木(淡河城)1万石「有馬則頼」(~慶長6(1601)年1月18日摂津三田2万石)
- 1594年7月18日-09:00|日本|兵庫県三木市|文禄3年6月|<拝領>播磨三木郡2万石「木下延俊」(⇒慶長6(1601)年豊後日出3万石)
- 1594年7月22日-09:00|日本|広島県三原市|文禄3年6月5日|井上春忠、仏通寺の客殿を再興
- 1594年8月-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのベイレベイ「ジャン・パシャ」(2回目~15950509)
- 1594年8月 00:00|アイルランド| ||アイルランドでヒュー・オニールらがイギリスの支配に対して反乱を起こす/反乱軍はスペインに援助を求める
- 1594年8月1日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ジョアン・フルタド・デ・メントンサ」(~1602年)
- 1594年8月3日 06:00|グアテマラ/スペイン| ||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「フランシスコ・デ・サンデ・ビコン」(~15960620)
- 1594年8月11日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿「ウィリアム・ラッセル卿」(~15970522)
- 1594年9月6日-09:00|日本|京都府京都市南区|文禄3年7月22日|豊臣秀吉が、大政所の3回忌のために東寺に五重大塔を建てる
- 1594年9月12日-09:00|日本|長崎県五島市|文禄3年7月28日|<死去>肥前福江(石田城)15530石「五島純玄」⇒叔父の「五島玄雅」が継ぐ(⇒慶長5(1600)年所領安堵~慶長17年3月8日(16120408)死去)
- 1594年9月15日-01:00|イタリヤ| ||ガリョ・ガリイ、ある種の水流の機械の特許を得る
- 1594年9月15日-09:00|日本|三重県津市|文禄3年8月|<拝領>伊勢竹原1万石「山崎定勝」(~慶長5(1600)年改易)
- 1594年9月15日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文禄3年8月1日|豊臣秀吉、聚楽第から完成した伏見城に移る
- 1594年9月22日-09:00|日本|大分県|文禄3年8月8日|<加増>豊後・伊勢国内26300石「駒井重勝」⇒27600石(⇒慶長5(1600)年改易)
- 1594年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フェデリコ・フランザニ」「ヴァンチンツォ・ジヤニニ」
- 1594年10月8日-09:00|日本|京都府京都市|文禄3年8月24日|京都三条橋南の河原にて、石川五右衛門(36)をはじめとした10人の盗賊が釜茹での刑に、その他19人が磔に処される
- 1594年10月14日-09:00|日本|長野県小諸市|文禄3年秋|<加増>信濃小諸5万石「仙石秀久」⇒57000石(~慶長5(1600)年所領安堵)
- 1594年10月14日-09:00|日本|三重県桑名市|文禄3年秋|<加増>伊勢神戸2万「滝川雄利」⇒27000石(⇒翌年、伊勢員弁郡5000石加増)
- 1594年10月14日-09:00|日本|滋賀県|文禄3年9月|<減移封>伊勢上野5万石「長野信良(織田信包)」⇒近江国内2万石(⇒慶長3(1598)年6月、丹波国氷上郡柏原3万6000石)
- 1594年10月14日-09:00|日本|三重県津市|文禄3年9月|<拝領>伊勢林1万石「織田信重」(⇒慶長5(1600)年所領安堵⇒慶長20(1615)年閏6月29日、所領収公)
- 1594年10月20日-09:00|日本|広島県三原市|文禄3年9月7日|小早川隆景画像(三原米山寺蔵)成る
- 1594年10月28日-09:00|日本|神奈川県小田原市|文禄3年9月15日|<死去>相模小田原4万5千石「大久保忠世」⇒「大久保忠隣」が嗣ぐ(武蔵羽生に2万石を加増し6万5千石)(~慶長19(1614)年1月19日改易)
- 1594年11月-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズニア総督「ボトウール・フェイン・パシャ」(~1595年)
- 1594年11月3日-09:00|日本|静岡県掛川市|文禄3年9月21日|<加増>遠江掛川5万1千石「山内一豊」+伊勢国鈴鹿郡[三重県鈴鹿市]1000石(⇒文禄4年7月15日(15950826)遠江国内8000加増)
- 1594年11月3日-09:00|日本|三重県|文禄3年9月21日|豊臣秀吉が、徳川家康に伊勢国内に3500石余を与える
- 1594年11月11日-09:00|韓国/日本| ||文禄3年9月29日|福島正則・島津義弘らが、朝鮮軍を巨済島で破る
- 1594年11月12日-09:00|日本|京都府|文禄3年10月|宇治川の流路を巨椋池と分離して伏見に導き城の外濠とするとともに、城下に大坂に通ずる港を造り、巨椋池には小倉堤を築きその上に街道を通して新たな大和街道とするなど大規模な土木工事が行われた。また宇治橋を移して指月と向島の間に架け豊後橋とした
- 1594年11月15日-09:00|韓国/日本| ||文禄3年10月4日|<場門浦・永登浦海戦>(9月29日~)場門浦、永登浦で朝鮮水軍李舜臣が日本水軍に敗北
- 1594年11月17日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| ||ユリウス暦11月7日|イギリスとフランスの両国同盟軍が、ブレストをスペイン軍から奪回
- 1594年12月2日-01:00|オランダ| ||<死去>メルトル/82歳(誕生15120305)オランダの地図学者
- 1594年12月4日-09:00|韓国/日本|愛媛県大洲市|文禄3年10月23日|<死去改易>伊予大洲7万石「戸田勝隆」朝鮮の唐島(巨済島)で病死(無嗣)
- 1594年12月12日-09:00|日本|東京都|文禄3年11月1日|隅田川に初めて橋長66間(120米)、幅4間(7米)の橋千住大橋が架かる/それまでは渡裸川の渡し(戸田の渡し)と呼ばれる渡船場があり、古い街道筋にあたった場所/架橋を行なったのは関東代官頭の伊奈忠橋
- 1595年-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Juliao de Noronha」(~15981120)
- 1595年-05:30|インド| ||<建国>ドム国
- 1595年-05:30|インド| ||<死去>アフマド・ナガル王国国王「フルハン・ニザーム・シャー2世」
- 1595年-05:30|インド| ||<即位>アフマド・ナガル王国国王「イブラヒム・ニザーム・シャー」(~1596年)
- 1595年-05:00|パキスタン| ||<即位>バルティスタン国王「アリ・シャー・カーン」(~1630年)
- 1595年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ベイレベイ「クユク・ムラト・パシャ」(~同年)
- 1595年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「フスル・パシャ2世」(1期目~1596年)
- 1595年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンズ・メジャール「ヌノ・ダ・クーニャ・アタレイ」(~1598年)

1600迄(1719件)

1595年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・リタニア・ベイルベ・イレリ「メミ・メフメト・ハ・シュ・ア」(~1603年12月)
1595年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Jeronimo de los Barrios」(~1596年)
1595年-01:00|フランス| |||<就任>ヌメル公「アンリ1世・ド・サヴォワ=ヌメル」(~16320710死去)
1595年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「アルハト・イスマイル・ハ・シャ」(~同年)⇒「アヤルテ・イ・メフメト・ハ・シャ」(~1596年)
1595年-01:00|フランス| |||<就任>ルル伯「シャル3世」ダグエール公、マントヴァ公、モンフェッテート公、マイエンヌ公(~16370922死去)
1595年-01:00|オランダ| |||オランダが喜望峯経由で東方へ船団を派遣し、東インド交易にのりだす
1595年-01:00|スウェーデン/ロシア| |||ロシアとスウェーデンがツェツィタ条約を締結し、国境を画定
1595年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Alonso de Alvorado y Ulloa」(~1599年)
1595年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「トウアル・ホ・ダ・ガマ」(~1596年)
1595年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||カリヤ諸島は個々の島に再分割(~1625年)
1595年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「アマチュア・ゴ・メス・ラ・ソ」(~15960515)
1595年 04:00|チリ| |||チリ総督M. G. オエス・デ・ロヨラ、ペランタ・ロのひきいるアラウカ族との全面戦争を再開
1595年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「アロンソ・デ・ラス・アラス」「バルトロメ・デ・アルゲレス」「ファン・メネデス・マルケス」(~1597年)
1595年1月16日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第12代スルタン「ムラト3世」
1595年1月17日-01:00|フランス| |||フランス国王アンリ4世が、スペインに宣戦布告
1595年1月20日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>マテウス総督「Diogo de Azambuja e Melo」(~1600年)
1595年1月24日-01:00|イタリア| |||<死去>チロル伯「フェルディナント2世」
1595年1月27日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第13代スルタン「メフメト3世」ムラト3世の子(~16031221死去)
1595年2月6日-09:00|日本|愛知県豊橋市|文禄3年12月27日|徳川家康次女督姫(北條氏直の後家)が三河吉田城主「池田輝政」に再嫁
1595年2月9日-09:00|日本|秋田県湯沢市|文禄4年|山形城主最上義光は楯岡城主楯岡満茂が率いる軍勢を小野寺氏の湯沢城に差し向け占領
1595年2月9日-09:00|日本|大阪府高槻市|文禄4年|<加増移封>近江大津「新庄直頼」→摂津高槻3万石(~慶長5(1600)年改易)
1595年2月9日-09:00|日本|京都府亀岡市|文禄4年|<拝領>丹波亀岡5万石「前田玄以」(⇒慶長7(1602)年5月20日死去)
1595年2月9日-09:00|日本|佐賀県唐津市|文禄4年|<拝領>肥前唐津6万3千石「寺沢広高」(⇒慶長6(1601)年2月、肥後国天草郡4万石加増)
1595年2月9日-09:00|日本|福岡県大牟田市|文禄4年|<加増移封>筑後江浦「高橋直次」→筑後内山18110石(~慶長5(1600)年改易)
1595年2月12日-01:00|ベルギー| |||<死去>ベルギー総督「エルスト・エルツェルツォーク・フォン・オストライタ」
1595年2月12日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー暫定総督「フェンテス伯ペドロ・エンリケス・デ・アゼベト」(~1596年)
1595年2月16日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「セルダル・フェルハト・ハ・シャ」(2期目~15950707)
1595年2月16日 00:00|アイルランド| |||アイルランドでオールの反乱が起こる
1595年2月20日-01:00|オランダ/スペイン| |||<死去>スペイン領ネーデルラント総督「Ernest of Austria」
1595年2月20日-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Pedro Henriquez de Acevedo, Count of Fuentes」(~1596年)
1595年2月28日-09:00|日本|三重県桑名市|文禄4年1月20日|<加増>伊勢神戸27000石「滝川雄利」+伊勢員弁郡5000石⇒32000石(⇒慶長5(1600)年改易)
1595年3月11日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|文禄4年2月1日|大坂城中より多数の金銀が盗難される事件が発生
1595年3月17日-09:00|日本|福島県会津若松市|文禄4年2月7日|<死去>陸奥会津黒川(会津若松城)92万石「蒲生氏郷」40歳、伏見の蒲生屋敷において病死⇒嫡子の「蒲生秀行」(12歳)が継いだ(⇒慶長3(1598)年3月、宇都宮18万石に減移封)
1595年3月23日-09:00|日本|千葉県旭市|文禄4年2月13日|<死去>下総阿知戸1万石「木曾義昌」⇒子の「木曾義利」が継ぐ(~慶長5(1600)年改易)
1595年3月30日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「フェルナント・デ・ラ・クエバ・イ・エスコバト」(~1599年没)
1595年4月-05:30|インド/パキスタン| |||ムガル帝国アクバルがハルチスタン地方を併合
1595年4月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ステファン8世ラスヴァン」(~8.27死去)
1595年4月-01:00|フランス/スペイン| |||スペインが集中攻勢をかけ、カレーとアルトが占領される
1595年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ファブリツィオ・ベルツィ」
1595年4月2日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第88代ドージェ(元首)「パスクアレ・チコーニャ」
1595年4月3日-09:00|日本|三重県津市|文禄4年2月24日|<拝領>伊勢雲出1万16石「蒔田広定」(~慶長5(1600)年除封の後、備中浅尾へ)
1595年4月5日 05:00|ペルー| |||メンダーニャがペルーから2回目の財宝探索の航海に出航
1595年4月7日 04:00|トリニダード・トバゴ| |||ロリがトリニダードに上陸し第1回ギア探検に出発
1595年4月7日-09:00|日本|京都府乙訓郡|文禄4年2月28日|丹波国亀山城主「小早川秀秋」毛利輝元の養女と祝言
1595年4月7日-09:00|日本|三重県津市|文禄4年2月28日|<加増>近江・美濃国内(上山城)3万7272石「富田知信(信広)」+伊勢安濃郡2万石(嫡男・信高に分知)

1600迄 (1719件)

1595年4月7日-09:00|日本|三重県津市|文禄4年2月28日|<拝領>伊勢安濃郡2万石「富田信高」(⇒慶長4(1599)年父が隠居近江・美濃国内3万7272石継承)

1595年4月8日-01:00|フランス| ||<死去>ロング・ヴィル公・サン・ポール伯「アンリ1世」

1595年4月8日-01:00|フランス| ||<就任>サン・ポール伯「フランソワ3世(4世)」(~1631年)マリ2世とロング・ヴィル公レオナルドの子

1595年4月8日-01:00|フランス| ||<就任>ロング・ヴィル公「アンリ2世」(~16630511死去)

1595年4月24日-02:00|ルーマニア| ||<即位>モルダヴィア公「ステファン8世」(~8月~12月死去)

1595年4月25日-01:00|イタリア| ||<死去>トルカート・タツ(生年1544年、イタリアの叙事詩人)

1595年4月26日-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国第89代ドーージェ(元首)「マリノ・グリマニ」(~16051225死去)

1595年5月4日-01:00|マルタ| ||<死去>マルタ騎士団総長「ユーク・ルーバン・ド・ヴェルダレ」

1595年5月6日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「エステベ・クラモンテ」(~8日)

1595年5月8日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「マルティン・ガルス」(~16010207没)

1595年5月9日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのベイルベイ「マリチ・アフメット・パシャ」(1回目~8月)

1595年5月14日-01:00|ドイツ| ||<死去>フランクシュ・アイク＝グレンハーゲン侯「ウルフガング」

1595年5月14日-01:00|ドイツ| ||<就任>フランクシュ・アイク＝グレンハーゲン侯「フィリップ2世」ウルフガングの弟(~15960404死去、遺領はリュネブルク侯領に吸収)

1595年5月15日-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・バン代行「ザグレブ」司教「シュバル・スタンコウ・アチ」(1回目~15960111)

1595年5月20日-02:00|ルーマニア| ||ワラキアはトランシルヴァニアの属領(~1596年12月)

1595年5月25日-09:00|日本|奈良県|文禄4年4月16日|<拝領>大和国内1万3千石「宇多(尾藤)頼忠」(~慶長5(1600)年9月17日自害)

1595年5月25日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文禄4年4月16日|<死去改易>大和郡山城主110余万石「豊臣秀保」17歳(豊臣秀次の弟)痘瘡により/郡山豊臣家、断絶

1595年6月5日-01:00|フランス/スペイン| ||フォンテーヌ・フランセーズの戦いで、フランス軍がスペイン軍に大勝

1595年6月17日 00:00|マン島/イギリス| ||<死去>マン島知事「Randolph Stanley」

1595年6月23日-09:00|日本|三重県松阪市|文禄4年5月16日|<加増>伊勢上山城約4万石「富田知信(信広)」+伊勢安芸郡白子村2千石

1595年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド支配者「フロストラップ・ゲッテ・ティル・トメルプ」(~15970623)

1595年6月26日-01:00|スウェーデン| ||<死去>エステル・エートランド公「マグヌス」

1595年7月1日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<死去>リオ・デ・ラ・プラタ総督「フェルナント・デ・サラテ」

1595年7月1日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「バルトロメ・デ・サントバル・イ・オカホ」(~同年)⇒総督「フアン・デ・ラ・ベラスコ」(~15961207)

1595年7月7日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「コカ・シナン・パシャ」(4回目~15951119)

1595年7月9日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督「Amador」反乱側りター(~28日死去)

1595年7月9日 00:00|サントメ・プリンシペ| ||サントメは反乱中奴隷に占拠される(~28日)

1595年7月15日-01:00|オーストリア/イタリア| ||<死去>前方オーストリア大公・チロル伯「フェルディナント2世」

1595年7月21日 10:00|ポルトガル/スペイン| ||スペインの航海者メンダニャの率いる艦隊がマルカス諸島を発見。原住民は体中に入墨をしていた

1595年7月25日-09:00|日本|茨城県|文禄4年6月19日|<石高決定>常陸・下野54万5千8百石「佐竹義宣」(義重・重臣・与力分を併せ)

1595年7月28日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<死去>サントメ植民地総督「Amador」反乱側りター

1595年8月-02:00|ルーマニア| ||<即位>モルダヴィア王「イェリミア・モグイラ」(1回目~1600.5)

1595年8月-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのベイルベイ「ソフ・シナン・パシャ」(2回目~1596年5月)

1595年8月4日-09:00|日本|鹿児島県|文禄4年6月29日|<石高決定>薩摩・大隅・日向諸県郡55万9533石「島津義弘」

1595年8月4日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|文禄4年6月29日|<拝領>大隅富隈10万石「島津義久」

1595年8月4日-09:00|日本|鹿児島県薩摩川内市|文禄4年6月29日|<減移封>都城6万9千石「北郷忠能」⇒祁答院3万7千石

1595年8月4日-09:00|日本|宮崎県都城市|文禄4年6月29日|<拝領>日向国都城8万石「伊集院忠棟」

1595年8月6日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文禄4年7月|宇治川の対岸にある向島にも伏見城の支城、向島城が築城された

1595年8月6日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|文禄4年7月|<加増>但馬国豊岡城2万石「福原直高」+1万石⇒3万石(慶長2(1597)年2月豊後府内城12万石)

1595年8月6日-09:00|日本|大分県|文禄4年7月1日|<加増>豊後国大野郡・直入郡・大分郡・海士辺郡2万5300石「木下吉隆」⇒3万5300石(⇒翌月改易)

1595年8月13日-01:00|フランス| ||<死去>ヌール公「シャル・エマニュエル・ド・サヴォワ＝ヌール」

1595年8月13日-01:00|フランス| ||<就任>ヌール公「アンリ1世・ド・サヴォワ＝ヌール」(~16320710死去)

1595年8月13日-09:00|日本|京都府京都市|文禄4年7月8日|豊臣秀吉、羽柴秀次を召喚し関白・左大臣の官職を剥奪、羽柴秀次は出家し高野山へ追放

1595年8月20日 10:00|クック諸島/スペイン| ||スペインのアルバロ・デ・メンダニャ・ネイラ大尉がフカカを発見し、サンペルナルトと名付けた

1595年8月20日-09:00|日本|愛知県清須市|文禄4年7月15日|<加増移封>伊予(湯月)今治11万3200石「福島正則」⇒尾張清洲24万石(~慶長5(1600)年安芸広島へ)

1595年8月20日-09:00|日本|愛知県清須市|文禄4年7月15日|<改易>尾張清洲11万2200石「三好吉房」(豊臣秀次の

1600迄 (1719件)

実父)秀次に連座、讃岐国へ流罪

- 1595年8月20日-09:00|日本|愛媛県今治市|文禄4年7月15日|<拝領>伊予国分8万石「池田景雄」(⇒慶長2年11月30日(15980107)朝鮮で死去)
- 1595年8月20日-09:00|日本|愛媛県今治市|文禄4年7月15日|<拝領>伊予今治7万石「小川祐忠」
- 1595年8月20日-09:00|日本|愛媛県大洲市|文禄4年7月15日|<拝領>伊予大洲12000石「池田秀氏」
- 1595年8月20日-09:00|日本|大分県|文禄4年7月15日|<改易>豊後国3万5300石「木下吉隆」関白秀次事件に連座して失脚、薩摩国へ流罪
- 1595年8月20日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|文禄4年7月15日|<死去改易>遠江横須賀35000石「渡瀬繁詮」秀次に連座して失脚、自害
- 1595年8月20日-09:00|日本|岐阜県本巣郡北方町|文禄4年7月15日|<拝領>美濃北方・越前国内1万石「木村由信」(⇒慶長5(1600)年9月18日殺害される)
- 1595年8月20日-09:00|日本|京都府亀岡市|文禄4年7月15日|<改易>丹波亀山城10万石「羽柴秀俊」豊臣秀次に連座
- 1595年8月20日-09:00|日本|京都府京都市|文禄4年7月15日|<死去改易>山城淀18万石「木村重茲」豊臣秀次に連座、子の木村高成とともに切腹
- 1595年8月20日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文禄4年7月15日|<改易>近江八幡12万石「六角義郷」豊臣秀次に連座
- 1595年8月20日-09:00|日本|滋賀県彦根市|文禄4年7月15日|<加増移封>水口4万石「石田三成」→佐和山城19万4千石(⇒慶長5(1600)年10月1日、処刑)
- 1595年8月20日-09:00|日本|静岡県掛川市|文禄4年7月15日|<加増>遠江掛川51000石「山内一豊」+遠江国内8000石⇒59000石(⇒慶長5(1600)年11月、土佐国内9万8000石(後の検地で20万2600石)に転封)
- 1595年8月20日-09:00|日本|静岡県静岡市|文禄4年7月15日|<加増>駿河府中14万5千石「中村一氏」に5千石⇒15万石(⇒慶長5年7月17日(16000825)病死)
- 1595年8月20日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文禄4年7月15日|<死去改易>大和小泉4万8千石「羽田正親」豊臣秀次に連座、切腹
- 1595年8月20日-09:00|日本|兵庫県朝来市|文禄4年7月15日|<改易>但馬出石5万3200石「前野長康」豊臣秀次に連座(8月19日子の景定と共に切腹)
- 1595年8月20日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|文禄4年7月15日|<死去改易>但馬城崎2万2千石「明石則実」豊臣秀次に連座、切腹
- 1595年8月20日-09:00|日本|三重県津市|文禄4年7月15日|<加増移封>上山城約4万石「富田知信(信広)」⇒伊勢安濃津5万石(⇒慶長4年隠居)
- 1595年8月20日-09:00|日本|三重県松阪市|文禄4年7月15日|<移封>近江日野「古田重勝」→伊勢松阪37000石(⇒慶長5(1600)年11月、55000石に加増(⇒慶長11年6月16日(16060720)死去)弟の重治が嗣ぐ(⇒元和5年石見浜田へ))
- 1595年8月20日-09:00|日本|三重県松阪市|文禄4年7月15日|<死去改易>伊勢松坂3万5千石「服部一忠」豊臣秀次に連座、切腹
- 1595年8月20日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|文禄4年7月15日|<死去改易>豊臣秀次(28)、高野山において謀反の科により切腹(誕生:永禄11(1568))<殉死>山本主殿(18)、山田三十郎(18)、不破万作(18)、虎岩玄隆(僧侶)、省部重政(元三好家臣);<切腹>前野景定(家老)、白江成定(家老)、熊谷直澄(家老)、栗野秀用(家老)、一柳可遊(家老)、日比野下野守、山口少雲、丸毛不心斎、明石則実、本多正氏、瀬田正忠
- 1595年8月22日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文禄4年7月17日|<拝領>大和郡山22万3千石「増田長盛」(慶長5(1600)年9月27日改易)
- 1595年8月26日-09:00|日本|愛媛県伊予郡松前町|文禄4年7月21日|<加増移封>淡路国志知城15000石「加藤嘉明」⇒伊予松前6万石(⇒慶長6(1601)年、伊予半国20万石に加増~)
- 1595年8月27日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ステファン8世スヴャト」
- 1595年8月27日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「エレミア・モグーラ」(1回目~16000522)
- 1595年8月27日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|文禄4年7月22日|<拝領>伊予国宇和島7万石「藤堂高虎」、宇和・喜多・浮穴三郡内6万5900石の蔵入代官を命じられる(⇒慶長5(1600)年今治城12万石加増、合計20万石)
- 1595年8月31日-09:00|日本|京都府京都市|文禄4年7月26日|木村重茲の妻、娘も三条河原で殺処刑される
- 1595年9月2日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||オスマン朝がエステロン城塞をハンガリーに明け渡す
- 1595年9月4日-09:00|日本|大阪府岸和田市|文禄4年8月|<加増>和泉岸和田1万石「小出秀政」⇒3万石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)
- 1595年9月4日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|文禄4年8月|<拝領>遠江横須賀3万石「有馬豊氏」(⇒慶長5(1600)年12月丹波国福知山藩6万石)
- 1595年9月4日-09:00|日本|京都府京都市上京区|文禄4年8月|秀吉は秀次の住居である聚楽第を徹底的に破却(一部の建物は指月伏見城へ移築)
- 1595年9月4日-09:00|日本|滋賀県大津市|文禄4年8月|<加増移封>近江八幡2万8千石「京極高次」八幡山城を廃城⇒近江大津城6万石(⇒慶長5(1600)年若狭一国8万5000石へ加増転封)
- 1595年9月4日-09:00|日本|三重県桑名市|文禄4年8月|<死去>伊勢桑名城主「一柳直秀(可遊)」豊臣秀次に連座切腹
- 1595年9月5日-09:00|日本|京都府京都市|文禄4年8月2日|豊臣秀次の子女・妻妾30余人が京都三条河原に於いて処刑される
- 1595年9月6日-09:00|日本| |||文禄4年8月3日|豊臣秀吉が「御掟」五ヶ条と「御掟追加」九ヶ条を発令/大名間の婚姻禁止、衣装の身分的制限、公家や寺社の掟など、支配階級の法ができる

1600迄 (1719件)

1595年9月6日-09:00|日本|大阪府岸和田市|文禄4年8月3日|<移封>播磨龍野「小出吉政」→但馬出石5万5千石(慶長9年3月22日(16040421)父の遺領和泉岸和田藩3万石を継ぐ)
1595年9月11日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文禄4年8月8日|<加増>三河国岡崎城57400石「田中吉政」+28358石余⇒85758石(⇒文禄5(1596)年14252石加増され10万石)
1595年9月20日-09:00|日本|大阪府茨木市|文禄4年8月17日|<加増>摂津茨木4200石「片桐且元」⇒1万石(⇒慶長6年正月大和竜田城2万8千石)
1595年9月20日-09:00|日本|兵庫県朝来市|文禄4年8月17日|<死去>但馬出石城主「前野長康」(68歳)と子の景定が切腹
1595年9月22日-09:00|日本|京都府京都市|文禄4年8月19日|秀次の家老前野長康と息子景定は中村一氏へ預けられ、切腹となる
1595年9月25日-09:00|日本|愛知県豊橋市|文禄4年8月22日|禰宜三郎衛門、三河国高井の大明神社の社殿を建立
1595年9月27日-01:00|イタリア| |||ベネチアで托鉢教団病院設立
1595年10月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||トランシルバニア公バートリ・ジゲモントが、ワキアの戦いでトルコを撃破
1595年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マリノ・ジョーニ」ラツァンツィオ・ヴァッリ
1595年10月3日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド大法官「ジョン・メイトランド卿」
1595年10月4日-09:00|日本|大分県日田市|文禄4年9月|<拝領>豊後国日田・玖珠2郡(永山城)2万石「毛利高政」(⇒慶長5(1600)年所領安堵⇒慶長6年豊後佐伯2万石)
1595年10月9日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)代行「ミカウス・ケルボサス」(2回目~1596年5月)
1595年10月20日-09:00|日本|東京都千代田区|文禄4年9月17日|浅井長政の三女・江が徳川家康の三男・秀忠(後の江戸幕府第二代将軍)に嫁ぐ
1595年10月23日-01:00|フランス| |||<死去>ヌヴェール公・ルテル伯「ルイ4世」
1595年10月23日-01:00|フランス| |||<即位>ヌヴェール公「シャルル3世」(~16370922死去)
1595年10月28日-09:00|日本|京都府京都市東山区|文禄4年9月25日|方広寺の大仏殿が完成し、落慶法要を举行
1595年10月29日-09:00|日本|茨城県稲敷市|文禄4年9月26日|<加増移封>常陸龍ヶ崎40000石「蘆名盛重」⇒江戸崎45000石(~慶長5(1600)年所領没収)
1595年11月5日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「モンテリー伯ガスパール・デ・スニガ・アセバト・イ・ベラスコ」(~16031026)
1595年11月12日-01:00|スペイン| |||ドレク、カリヤ諸島を襲うが敗退/フエルトリコのサンファン攻撃は厚い防御に阻まれ失敗/その後スペイン軍の追撃にあい敗北
1595年11月19日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「テリ・ラ・メメト・パシャ」(~28日)
1595年11月22日 06:00|アメリカ| |||フランス・ドレーク、26隻の艦隊でフエルトリコのサンファンを攻撃。全市を炎上するも奪取できずに引き揚げる
1595年12月 05:00|コンヒニア| |||ドレーク艦隊、サンタマルタを襲撃/その後ノブレ・デ・デ・イオスを掠奪
1595年12月1日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「コカ・ジャン・パシャ」(5期目~15960403)
1595年12月1日-09:00|日本|福島県いわき市|文禄4年11月|<格付>陸奥磐城平11万3000石「岩城貞隆」(~慶長7(1602)年7月27日改易)
1595年12月4日 00:00|イギリス| |||<死去>ハンティントン伯「ヘンリー・ヘイスティングス」
1595年12月4日 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「ジョージ・ヘイスティングス」(~16041230死去)
1595年12月5日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「マテオ・セラガ」(~15971204)
1595年12月31日-09:00|日本|福岡県|文禄4年12月1日|<交替>筑前・筑後2郡・肥前2郡30万7300石「小早川隆景」隠居⇒養子の「小早川秀秋(羽柴秀俊)」が継ぐ(⇒慶長3(1598)年、越前北ノ庄15万石へ減封転封)
1596年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>アンボン島ポルトガル首領「Joao Caiado de Gamboa」(~1599年)
1596年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「アラウッディン・リアヤット・シャー・アルムカミル」(~1604年)
1596年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Batarah Shah Tengah」(~1608年)
1596年-08:00|インドネシア| |||<即位>バンテン王国スルタン「アフムファキル・マフマト・アフダルクアディール」(~1647年)
1596年-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ランサン王「ノオ・コウマネ」
1596年-07:00|ラオス| |||<即位>ランサン王「ウーウ・オンサ2世」(⇒1603年タングー朝の支配から脱し独立~1621年退位)
1596年-05:30|インド| |||<即位>アフマド・ガール王国国王「アフマド・ニザーム・シャー2世」(~同年)⇒「バハドゥール・ニザーム・シャー」(~1600年)
1596年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラ・ワリス「エフラシヤブ・パシャ」(~1604年)
1596年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ベイルベイ「クルト・メフメト・パシャ」(~同年)
1596年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネチアのカンデリア公「ペレグリーノ・ブラガティエリ」(~1598年)
1596年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ラシ・ア・フトウンザ・デ・ムスタファ・パシャ」(~1597年)
1596年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「フェトフ1世ギレイ」(~1597年死去)
1596年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「ムスタファ2世パシャ」(2回目~1599年)
1596年-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン・アイゼナハ侯「John Ernest」(~16381023死去、ザクセン=アルテンブルクとザクセン=ヴァイマルで分割)
1596年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ総督「Martin Davalos y Padilla」(~1603年)
1596年-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー総督「アルブレヒト・エルツヘルツォーク・フォン・オーストラリア」(~1598年)
1596年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「フタウ・エルディ・パシャ」(~1597年4月)
1596年-01:00|ポーランド| |||<就任>レグニツァ公「ヨアヒム・フレデリック」フレゼンク公(~16020325死去)
1596年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホーレツァ大公「ハヴ・オ・ハヴ・イツ」

1600迄(1719件)

1596年-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||オスマン帝国の支配に反対するヘルツェゴビナ・セルビア人の蜂起(〜1597年)
1596年-01:00|ドイツ| |||ドイツの天文学者ケプラーが「宇宙の神秘」を発表し新しい幾何学的宇宙構造を論じた
1596年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・ユースト長官「クリストファー・ダ・モ」(〜1608年)
1596年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事代理「Cuthbert Gerrard」(2期目〜同年)⇒代理「Robert Molyneux」(〜1608年)
1596年 00:00|アイルランド/イギリス| |||デズモンド(デズモンド)王国はイギリスによって消滅
1596年 05:00|パナマ/スペイン| |||<死去>パナマ大審問院総督・長官「フランシスコ・デ・カルテナス」
1596年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「ガルシア・デル・バジェ」⇒「フェルナント・メルカレホ・デ・コルトバ」(〜1606年)
1596年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ファン・デル・バリャセプルベタ」(2回目、暫定〜同年)⇒「ハルプ・ライツ侯アロンソ・デ・ソトマヨール・イ・アンデア」(〜1602年)
1596年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、ヘレス・デ・ラ・チョリカ州市長「フランシスコ・オリオ・イ・アウアロス」(〜1602年)
1596年1月11日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・パン「ザグレブ」司教「シュバル・スタンコヴァチキ」(2回目〜6.30)
1596年1月24日-01:00|フランス| |||マイン公は降伏し、他のほとんどの地方もアンリ4世に帰順し、カトリック同盟は瓦解
1596年1月28日 05:00|パナマ| |||<死去>フランス・ドレーク、西インド諸島に向かう途中に赤痢で(53歳生年1543年)イギリス最初の世界周航者/海賊、私掠船船長、海軍提督
1596年1月30日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|文禄5・慶長元年|天誉素格を開山として宇和島に大超寺が創建
1596年1月30日-09:00|日本|大分県杵築市|文禄5年|<移封>近江坂本「杉原長房(家次の子)」⇒豊後杵築城主(⇒慶長3(1598)年、但馬国豊岡城3万石)
1596年1月30日-09:00|日本|東京都千代田区|文禄5・慶長元年|誓願寺が小田原より武蔵国江戸神田豊島町(須田)に移る
1596年1月30日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|文禄5年|<加増>若狭高浜2万石「木下利房」⇒3万石(〜慶長5(1600)年10月16日改易)
1596年2月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ケルク1世(敬虔伯)」
1596年2月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ルトヴィヒ5世(誠実伯)」ケルク1世の息子(〜16260627死去)
1596年2月11日-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Albert of Austria」(〜15980614)
1596年2月14日-09:00|日本|京都府宇治市|文禄5年1月16日|豊臣秀吉が、毛利輝元・小早川隆景らに命じ、宇治川に大閘堤を築かせる/伏見城下から大坂への水上交通が一段と便利になる
1596年2月17日-01:00|フランス| |||マルセイユ市民が、反スペイン暴動を起こしてアンリ4世を支持
1596年3月-05:30|インド| |||ニザーム・シャーヒー朝がベール地方をムガル朝に割譲
1596年3月27日-01:00|ポーランド| |||<死去>レクニツァ公「フレデリック4世」
1596年4月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「エミール・メフメト・パシャ」(〜1598年)
1596年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オラツィオ・ベッルツィ」「マッテオ・チェッリ」
1596年4月4日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ダマト・イブラヒム・パシャ」(1期目〜10.27)
1596年4月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>プーランシュヴァイク＝ケルンハーゲン侯「フィリップ2世」遺領はリュネブルグ侯領に吸収
1596年4月9日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク摂政「ヨルゲン・ローゼンクランツ・ティル・ローゼンホルム」
1596年5月-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「プレア・ラム1世」殺された
1596年5月-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「プレア・ラム2世」(〜1597年3月、暗殺される)
1596年5月-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「クリストパ・マンヴィダ・ストロホスタスキス」(15970508まで代行〜16150512没)
1596年5月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイレベ「ミハリチ・アフメト・パシャ」(2回目〜10.13)
1596年5月1日-09:00|日本|長野県北佐久郡|文禄5年4月4日|<浅間山文禄5年の噴火>(〜8日)大石降落により死者多数、近隣諸国でも死者
1596年5月6日-01:00|ベルギー| |||<死去>ジャクス・デ・ヴェルト、ベルギー出身のフランドル楽派の作曲家(生年1535年)
1596年5月15日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「フランシスコ・ロペス・ダ・ガマ」(〜1603年)
1596年5月24日-01:00|スウェーデン諸島/オランダ| |||北極海航路を見つけようとしているヤコブ・ヴァン・ヘムスケルク、ウィルム・ハレンツ、ヤン・コネリズ・ン・リジッブの下でのオランダ遠征は、グリーンランドの一部であると想定しながら、スピッツベルゲン(およびバア島)を発見
1596年5月24日-01:00|ノルウェー/オランダ| |||ジェイコブ・ファン・ヘムスケルク、ウィルム・ハレンツ、ヤン・コネリズ・ン・ライプ率いるオランダの探検隊は、北東航路を見つけようとしているときに、グリーンランドの一部であると想定したスピッツベルゲン島 およびバア島を発見
1596年5月26日-01:00|フランス/イギリス| |||ユリウス暦5月16日|イギリスとフランスが、対スペイン攻守同盟を締結
1596年5月29日-09:00|日本|茨城県下妻市|文禄5年5月3日|下妻城主多賀谷重経が下総国豊田郡鯨村砦主白井入道全洞を攻め破って自害させ攻略
1596年5月31日-02:00|ラトビア| |||ケurlant公国とセメリア公国が非公式に分割(15980417、ポーランド＝リトアニアが承認〜16170328)
1596年6月-01:00|イタリア| |||サンゴを細工する技術、ヴェネツィアに導入
1596年6月-01:00|スペイン/フランス/イギリス| |||<英西戦争>チャールズ・ハワード卿とエリザベスの寵臣セックス伯が率いる英蘭遠征軍がゲーイス港襲撃に成功し、スペイン船100隻以上を破壊し、町を破壊した/スペイン軍司令官は港湾内の財宝船を焼き払う余裕を得て、金貨1,200万ダカットが沈められた。これは後にスペインによって引き揚げられており、襲撃者に

1600迄(1719件)

は何ら得る物がなかった

1596年6月6日-09:00|日本|大阪府泉南郡岬町|文禄5年5月11日|<分知>和泉谷川1万石「桑山重晴」隠居領(⇒慶長5(1600)年孫の「桑山一晴」から4000、子の元晴から2000石譲渡され16000石)

1596年6月6日-09:00|日本|奈良県御所市|文禄5年5月11日|<拝領>大和御所1万石「桑山元晴」(父重晴から分与⇒慶長5(1600)年大和葛上郡2000石加増し御所藩12000石立藩)

1596年6月6日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|文禄5年5月11日|<交替>紀伊和歌山(城代)4万石「桑山重晴」隠居⇒孫の「桑山一晴」が2万石(叔父元晴:1万石、重晴:隠居料1万石分知2万石)を継ぐ(〜慶長5(1600)年大和新庄(布施)へ)

1596年6月13日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「デ・イゴ・デ・オリオ」(〜1601026没)

1596年6月20日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||オスマン朝メフメト3世がハンガリーへ遠征

1596年6月20日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「アルバロ・ゴメス・デ・アバウンサ・イ・カストロ(摂政)」(〜15980919)

1596年6月23日-01:00|オランダ/インドネシア| |||バタヴィア王国へオランダ人の初来航

1596年7月3日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Peter Legh」(〜1597年)

1596年7月9日-09:00|朝鮮/日本| ||文禄5年6月14日|黒田長政、平壤を攻略

1596年7月9日-08:00|中国/日本| ||文禄5年6月14日|明朝政府は楊方亨(正使)と沈惟敬(副使)を冊封使として日本へ送る

1596年7月14日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「フアン・スコテリョ・デ・ゲスマン」(〜1602.5)

1596年7月14日-09:00|日本| ||文禄5年6月19日|<文禄5年江戸荒川、隅田川の氾濫>関東・甲信地方大洪水となり、知行地(武士の領地で水田など耕地)の損失は数知れないほど広い/武蔵国の内の葛西や浅草で3〜400人が洪水にのまれ死亡

1596年7月24日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「ササ侯爵ルイス・デ・ペラスコ」(〜16040118)

1596年7月28日-09:00|韓国/日本| ||文禄5年7月4日|朝鮮の使節黄慎(正使)と朴弘長(副使)が加わり日本へ渡航(8月中旬、堺に到着)

1596年8月20日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文禄5年7月27日|<加増>三河国岡崎城85758石「田中吉政」+14252石⇒10万石(⇒慶長5(1600)年筑後一國柳川城32万石)

1596年9月1日 11:00|日本|愛媛県|文禄5年閏7月9日|<慶長伊予地震>戌の刻(20時ごろ)の大地震によって、伊予郡保免村の薬師寺本堂・仁王門が崩れ、周布郡北条村鶴岡八幡宮では本殿や宝蔵が倒壊して、神器や古文書などの宝物が地中に埋まった/周布郡広江村では村が全滅し移住した

1596年9月4日 07:00|日本|大分県|文禄5年閏7月12日|<慶長豊後地震>申の刻(16時ごろ)大地震、高崎山が崩壊、湯布院と日出では山崩れで民家が埋まる/佐賀関で崖崩れがあり家屋が倒壊/被害を大きくしたのは高さ4mの大津波で、府内では5000軒の家が200軒しか残らず、府内北岸400〜500m沖合にあったという伝説の瓜生島の80%が海に没し807人が犠牲になった

1596年9月5日-09:00|日本|京都府|文禄5年閏7月13日|<慶長伏見地震>子の刻(午前0時ごろ)、京都南部を中心とした畿内と近隣をマグニチュード7.5の大地震が襲った/京都では東寺、天竜寺、大覚寺、二尊院といった大寺院が倒壊、民家の多くが倒壊し死傷者も多く出た。特に東寺では寺の中樞をなす食堂、講堂、灌頂院、南大門が倒壊/伏見では太閤秀吉の居城、伏見城の天守閣が大破、石垣が崩れ、上臈(高級女官)73人、仲居下女(下働きの女性)500余人が犠牲になった

1596年9月5日-09:00|日本|京都府|文禄5年閏7月13日|<死去>横浜一庵、慶長伏見地震で圧死(生年1550年)元大和国内5万石

1596年9月9日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド・リトアニア共和国女王「アナ」(生年1523年)

1596年9月19日-09:00|日本| ||文禄5年閏7月27日|<死去>徳川家の御用商人、朱印船貿易商「茶屋四郎次郎(初代)」

1596年9月22日-09:00|日本|広島県三原市|文禄5年8月|<再興>「仏通寺含暉院」小早川隆景により

1596年10月 00:00|イギリス| |||<就任>ノッティンガム伯「チャールズ・ハワード」(〜16241214死去)

1596年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「カミッロ・ボネリ」「アンパレ・ベルツィ」

1596年10月6日-09:00|日本|愛知県稲沢市|文禄5年8月15日|藤原家次ら、尾張国中島郡八幡社の社殿を建立

1596年10月13日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイレル・イ・アリ・パシャ」(〜15970131)

1596年10月19日-09:00|日本/スペイン|高知県|文禄5年8月28日|サン・フェリペ号事件。フィリピンからメキシコへ向かっていたスペイン船サン・フェリペ号(乗船した司祭はフアン・スコ会員2名、アウグスティン会員4名、ドミニコ会員1名。積荷の財宝は100万ペソ相当と言われる)が東シ海で台風被害を受け土佐沖に漂着/報せを受け長宗我部元親は漂流船を浦戸港へ曳航、船員の勾留と財宝など積荷を没収

1596年10月22日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ノッティンガム伯「チャールズ・ハワード」(〜16241214死去)

1596年10月23日-01:00|ハンガリー| |||メフメト3世のオスマン朝軍が、エルツ付近でハンガリー軍を破る

1596年10月27日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「シラザード・ユスフ・サン・パシャ」(〜12.5)

1596年11月8日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文禄5年9月18日|了儀ら、三河国貴船社の社殿を建立

1596年11月16日-09:00|日本|宮崎県児湯郡高鍋町|文禄5年9月26日|<死去>前日向国財部3万石当主「秋月種実」

1596年11月20日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王室総督「イシュトヴァーン・フェイェルグイ」

1596年11月20日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督代行「ミクロシュ・イシュトヴァン・フィ・パ・ラニャヴァーリ・エ・キ・ソニ・ファルグイ」(3回目〜15970602)

1596年11月29日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文禄5年10月10日|<完成>木幡山伏見城本丸

1600迄(1719件)

1596年12月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ダマト・イブラヒム・パシャ」(2期目~15971103)
1596年12月7日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「エルナン・アリウス・デ・サベドール」(2回目~15990708)
1596年12月8日-09:00|日本| ||文禄5年10月19日|秀吉が再び禁教令を出す(1回目は1587年のパテリ追放令)/京都のフランシスコ会修道院の包囲を命じ、ペドロ・バプチスタら修道士24名を捕らえる
1596年12月16日-09:00|日本| ||慶長1年10月27日|元号を「慶長」に改元
1596年12月17日-09:00|日本|京都府京都市|慶長1年10月28日|<死去>徳川四天王筆頭で酒井家初代酒井忠次が京都で(70歳)
1596年12月20日-09:00|日本|愛知県犬山市|慶長1年11月1日|犬山城主石川光吉、尾張国丹羽郡稲荷社の社殿を再興
1597年-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アリ・ジャラ・アブ・トゥル・ジャリル・シャー2世」
1597年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・ムハンマド・イブ・ニ・スルタン・イブラヒム」(~1602年)
1597年-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アラウディン・リアット・シャー3世」(~1615年没)
1597年-08:00|フィリピン| |||<即位>マギンダナオ王国スルタン「Kapitan Laut Buisan」(~1619年)
1597年-05:30|インド| |||<建国>ハンガール国
1597年-05:30|インド| |||アブルファズルの「アケバル会典」になる
1597年-05:00|ガザフスタン| |||<即位>ナガイ・オルダ・ハン「Tin Muhamed」(~1600年)
1597年-03:30|イラン| |||<即位>ホムズ・シャー「トウラン・シャー6世」⇒「ファルク・シャー2世」(~1602年)
1597年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイレバ「ラジャ・ハトゥンザデ・ムスタファ・パシャ」(~同年)⇒「アリ・パシャ」(~1598年)
1597年-02:00|ウクライナ| |||<復位>クリミア・ハン国ハン「ガースィー2世ギレイ」(2期目~1607.11死去)
1597年-02:00|フィンランド| |||フィンランドで農民戦争が勃発、カル大公がシギスムトを追放
1597年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ提督「Miguel Luis de Meneses」(2期目~1601年)
1597年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ファトウツ執行官「フロイト・ライノルト」(~1613年)
1597年-01:00|セルビア| |||<グルトンの蜂起>セルビア人の反乱(~1598年)
1597年-01:00|イタリア| |||ベネチアでアジェンソーネ教会建立
1597年 00:00|イギリス| |||<再任>ハントリー伯「George Gordon」(⇒15990407ハントリー侯~16360613死去)
1597年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Vasco de Carvalho」(~1598年)
1597年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Pedro Lasso de la Vega」(~1601年)
1597年 05:00|ジャマイカ| |||アンソニー・シャーリー、ハマйка唯一の港ラ・ビリヤ・デ・サント・ハゴ・デ・ラ・ベガを占拠するが、40日後には放棄
1597年1月2日-09:00|日本|東京都千代田区|慶長1年11月14日|<死去>服部半蔵正成(55)(誕生:天文11(1542))/伊賀忍者の総帥といわれた
1597年1月18日-09:00|日本|福島県会津若松市|慶長1年12月|徳川家康の娘振姫が、陸奥会津「蒲生秀行」に嫁ぐ
1597年1月22日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長1年12月5日|<改易>下総佐倉13000石「久野宗朝」43歳、切腹
1597年2月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイレバ「ミハリリ・アフメット・パシャ」(3回目~15981011)
1597年2月5日-05:30|インド| |||<死去>ファル朝ハン「Raja Ali Khan」
1597年2月5日-05:30|インド| |||<即位>ファル朝ハン「Bahadur Shah」(~1601年~1624年死去)
1597年2月5日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶長1年12月19日|11月15日に捕らえられた26人のキリシタンが長崎西坂の丘で処刑される[26聖人殉教]
1597年2月17日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長2年|宇喜多秀家が岡山城天守閣築城
1597年2月17日-09:00|日本|三重県鳥羽市|慶長2年|<交替>伊勢志摩3万5千石「九鬼嘉隆」隠居⇒子の「九鬼守隆」が継ぐ(⇒慶長5(1600)年2万石加増)
1597年3月-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「プレア・ラム2世」暗殺される
1597年3月-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「ハム・レキ2世」(~1599年殺された)
1597年3月2日-09:00|韓国/日本/朝鮮| ||慶長2年1月14日|慶長の役始まる/秀吉再び朝鮮を攻め日本軍諸将の再上陸始まる
1597年3月11日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン軍、フランス北部のアミアンを占領
1597年3月18日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長2年2月|<拝領>臼杵城主「太田一吉」
1597年3月18日-09:00|日本|大分県大分市|慶長2年2月|<加増移封>但馬国豊岡城3万石「福原直高」+豊後国大分郡・速見郡・玖珠郡3郡⇒豊後府内城12万石(⇒慶長4(1599)年府内領没収、臼杵6万石のみの領有となる)
1597年3月18日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|慶長2年2月|<移封>豊後杵築「杉原長房」→但馬豊岡25000石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)
1597年4月-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア総督「イドリス・パシャ」(~11月)
1597年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「パオロ・アントニオ・オノリ」
1597年4月1日-09:00|日本|愛知県岡崎市|慶長2年2月15日|源西ら、三河国聖善寺の聖徳太子像を再興
1597年4月4日-09:00|日本|愛知県岡崎市|慶長2年2月18日|岡崎城主田中吉政・吉次父子の命により、三河国加茂郡六所宮が再興
1597年4月7日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Gonzalo de Pina y Luduena」(~16000415死去)
1597年4月7日-09:00|日本|鹿児島県|慶長2年2月21日|薩摩の島津氏が一向宗を禁制に
1597年4月13日-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王領フィンランド 総督「クラス・フレミング・フ・リハレ・ティル・ウィク」

1600迄(1719件)

1597年4月13日-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「アルヴァ・ストーラム・ティル・リント」(8.1
まで代行~15990918)

1597年4月14日-09:00|日本|青森県黒石市|慶長2年2月28日|津軽為信が千徳政康の陸奥浅瀬石城を攻め滅ぼした

1597年4月19日-09:00|日本|茨城県守谷市|慶長2年3月3日|<死去>下総相馬郡守谷1万石「土岐定政」⇒「土岐定義」
が嗣ぐ(~元和3(1617)年摂津高槻へ)

1597年5月11日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Antonio de Mosquera」(~15980621)

1597年5月14日-09:00|日本|愛知県一宮市|慶長2年3月28日|町田久左衛門、尾張国片場白山社の社殿を建立

1597年5月16日-09:00|日本|愛知県あま市|慶長2年4月1日|清須城主福島正則、尾張国甚目寺の仁王像を造立

1597年5月22日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ホルズ 男爵トマス・バー」(~10.14没)

1597年5月25日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「フランシスコ・ダ・ガマ コンデ・デ・ウ・イゲイラ」(1回
目~16001225)

1597年5月27日-05:30|スリランカ| |||<死去>コッテ王国国王「ダルマ・ハラ」コッテ王国が滅亡/王権は、キャンディ王国に引き継
がれる

1597年6月2日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「ヤーシュ・クチャー」(~16010916没)

1597年6月2日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「ゴンサロ・メンデス・デ・カンシオ」(~16031020)

1597年6月15日-09:00|日本|福島県南相馬市|慶長2年5月|<移転>陸奥小高4万9234石「相馬義胤」⇒陸奥牛越(居城
を小高城から牛越城へ移した)(⇒慶長7(1602)年5月所領没収)

1597年6月16日-09:00|日本|栃木県河内郡上三川町|慶長2年5月2日|芳賀高武は上三川城に夜襲をかけた/城主今
泉高光は城を出て菩提寺長泉寺で自害、上三川城は落ちた

1597年6月18日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長2年5月4日|伏見城天守閣が完成し豊臣秀吉・秀頼らに移る

1597年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「ヨハン・ボックホルト・ティル・クリング・ストラッ」(2回目~1601
1001)

1597年7月8日-09:00|日本/ポルトガル|長崎県長崎市|慶長2年5月24日|<死去>ルイス・フロイスが長崎で/65歳(誕生:1532)ポ
ルトガルのイエズス会宣教師で永禄6年に来日し、「日本史」を著した

1597年7月26日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|慶長2年6月12日|<死去>筑前名島35万石「小早川隆景」65歳、三原
城で⇒養子「小早川秀俊」が継ぎ秀秋へ改名(⇒慶長3(1598)年4月2日越前北ノ庄15万石に減移封)

1597年8月2日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年6月19日|安骨浦と加徳島へ侵攻した朝鮮水軍が日本軍と海戦をお
こない、幹部が負傷するなどの被害を出して一旦閑山島まで後退

1597年8月19日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年7月7日|朝鮮水軍が給水のため加徳島に上陸したところを高橋統
増・筑紫広門軍の攻撃を受け敗走

1597年8月23日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 大統領・総督・総司令官「フランシスコ・デ・サン・ピエコン」(~16
020912没)

1597年8月27日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年7月15日|朝鮮出征軍の先鋒、朝鮮国唐島の番船が釜山海で朝鮮出
征軍の補給路を脅かしたために壊滅させる

1597年8月28日-04:00|韓国/日本| ||慶長2年7月16日|<漆川梁海戦>明け方より藤堂高虎らの日本水軍は巨済島
と漆川島の間にある漆川梁に停泊中の朝鮮水軍を海上から攻撃し、陸上部隊がこれを援護/日本水軍が朝鮮水
軍を圧倒し、数千人を討ち取り、その他大勢を海へ追い落とし、160余隻を捕獲、津々浦々15~16里にわたって海
賊船を悉く焼却/朝鮮水軍の主将のうち元均、李億祺、崔湖は戦死し、一人裴楔のみが逃走、朝鮮水軍は壊滅的打
撃を受けた

1597年9月-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルマスール・アルカシム・ビン・ムハンマド」(~16200219死去)

1597年9月5日-09:00|日本/フィリピン| ||慶長2年7月24日|ルソン国使が秀吉を訪ね、黒像1隻と銀器を贈り物とし入貢
を求める

1597年9月6日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年7月25日|加藤嘉明、巨済島沖にて敵船に遭遇し、単身踊りこんで数
人を斬る/土方長兵衛、萩作右衛門、加藤小次郎等、それに続いて乗りこみ、敵船奪取に成功

1597年9月25日-01:00|フランス/スペイン| |||アンリ4世がスペイン軍に占領されたアミアンを奪回

1597年9月26日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年8月15日|<南原城の戦い(朝鮮)>日本軍は攻城用の高櫓から城内を
猛射し、その間に濠を埋め、長梯子をかけて城壁を登り城内に突入/城内からは火の手があがり、もはや落城が
不可避となると、明兵は脱出を計ったが、城は既に日本軍の重囲下にあり、明兵は次々と刃を受けて討ち取られ
た/明軍では李新芳・蔣表・毛承先らの副将が戦死、朝鮮軍では李福男(全羅兵使)・任鉉(南原府使)・金敬老(助防
将)・鄭期遠(接伴使)・申浩(別将)・李元春(求礼県監)・馬応房(鎮安県監)・吳応鼎(防禦使)・李徳恢(判官)・黄大
中(義兵指揮官)ら諸将が全員戦死し、ここに南原城は陥った/明・朝鮮軍は5000人が戦死

1597年9月27日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年8月16日|<黄石山城の戦い>夜、朝鮮軍が守る黄石山城を日本軍が
総攻撃/日本軍は350餘の首級を挙げ黄石山城は陥落

1597年9月30日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年8月19日|全羅道の中核都市全州を守る明将陳愚衷は逃走したため
日本軍は戦うことなく全州を占領

1597年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ガミッロ・ボネリ」「アンニバレ・ベッルツィ」

1597年10月4日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝) 皇帝「サルサ・デングエル・メサ」

1597年10月4日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝) 皇帝「ヤコブ・サルサ・デングエル」(1回目~1603年8月)

1597年10月5日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年8月24日|日本軍全州城を破却

1597年10月9日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長2年8月28日|<死去>室町幕府最後の將軍だった足利義昭/61歳(誕
生:天文6(1537)1103)

1597年10月11日-09:00|日本|東京都杉並区|慶長2年9月|今川氏真、徹斐雄族を開山に、曹洞宗宝珠山観泉寺(杉並

1600迄(1719件)

区下井草)開基

- 1597年10月14日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副卿「ホルズ 男爵トマス・バー」
1597年10月14日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行「トマス・ノリス 卿」(~11. 27)
1597年10月15日-01:00|トイツ/オーストリア| |||<即位>バ イエルン公「マクシミリアン1世」ウ ィルヘルム5世の息子(~16230225フ ァルツ選
帝侯領と選帝侯位を獲得)
1597年10月15日-01:00|トイツ/オーストリア| |||<退位>バ イエルン公「ウ ィルヘルム5世」(~1626年死去)
1597年10月17日-03:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年9月7日|<稷山の戦い>夜明けには日、明両軍が激突/明軍大
いに敗れ水原方向に退く/午後3時を過ぎ、日本軍は敢えて追撃せず兵を収めて天安に還る/この日の戦闘で日
本軍の戦死黒田兵600人、明軍の戦死200餘人
1597年10月26日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年9月16日|<鳴梁海戦>陸に呼応して西進した日本水軍と朝鮮水軍
との間に起こった海戦/李舜臣率いる少数の朝鮮水軍が日本軍に勝利/日本水軍では来島通総以下数十人が戦
死、藤堂高虎が負傷し、数隻が沈没/朝鮮水軍の損害は軽微であったとされるが、結局のところ衆寡敵せず、夕方
になると急速に退却を開始し、その日の内に唐筈島まで後退
1597年10月26日-09:00|韓国/日本|愛媛県今治市|慶長2年9月16日|<死去>伊予中予風早郡1万4000石「来島通総」3
7歳、朝鮮水軍の将李舜臣と全羅道鳴梁で戦って戦死⇒次男の「来島長親」が嗣ぐ(~慶長5(1600)年所領没収)
1597年10月27日-01:00|イタリア| |||<死去>フェーラ・モナ・レヅジョ公「アルフォンソ2世」
1597年10月27日-01:00|イタリア| |||<即位>フェーラ・モナ・レヅジョ公「フェザレ」(⇒1598. 1、フェーラが教皇領に編入、モナ・レ
ヅジョ公~16281211死去)
1597年10月27日-09:00|韓国/日本| ||慶長2年9月17日|<鳴梁海戦(朝鮮)>藤堂高虎・脇坂安治らが前日の戦場を
見回り、敵船の皆無を確認、日本水軍は朝鮮水軍が陣を構えていた右水営を占領し鳴梁海峡を制圧
1597年11月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ハサン・パシャ」(1回目~1598年)
1597年11月3日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハデーム・ハサン・パシャ」(~15980409)
1597年11月10日-09:00|日本|富山県富山市|慶長2年10月|<移転>越中三郡(守山城)32万石「前田利長」⇒富山城(
⇒慶長14(1609)年9月高岡城に移る)
1597年11月22日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|慶長2年10月13日|<改易>下野宇都宮18万石「宇都宮国綱」(浅野長
政と争論)
1597年11月27日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ダブリン大司教アダム・ロフラス(2回目)」|「リチャ
ード・ガーティナ」(~15990415)
1597年12月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「シャガラザート・ユスフ・シナン・パシャ・ビン・アルジャファル」(~15
98年)
1597年12月7日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ラザロ・セバ・ケリマルディ」(~15990215)
1597年12月9日-09:00|日本|愛知県北設楽郡東栄町|慶長2年11月|三河国振草郷の住人ら、八王神の社殿を建立
1597年12月9日-09:00|日本|群馬県沼田市|慶長2年11月|沼田城の5層の天守閣が完成
1597年12月9日-09:00|日本|千葉県館山市|慶長2年11月|<高直し>安房一国(館山城)4万石「里見義康」⇒9万1千石
(⇒慶長5(1600)年常陸国鹿島郡3万石余加増され計12万数千石)
1597年12月9日-09:00|日本|新潟県|慶長2年11月|上杉景勝が、越後国郡絵図を作成
1597年12月10日-09:00|日本|広島県三原市|慶長2年11月2日|野上長門守、御調郡久井稻荷社々殿を再興
1597年12月23日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>トランシルバニアをオーストリアが統治(15980610発効~8. 20)
1597年12月23日-09:00|日本|愛知県名古屋市中村区|慶長2年11月15日|寺西茂吉ら、尾張国高野宮社の社殿を建
立
1598年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「ムハンマド・ハッサン」
1598年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「アフドゥル・ジャイル・アクバル」(~1659年死去)
1598年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<死去>ブハラ・ハン国シャイバニー朝ハン「アフドゥッラー2世」
1598年-05:00|カザフスタン| |||<即位>カザフ汗国ハン「イシム(エシム)」シガイの三男(~1613年)
1598年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニー朝ハン「アフドゥル・ムウミン」アフドゥッラー2世
の子(~同年)⇒「ヒール・ムハンマド2世」ジャニー・ベクの子スライマーンの子(~1599年)
1598年-03:30|イラン| |||<死去>パダスガニ朝(Kojur)君主「Jahangir4世」殺される
1598年-03:30|イラン| |||サファビ朝がイスファハーンに遷都
1598年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ベイレベイ「アフメド・パシャ・ビン・マフムード・ベグ・アルジュンディ」(~1599年)
1598年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ヒェランチェスコ・マリヒエロ」(~1600年)
1598年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「キドル・パシャ」(~1601年)
1598年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンデリア王国総督「ベネット・モロ」(~1601年)
1598年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「アフメド・パシャ2世」(~同年)⇒「アフメド・パシャ3世」(~1599
年)
1598年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キアプテンズ・メジヤー「アルバロ・アブランチ」(~1601年)
1598年-01:00|オランダ/ドイツ| |||<死去>ケメルト司令官「コダールト・バン・エア」
1598年-01:00|ポーランド| |||<就任>ホーレ公「バートリジ・グモント」トランシルヴァニア公(~同年)
1598年-01:00|スペイン| |||<就任>オリバレス公「ルイス・メンデス・デ・アロ」(~16611126死去)
1598年-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>ケメルト司令官「ヘントリック・ファン・ホルトロップ」(~16300917没)
1598年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「イザベル1世」(~1621年)アルベール1世と共同統治
1598年-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー総督「アントニアス・エルツヘルツォーク・フォン・オステライヒ」(~5. 6)
1598年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「アフメド・パシャ」(1回目~1599年)

1600迄(1719件)

1598年-01:00|フランス| |||<即位>エタンプ公「Gabrielle d'Estrees」(~15990410死去)
1598年-01:00|オランダ| |||アムステルダムに保険会議所が設立(保険業の始まり)
1598年-01:00|フランス/カナダ| |||フランスのラ・ロシュが第2回アメリカ遠征、ノバ・スコシアに上陸
1598年 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>ランサロテ島領主「Agustin1世 de Herrera y Rojas」
1598年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Joao Barbosa da Cunha」(1期目~15991019)
1598年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「フランシスコ・ゴメス・デ・サント・ヴァル・イ・ロハス、デ・ニア侯爵、レルマ公」(~16000129)
1598年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島領土執達吏(トスハウ)「Soren Nielsson」(2期目~同年)
1598年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>ランサロテ島領主「Agustin2世 de Herrera y Rojas」(~1631年死去)
1598年 00:00|カナ/オランダ| |||<設立>タッチ・コールド=コスト集落(セント・アンソニー砦[アスム:1642年2月~1664&1665~1671];ト
ロア砦[アウイダ:1687~1698&1711~1712&1732~1804];エルミナ砦[16370829~18720406、コンラズ・バーク砦、セント・ジャコ、ピ
砦、ジャバ砦、スマル砦、ナガラ砦とも呼ばれる];ホランダ砦[1725~1815];パテンスタイン砦[フリ:1656~1665&1666~1871];
アホロ砦(⇒1868、ウィルム3世砦)[ベニン:1868~1871];オレンジ砦[セコンデ:1640~1871];サン・セバスティアン砦[シャマ:1637~1664,1
664~1871];フリーテンバーク砦[コメンタ:1688~1782];カールスバーク砦[ケープ・キヤスル:16590416~1660年12月&16630502~16640
503];ナツワ砦[モリ:1598/1612~1664&1665~1782,1785~1867],アムステルダム砦[コルマンティン:1665~1782,1785~1867],レイセム
イト砦[アハム:1697~1782,1785~1868];グット=ホフ砦[セニャ・バラカ:1667/1705~1782&1785~1868];クレグ・ケール砦[アクラ:164
9~1782&1785~1867/8];メタルクロス砦[デイクスコブ:1868~1871];ルヒャーバー[アハクア:1654~1659],シンゲレンバウ砦[ケタ:1734~1
737];ウィッセン砦[タコラティ:1660年~16640409&16650115~1665年];アノマ[1640~1652];エキヤ[1647~16...&1663~1664];コ
ネ[1697~1700,1706~17...]現カナ;プチ・ホホ[アホ:1731~1760]トゴ;グレート・ホホ[1680~...];ウイター[1670~1687&17
02~1724/26];ゼランダ砦[ゴトメイ:1726~1734],オワ[1675~1691],およびアッパ[1732~1736]現ベナン;クマセ・デ・ホ[クマシ:
18370318~1842年2月&1848年~1853年3月&1859年~1869年2月])オランダ領ギニア海岸とも呼ばれる
1598年 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||オランダ艦隊、アフリカのサントメ・プリンシペを攻撃
1598年 00:00|イギリス/アメリカ| |||カンパ・ラント伯ジョージ・クリフォード三世の率いる英海軍、フェルトリコのサントウルに上陸占領/
疫病の発生により支配断念
1598年 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「アルバロ・デ・カルヴァーリョ」(~1603年10月)
1598年1月-01:00|イタリア| |||フェラーラ・モテナレツジョ公「チェザレ」フェラーラが教皇領に編入⇒モテナレツジョ公(~16281211死去
)
1598年1月7日-04:00|ロシア| |||<死去>ロシア・ツァーリ「フョードル・イワノヴィチ1世」
1598年1月7日-04:00|ロシア| |||<就任>ロシア摂政「ツァリツァ・イ・グエリカヤ・クニヤギニャ・イリナ・フョードロヴナ・ゴドゥノヴァ」(~2.17)
1598年1月7日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長2年11月30日|<移転>伊予国今治7万石「小川祐忠」⇒伊予国分城(⇒
同年隠居、子の「小川祐滋」が継ぐ⇒慶長5(1600)年改易)
1598年1月7日-09:00|韓国/日本|愛媛県今治市|慶長2年11月30日|<死去>伊予国分8万石「池田景雄」朝鮮で
1598年1月12日-01:00|パチン| |||教皇クレメン8世が、フェラーラ公国を奪取
1598年1月14日-09:00|日本|愛知県一宮市|慶長2年12月7日|僧含讃、尾張国法輪寺の懸仏を再興
1598年1月18日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<死去>ブランドンブルク選帝侯「ヨハン・ゲオルク」
1598年1月18日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランドンブルク選帝侯「ヨハン・フリードリヒ」ヨハン・ゲオルクの息子(~1608071
8死去)
1598年1月19日-09:00|日本|東京都大田区|慶長2年12月12日|池上本門寺五重塔建立
1598年1月28日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月下旬|泗川新城が完成
1598年1月29日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月22日|<第1次蔚山城の戦い>明軍の先鋒、擺蹇指揮の輕騎
兵1000に急襲され、毛利家家臣、冷泉元満、阿曾沼元秀、都野家頼が討ち死にし、仮営が焼き払われた/浅野幸長、
太田一吉が反撃に移るが、擺蹇が偽りの退却をし、浅野勢をおびき寄せ、揚登山・李如梅らが三方から合撃した
ので浅野勢は苦戦に陥り、460余の戦死者を出し太田一吉も負傷するほどの激戦の後、蔚山城惣構内に撤退して
籠城戦が始まる
1598年1月30日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月23日|<第1次蔚山城の戦い>未完成であった城の惣構を
明・朝鮮軍に突破され660余の戦死者を出した日本軍は、内城に撤退して防衛戦を展開し、この日の日暮れに迫
った明・朝鮮軍を撃退
1598年1月31日-03:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月24日|<第1次蔚山城の戦い>早朝、明・朝鮮軍は四面から
蔚山内城を攻撃したが、城を守る日本軍から無数の銃弾を浴び、多数の死傷者を出して退却
1598年2月1日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月25日|<第1次蔚山城の戦い>権慄は朝鮮軍単独による城攻
めを行ったが、日本軍から雨の如く銃弾を浴び、多数の死傷者を出して退却
1598年2月2日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月26日|<第1次蔚山城の戦い>終日風雨だったが明・朝鮮軍
は雨を冒して進攻し前の如く死傷者を出した
1598年2月3日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月27日|<第1次蔚山城の戦い>明・朝鮮軍はまた軍を進めた
が、前の如く死傷者を出した/蔚山城に氷雨が降り、城内で凍傷で指を失う者をはじめ、凍死者が続出
1598年2月4日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月28日|<第1次蔚山城の戦い>明・朝鮮軍は柴草を集めて、城
を火攻めにしようとしたが、甚だ多くの死傷者を出し、城の下に達することさえも出来ずに退却
1598年2月5日 09:00|韓国/日本/中国| ||慶長2年12月29日|<第1次蔚山城の戦い>夜、楊鎬・麻貴は全軍を自ら督
戦して最後の蔚山城攻城戦を開始するが、敵前退却する士率を斬り捨て、さらに戦意不足の李化龍を捕縛し軍
中の見せしめにならなければならない状況であった/蔚山城兵は迎撃し、攻めかかる敵兵に銃弾を浴びせかけた/
明・朝鮮軍は誰一人として抵抗する者がいなくなるほどの損害を被り、最後の攻城戦は失敗

1600迄(1719件)

1598年2月6日-09:00|日本|秋田県秋田市|慶長3年|<移転>出羽脇本52440石「秋田実季」⇒出羽土崎湊(⇒慶長7(1602)年常陸国宍戸に転封)

1598年2月6日-09:00|日本|群馬県安中市|慶長3年|<拝領>上野板鼻1万石「里見義高」(~慶長18(1613)年10月勤仕怠慢により断絶)

1598年2月6日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|慶長3年|<移封>豊後杵築城主「杉原長房(家次の子)」⇒但馬国豊岡城3万石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)

1598年2月8日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年1月3日|<第1次蔚山城の戦い>西生浦から毛利秀元・黒田長政らの率いる援軍が蔚山城南方の高地に到着/海上には長宗我部元親らの水軍が到来/夜、楊鎬、麻貴は全軍を自ら督戦して最後の攻城戦を開始するが、敵前退却する士率を斬り捨てて、さらに戦意不足の李化竜を捕縛し軍中の見せしめにならなければならない状況であった/来援を知った蔚山城兵は生気を取り戻して迎撃し、攻めかかる敵兵に雨の如く銃弾を浴びせかけ明・朝鮮軍は多くの死傷者を出して、誰一人として抵抗する者がいなくなるほどの損害を被り、最後の攻城戦は失敗

1598年2月9日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年1月4日|<第1次蔚山城の戦い>楊鎬、麻貴は城攻めの失敗と援軍の到来により退路を失うと判断し、擺寨、揚登山、呉推忠、茅国器の4隊を後衛として逐次慶州へ撤退を開始/日本の赴援軍では毛利秀元の陣所より、吉川広家が真っ先に進み出て明軍に向かって突撃し、続いて総勢が一度に突撃し明軍敗走/蔚山城の日本兵は山を駆け下り、一気に敵兵を討ち殺し朝鮮軍からも多くの死傷者が出た/この戦いで明軍は2万もの大損害を出し、戦いは日本軍の勝利となった

1598年2月15日-09:00|日本|福島県会津若松市|慶長3年1月10日|<移封>越後春日山「上杉景勝」⇒陸奥会津若松120万石(⇒慶長6(1601)年出羽米沢へ)

1598年2月15日-09:00|日本|山形県米沢市|慶長3年1月10日|<拝領>出羽米沢24万5700石「直江兼続」(上杉家家臣)

1598年2月17日-04:00|ロシア| ||ロシア暦2月7日|<即位>ロシア・ツァーリ「ホリス・フォード・ロヴィッチ」(~16050413死去)

1598年2月19日-09:00|日本|栃木県大田原市|慶長3年1月14日|<死去>下野黒羽13000石「大関高増」⇒子の「大関資増」が継ぐ(⇒慶長7(1602)年20000石に加増)

1598年2月21日-09:00|日本|大分県|慶長3年1月16日|<再興>豊後国内1万4千石「木村吉清」(~12月死去)

1598年2月21日-09:00|日本|大分県大分市|慶長3年1月16日|<移転>臼杵城主「福原長堯」⇒府内城主

1598年2月21日-09:00|日本|大分県大分市|慶長3年1月16日|<改易>豊後府内13000石「早川長敏」杵築に蟄居(⇒慶長4(1599)年閏3月19日、豊後府内城2万石再興)

1598年2月21日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|慶長3年1月16日|<減移封>陸奥会津若松91万9千石「蒲生秀行」⇒下野宇都宮18万石(幼少・家中内訌等により、~慶長6(1601)年陸奥会津60万石に復帰)

1598年2月21日-09:00|日本|長野県飯山市|慶長3年1月16日|<拝領>信濃飯山城主「関一政」(蒲生家与力から大名として自立)

1598年2月21日-09:00|日本|長野県長野市|慶長3年1月16日|<拝領>信濃川中島城主「田丸具直」(蒲生家与力から大名として自立)

1598年3月12日-09:00|日本|福井県福井市|慶長3年2月5日|<減移封>筑前国名島城37万石「小早川秀秋」⇒越前北ノ庄15万石/旧小早川家家臣の一部が石田三成の配下に入るなど、多くの家臣を失う/筑前は直轄領とされ、石田三成、浅野長吉が代官となる

1598年3月15日-09:00|日本|岐阜県関市|慶長3年2月8日|<拝領>摂津・美濃・尾張国内1万1200石「大嶋光義」(⇒慶長5(1600)年18000石に加増)

1598年3月22日-09:00|日本|愛知県愛西市|慶長3年2月15日|宗舜、尾張国西條八幡社の社殿を再興

1598年3月26日-09:00|日本|埼玉県本庄市|慶長3年2月19日|<死去>武蔵本庄1万石「小笠原信嶺」⇒「小笠原信之」が嗣ぐ(~慶長17(1612)年下総古河へ)

1598年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」「フランチェスコ・ジャンニ」

1598年4月5日-09:00|日本|静岡県袋井市|慶長3年2月29日|<死去>遠江久野1万6千石「松下之綱」⇒「松下重綱(吉綱)」が嗣ぐ(~慶長8(1603)年常陸小張へ)

1598年4月9日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「セラー・メフメト・パシャ」(~15990106)

1598年4月10日-02:00|ルーマニア/オーストリア| ||<就任>オーストリア・トランシルヴァニア総督「マクシミリアン(3世)エルツェルツォーク・フォン・オステルライヒ」、摂政「マリア・クリスティーナ・エルツェルツォーギン・フォン・オステルライヒ」(~8.20)

1598年4月13日-01:00|フランス| ||ブルボン朝のアナリ4世が出した「ナントの勅令」によりユグノー戦争(プロテスタントとカトリック教徒の戦い)がおさまった/ナントの勅令は個人に宗教選択の権利を与えた

1598年4月13日 00:00|カリヤ諸島/イギリス| ||ジョージ・クリフォード卿の下でイギリス艦隊がランサローテ島を攻撃して略奪

1598年4月19日-09:00|日本| ||慶長3年3月14日|<死去>六角義賢(承禎)(生年1521年/豊臣秀吉の御伽衆)元近江守護

1598年4月20日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長3年3月15日|豊臣秀吉、醍醐寺三宝院において「醍醐の花見」を行う

1598年5月2日-01:00|フランス/イギリス| ||フランスとスペインの間でヴェルヴァン条約が結ばれ、仏英戦争が終わる

1598年5月5日-09:00|韓国/日本|愛媛県今治市|慶長3年3月30日|<死去改易>伊予越智郡今治2万石「池田秀雄」、朝鮮半島安骨浦で没する

1598年5月6日-01:00|ベルギー/オランダ/フランス| ||<就任>ブラバント公・エノー伯・フランドル伯「イザベル1世」兼ブルゴーニュ公兼ルクセンブルク公・アルトリ伯「イザベラ・クララ・ユジニア」(~16210713退位)、ブラバント公・エノー伯・フランドル伯「アルベール2世」兼ブルゴーニュ公「アルベール7世」兼アルトリ伯「アルベルト」(~16210713死去)共同統治

1598年5月6日-01:00|フランス| ||<就任>ブルゴーニュ公「フィリップ6世」スペイン王フェリペ3世(~1621年)

1598年5月6日-01:00|ベルギー/オランダ| ||<就任>ベルギー総督「イザベラ・クララ・エウゲニア・デ・エスパーニャ」(16210713までオランダ)

1600迄(1719件)

タ`王女~16331201没)

1598年5月6日-01:00|イタリ| |||<退位>ミラノ公「フェリペ1世」(~15980913死去)

1598年5月7日-09:00|日本|石川県加賀市|慶長3年4月2日|<拝領>加賀大聖寺6万石「山口宗永」(~慶長5年8月3日(16000910) 自害)

1598年5月7日-09:00|日本|石川県小松市|慶長3年4月2日|<加増移封>加賀松任4万石「丹羽長重」⇒加賀小松12万5千石(~慶長5(1600)年改易)

1598年5月7日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長3年4月2日|<拝領>伊予国府7万石「小川祐忠」(⇒慶長5(1600)年改易)

1598年5月7日-09:00|日本|新潟県三条市|慶長3年4月2日|<移封>越後国内「堀直政」→越後三条城5万石(~慶長13年2月26日(16080411) 死去)

1598年5月7日-09:00|日本|新潟県新発田市|慶長3年4月2日|<加増移封>加賀大聖寺4万石「溝口秀勝」⇒越後新発田6万石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)

1598年5月7日-09:00|日本|新潟県上越市|慶長3年4月2日|<加増移封>越前北庄18万石「堀秀治」→越後春日山45万石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)

1598年5月7日-09:00|日本|新潟県長岡市|慶長3年4月2日|<拝領>越後蔵王堂4万石「堀親良」(~慶長7(1602)年隠居)

1598年5月7日-09:00|日本|新潟県南魚沼市|慶長3年4月2日|<拝領>越後坂戸2万石「堀直奇」(⇒慶長11(1606)年、蔵王堂藩3万石を加増され5万石~慶長15(1610)年信濃飯山藩4万石に転封)

1598年5月7日-09:00|日本|新潟県村上市|慶長3年4月2日|<加増移封>加賀小松6万6千石「村上頼勝」⇒村上越後本庄9万石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)

1598年5月7日-09:00|日本|福井県福井市|慶長3年4月2日|<減移封>筑前名島35万石「小早川秀秋」朝鮮出兵中の不首尾により→越前北庄12万石(⇒翌年2月5日筑前・筑後59万石)

1598年5月13日-09:00|日本|長野県小諸市|慶長3年4月8日|浅間山が噴火する/浅間山山開きで参詣衆800人が焼け死んだ

1598年6月6日-09:00|日本|愛媛県伊予郡松前町|慶長3年5月3日|<加増>伊予松前63000石「加藤嘉明」⇒10万石(⇒慶長5(1600)年10万石加増)

1598年6月6日-09:00|日本|大分県|慶長3年5月3日|<拝領>豊後安岐1万5千石「熊谷直盛(直陳)」(⇒慶長5年9月17日(16001023) 死去)

1598年6月6日-09:00|日本|佐賀県唐津市|慶長3年5月3日|<加増>肥前唐津6万3千石「寺沢広高」→8万3千石(慶長6(1601)年肥後天草42000石加増)

1598年6月30日 04:00|フ`ェルトリコ/イ`リス| |||<就任>フ`ェルトリコ知事兼提督「Sir George Clifford」イ`リス司令官(~8.14)

1598年6月30日 04:00|フ`ェルトリコ/イ`リス| |||イ`リスが、ジ`ョージ`クリフォード`卿、カンバーランド`伯爵、ジ`ョンパー`クレ`卿の下でサンファンを占領(~9.23)

1598年7月4日-09:00|日本|兵庫県丹波市|慶長3年6月|<加増移封>近江国内2万石「長野信良(織田信包)」⇒丹波国氷上郡柏原3万6000石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)

1598年7月11日 07:00|メキシコ| |||オニヤテ、サンファンに本部を定めリカ`ランテ`以北ミシシッ`以西の土地の領有を宣言. リカ`ランテ`川西岸に最初の首都サガ`フ`リエルを構える

1598年7月22日-09:00|日本|愛知県名古屋市熱田区|慶長3年6月19日|豊臣秀吉の寄進により、熱田社に、天王御崎御殿が建立

1598年7月23日-09:00|日本|茨城県筑西市|慶長3年6月20日|<拝領>常陸下館3万1千石「水谷勝俊」(慶長5(1600)年所領安堵)

1598年7月25日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|慶長3年6月22日|<加増>伊予宇和島城7万石「藤堂高虎」+喜多郡・浮穴郡内1万石→8万石(⇒慶長5(1600)年所領安堵)

1598年8月2日-09:00|日本|三重県津市|慶長3年7月|<拝領>伊勢上野1万石「分部光嘉(細野藤光の次男)」(⇒慶長5(1600)年2万石に加増)

1598年8月4日 00:00|イ`リス| |||<就任>イングランド`連邦大蔵卿兼主席アト`バ`イザー`代理「トマス`エ`ジャトン卿」(1期目~15990515)

1598年8月9日 00:00|サントメ`ブ`リンシ`/オランダ`| |||<就任>ブ`リンシ`植民地長官「Cornelis de Moucheron」オランダ`司令官(~11.26)

1598年8月9日 00:00|サントメ`ブ`リンシ`/オランダ`| |||オランダ`がブ`リンシ`を占領(~11.26)

1598年8月14日 04:00|フ`ェルトリコ/イ`リス| |||<就任>フ`ェルトリコ知事兼提督「Sir John Berkeley」イ`リス司令官(~9.23)

1598年8月14日-09:00|日本| |||慶長3年7月13日|豊臣秀吉、石田三成・長束正家・増田長盛・浅野長政・前田玄以を五奉行と定める

1598年8月18日-09:00|日本|徳島県板野郡藍住町|慶長3年7月17日|<死去>阿波住吉1万石「赤松則房」⇒子の「赤松則英」が継ぐ(~慶長5年10月1日(16001106) 自害滅亡)

1598年8月20日-02:00|ル`マニア`| |||<即位>トランシル`ニア大公「ジ`ギ`スモント`ハトリ`ソ`リヨイ」(2回目~15990328)

1598年9月5日-09:00|日本|福井県坂井市|慶長3年8月5日|<加増移封>越前国内2万石「青山宗勝」→越前国丸岡4万6千石(~慶長5(1600)年改易)

1598年9月6日-01:00|フランス| |||<就任>ブルゴ`ーニュ伯「イザ`ベラ`クラ`ユーゲ`ニア`フェリペ`7世の娘」(~16210713退任~16331201 死去)、「フェリペ`3世(スペイン王)」(~16210713死去)

1598年9月13日-01:00|スペイン/イタリ`フランス/オランダ`/ポ`ルトガル/ルクセン`ブルグ`| |||<死去>スペイン国王・サルデ`ィ`ニヤ王・ホ`セ`リ王・

1600迄(1719件)

- シチリア王「フェリペ 2世」兼「ポルトガル王「フェリペ 1世」兼「バルセロナ伯「フェリペ 1世」兼「ルクセンブルグ公・エノー伯「フィリップ 3世」兼「ブルゴニエ伯「フィリップ 7世」悪性の腫瘍のため/71歳(誕生15270521)
- 1598年9月13日-01:00|ベルギー/オランダ/フランス| |||<就任>エノー伯・フランドル伯「イザベル 1世」(~16210713退任)、「アルベール 2世(1世)」(~16210713死去)共同統治
- 1598年9月13日-01:00|スペイン/ポルトガル/イタリア/ベルギー/オランダ/フランス/ルクセンブルグ| |||<即位>スペイン国王「フェリペ 3世」・ナポリ王・シチリア王「フィリップ 2世」兼アラゴン王・ポルトガル王「フェリペ 2世」兼「ルクセンブルグ公「フィリップ 4世」兼「ブルゴニエ公「フィリップ 6世」兼「バルセロナ伯「フェリペ 3世」兼「ブルゴニエ伯「アルバート」イザベラの夫フェリペ 1世とアナ・デ・オーストリアの子(~16210331死去42歳)
- 1598年9月15日-09:00|日本|群馬県高崎市|慶長3年8月15日|<移転>上野箕輪12万石「井伊直政」⇒上野高崎12万石(⇒慶長5(1600)年近江国佐和山18万石)
- 1598年9月18日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長3年8月18日|<死去>摂津大坂城「大閤豊臣秀吉」が伏見城で病死/62歳(誕生:天文6(1537)0206)⇒子の「豊臣秀頼」が65万7400石継承(~元和1年大坂夏の陣で敗北、改易)
- 1598年9月19日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「アロンソ・クリスト・デ・カステリヤ」(~16110919没)
- 1598年9月20日-04:00|モリシャス/オランダ| |||<就任>モリシャス島司令官「ウィリアム・ヴァルウェイク」島を再発見し、オランダ領有宣言(~同年)
- 1598年9月25日-01:00|スウェーデン/ポーランド/リトアニア| |||スウェーデンのグスタフ・ヴァーサがポーランド・リトアニア共和国王・スウェーデン王「グスタフ 3世」を破る
- 1598年9月28日-01:00|オーストリア/ハンガリー| |||オーストリア軍がオスマン朝下のブダペストを包囲
- 1598年9月30日-01:00|イタリア| |||<即位>サルデーニャ国王「フェリペ 3世」フェリペ 2世とアナ・デ・オーストリアの息子(~16210331死去42歳)
- 1598年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンパオロ・ベッティスタ・ベッツィ」イノセント・ボネリ
- 1598年10月1日-09:00|日本|和歌山県田辺市|慶長3年9月|再び日高郡山地郷で一揆が起こり、増田長盛の指揮のもと堀内・杉若氏ら日高・牟婁郡の諸将によって老若男女の別なく撫で斬りにするといった弾圧の末に鎮圧された
- 1598年10月11日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストの「ペトル・スレイマン・パシャ」(~1599年8月)
- 1598年10月18日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年9月18日|<第二次蔚山城の戦い(朝鮮)>麻貴が明軍を率いて慶州を出撃。朝鮮軍の金応瑞が別に東萊へ進撃してから進んで蔚山倭城を攻撃開始し、防柵などを焼いたが日本軍の攻撃により明軍の被害は計り知れない/清正は去年の攻撃を戦訓に防戦の準備を重ね、堅く守備を固めていたために明・朝鮮軍は攻めきれずに撤退
- 1598年10月19日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年9月19日|<順天城の戦い>午後、日本軍最左翼の要衝である順天城守備の小西行長らは南下してきた明・朝鮮軍からの陸海からの攻撃を撃退
- 1598年10月20日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年9月20日|<順天城の戦い(朝鮮)>明・朝鮮水軍が城に迫ったが、日本軍は防戦してこれを退ける
- 1598年10月20日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年9月20日|明全軍川を渡り、望津、永春、昆陽の三城を奪取
- 1598年10月21日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年9月21日|<順天城の戦い(朝鮮)>明・朝鮮水軍が城に迫ったが、日本軍は防戦してこれを退ける/戦死した明兵も数知れず
- 1598年10月27日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年9月27日|<泗川古城の戦い>明軍は泗川古城を強襲、川上忠実等は少数ながら頑強に抵抗し、城から出撃すると明將遊撃李寧・蘆得功以下数百人を討ち取ったが、死傷者を多く出し危機的状況に陥っていたため、数の上で圧倒的に不利な川上忠実の軍勢は明・朝鮮連合軍の囲みを突破して泗川古城を放棄し、泗川新城への撤退を目指した/150人余りが戦死したが、泗川新城へ撤退することに成功
- 1598年10月29日-09:00|韓国/日本| ||慶長3年9月29日|<第2次蔚山城の戦い>(22日~)麻貴総兵が指揮する東路軍は加藤清正が守備する蔚山倭城を攻撃/城中の清正は守りを固めて出て来ないため蔚山倭城より撤退
- 1598年10月30日-09:00|日本|群馬県高崎市|慶長3年10月|箕輪城主井伊直政が家康の命令により和田義盛の一族和田正信が築いた和田城を改築し高崎城完成
- 1598年10月30日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年10月1日|<泗川新城の戦い>明副総兵薫一元の率いる明・朝鮮軍、慶尚道泗川城を攻めるも、島津軍に敗北
- 1598年10月31日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年10月2日|<順天城の戦い(朝鮮)>明・朝鮮軍は水陸両面から総攻撃を仕掛けた/地上では攻城具を連ねて外郭部に攻めかかったものの、城からの日本軍の鉄砲や大砲による反撃は激しく多くの死傷者を出した/日本軍は機を見て城から出撃して敵を斬り倒し、攻城具に火を放って焼き払った/明・朝鮮軍は八百余人の戦死者を出して撃退された/水軍による海上からの攻撃も撃退され、朝鮮水軍の蛇渡僉使黃世得が戦死
- 1598年11月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Juan de Onate」(~16100418)
- 1598年11月1日 11:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年10月3日|<順天城の戦い(朝鮮)>陳璘は午後8時頃水軍を率いて上げ潮に乗じて進み、夜半城下に迫り日本軍と攻防戦となる/戦闘中俄に引潮となると、明水軍の唐船二十三隻が浅瀬に座礁。これを日本軍が炎上させ、明兵に死傷及び捕虜となるものが甚だ多く出て、生還した者は百四十余名に過ぎなかった
- 1598年11月2日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年10月4日|<順天海戦>明・朝鮮の水軍による攻撃は継続されたが、城の守りは堅く撃退された
- 1598年11月4日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年10月6日|蔚山城を攻撃していた朝鮮、明連合軍が慶州に撤退
- 1598年11月5日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年10月7日|<順天倭城の合戦>(9/19~)明・朝鮮連合軍の総力を

1600迄(1719件)

挙げての一大攻勢は倭軍の反撃の前にすべて失敗に終わった

1598年11月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李元翼」(~15990717)

1598年11月7日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年10月9日|<順天城の戦い>明、朝鮮の水軍も海上封鎖を解いて古今島に撤退/明、朝鮮の西路軍、水軍による順天城攻略作戦は失敗

1598年11月11日-09:00|韓国/中国/日本| ||慶長3年10月13日|明軍の参謀である史竜涯と与友理が泗川新城にきて和議をこい合議の結果成立

1598年11月20日-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Rui Goncalves de Sequeira」(~1601年)

1598年11月24日 00:00|イギリス| |||<死去>ウィンチェスター侯「ウィリアム・ポーレット」

1598年11月24日 00:00|イギリス| |||<就任>ウィンチェスター侯「ウィリアム・ポーレット」(~1628年)

1598年11月29日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|慶長3年11月|上野宗左衛門ら、尾張国春日井郡六所社の社殿を再興

1598年12月 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「ペドロ・デ・ビスカラ・デ・ラ・パレラ」(~1599年5月)

1598年12月8日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|慶長3年11月10日|本願寺大坂御坊(津村別院)、樓の岸から津村に移転

1598年12月13日-09:00|韓国/日本| ||慶長3年11月15日|島津義弘が、明軍から人質を受け取るのと引き換えに泗川新城を焼き払い、撤退を開始

1598年12月15日-09:00|韓国/日本| ||慶長3年11月17日|加藤清正が、蔚山城を焼き払い、釜山に向けて撤退を開始

1598年12月16日-01:00|赤道ギニア/オランダ| |||オランダによるアンボボン島占領(~15990102)

1598年12月16日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年11月18日|<露梁津の海戦>未明、露梁津を抜けようとした日本軍は南海島北西の小島、竹島の陰に潜んだ明水軍と同じく南海島北西の湾、観音浦に潜んだ朝鮮水軍とに出口で待ち伏せされ、南北から挟撃される形で戦闘が始まった/偵察に用心している立花、高橋軍は一番に明、朝鮮水軍と交戦、立花家臣の池辺貞政は明の陳?の戦船に乗り込んで一番乗り、串刺に遭って戦死/日本軍の奮戦により明・朝鮮水軍先鋒は観音浦へと後退、先鋒が後退したのを見て前進してきた明水軍主力と島津本隊、および後続他家入り乱れての混戦となる/先陣を切っていた島津軍に損害が大きく、島津の将樺山久高率いる一隊は、海峡突破に成功したものの本隊と分断され、当初に朝鮮水軍の潜んでいた観音浦に逆に押し込められ、浅瀬に座礁して船を失い、徒歩で南海島を横断して東岸へ脱出せざるを得ないという状況になった/主将の島津義弘の乗船も潮に流されて後落し、敵船から熊手などを掛けられ切り込まれそうになる窮地に陥り、他家の救援も得てようやく脱出できた

1598年12月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・万暦26年11月19日|李舜臣が日本軍の退路を断つべく戦うが戦死/53歳(誕生:1545)朝鮮、秀吉の朝鮮侵略に対して水軍を率いて奮戦した名将

1598年12月17日-09:00|韓国/日本/中国| ||慶長3年11月19日|<露梁津海戦>夜が明けるころには大勢は決し、日本側の撤退により戦闘は終結

1598年12月18日-09:00|韓国/中国| |||明軍、泗川城・順天城・蔚山城を占領

1598年12月21日-09:00|韓国/日本| ||慶長3年11月23日|加藤清正が釜山城に火をかけ、日本へ向かう

1598年12月22日-09:00|韓国/日本| ||慶長3年11月24日|毛利吉成、釜山より帰還

1598年12月23日-09:00|韓国/日本| ||慶長3年11月25日|小西行長、島津義弘等が釜山を出発/日本の出征大名達は朝鮮を退去して日本へ帰国し、豊臣秀吉の画策した明遠征、朝鮮征服計画は成功に至らぬまま、秀吉の死によって終結

1598年12月26日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Pedro Suarez」(2期目~1599年)

1598年12月28日-09:00|日本|大分県|慶長3年12月|<死去>豊後国内1万4千石「木村吉清」⇒子の「木村清久」が継ぐ(~慶長5(1600)年、改易)

1599年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「ファン・van der Does」(~1601年)

1599年-08:00|マレーシア| |||<即位>サラワク・スルタン「スルタン・イブラヒム・アリ・オマル・シャー」(~1641年没)

1599年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティモール・スルタン「Mole Majimu」(~1627年)

1599年-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「ハロム・レア3世」殺された

1599年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「ハロム・レア3世」(~1600年殺された)

1599年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国ジャン朝ハン「バーキー・ムハンマド」ジャンニー・ムハンマドの次男(~1605年)

1599年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||サファビ朝がウズベク人のシャハニー朝を滅ぼす

1599年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||ブハラを首都にウズベク人のアストラハン朝が創始

1599年-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「ジョージ10世」(~16060907死去)

1599年-03:30|イラン/トルコ| |||サファビ朝がオスマン朝からダブリースを奪回

1599年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルベイ「タルジック・アフメド・パシャ」(~同年)⇒アレクソ・ワリス(総督)「エル・ハジ・イブラヒム・パシャ」(~1600年)

1599年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「フスフ・パシャ2世」(2期目~同年)⇒「外科医」マフメド・パシャ」(~1600年)

1599年-02:00|ルーマニア| |||<即位>ワキア公「ニコライ・ピトラスク」(~1600.10)父と共同統治

1599年-02:00|トルコ/イメン| |||オスマン朝の主権がイメンのほぼ全域に及ぶ

1599年-02:00|南アフリカ| |||バンツ系アフリカ人がリントポフ川の南部へ移住

1599年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「デイレ・ハッサン・パシャ」(~1601年)

1600迄(1719件)

1599年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ターガ・イス・ハ・パ・シャ」(1回目~1600年)
1599年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン「アルマンスール」(~1612年)
1599年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「ハルン」(~1612年)
1599年-01:00|オランダ/ベネチア| |||西インド会社のオランダ船十三隻が、ベネチアのアラヤ半島塩田を占拠。大量の塩を持ち出す
1599年-01:00|スウェーデン| |||スウェーデン王国摂政カール9世(-1604)
1599年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Antonio Pamacho Moso」(~1601年)
1599年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島領土執達吏(ト・スハウン)「Strange Madson」(2期目~16190812)
1599年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事代理「Edward Ellis」(2期目~同年)
1599年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「ガスパル・ロドリゲス」(~同年)
1599年1月6日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「タマ・イブラヒム・パ・シャ」(3期目~16010710)
1599年1月16日 00:00|イギリス| |||英の詩人スペンサー/死去/「詩人の詩人」と呼ばれた
1599年1月18日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「モントローズ 伯ジョン・グラハム」(~16041213)
1599年1月27日-09:00|日本|京都府|慶長4年|<拝領>山城・丹波両国内1万2千石「石川貞通」(⇒慶長5(1600)年改易)
1599年1月27日-09:00|日本|三重県津市|慶長4年|<交替>伊勢安濃津5万石「富田知信(信広)」隠居⇒子の「富田信高(知信)」が嗣ぐ(⇒慶長5(1600)年7万石に加増)
1599年1月27日-09:00|日本|山梨県甲府市|慶長4年|<交替>甲斐国府中21万5千石「浅野長政(長吉)」隠居⇒「浅野幸長」(16万石)が嗣ぐ(⇒慶長5(1600)年紀伊和歌山へ)
1599年1月27日-09:00|日本|愛知県清須市|慶長4年1月|満天姫(家康の養女、父は松平康元)と福島正之(福島正則の養子、父は別所重宗・母は福島正則の姉)が婚姻
1599年1月27日-09:00|日本|佐賀県|慶長4年1月|<領土変更>対馬国主「宗義智」に薩摩国出水郡内1万石のかわりに肥前国基肄・養父郡10037石
1599年1月27日-09:00|日本|広島県広島市中区|慶長4年1月|毛利輝元、安芸・広島城を完成
1599年2月4日-09:00|日本|鹿児島県出水市|慶長4年1月9日|<加増>薩摩出水5万石「島津氏」
1599年2月4日-09:00|日本|長崎県壱岐市|慶長4年1月9日|<加増>田代領(基肄、養父半郡)1万石「宗義智」
1599年2月5日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長4年1月10日|秀吉の遺言に従い、前田利家が秀頼を擁して大坂城に入る
1599年2月7日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長4年1月12日|徳川家康が伏見城に入る
1599年2月7日-09:00|日本|埼玉県深谷市|慶長4年1月12日|<死去>武蔵深谷1万石「松平松千代(6歳)」⇒徳川家康六男「松平忠輝」に継がせた(〜慶長7(1602)年下総佐倉へ)
1599年2月21日-09:00|日本|京都府京都市南区|慶長4年1月26日|東寺火災
1599年2月22日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ロレンツォ・サリ」(~16010221)
1599年3月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリースラ伯「Edzard2世」
1599年3月1日-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラ伯「Enno3世」(~16250819死去)
1599年3月1日-09:00|日本|石川県|慶長4年2月5日|<移封>越前1万3千石「山口修広」⇒加賀江沼郡1万3千石(〜慶長5年8月3日(16000910)自刃改易)
1599年3月1日-09:00|日本|福井県福井市|慶長4年2月5日|<加増移封>越前府中城8万石「青木一矩」⇒越前北ノ庄21万石(⇒慶長5(1600)年10月10日病死改易)
1599年3月1日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|慶長4年2月5日|<移封>越前北庄15万石「小早川秀秋」⇒筑前名島59万石(⇒慶長5(1600)年備前・美作・備中東半(旧宇喜多秀家領岡山)55万石)
1599年3月2日-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>アンボン島ポルトガル首領「Esteveao Teixeira de Macedo」(~1602年)
1599年3月22日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Alonso de Mercado」(~1601年)
1599年3月27日-09:00|日本|徳島県鳴門市|慶長4年3月|入浜塩田の起源となる鯨島(鳴門市)に塩田がつくられ、周辺に次々と塩田(斎田4組)が開発される
1599年3月28日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公「アントニウ・バソリー・ソムリョイ枢機卿」(~10.31没)
1599年3月31日-09:00|日本|鹿児島県垂水市|慶長4年3月5日|<加増移封>種子島1万石「島津以久」⇒大隅国垂水(⇒慶長8(1603)年日向国佐土原藩3万石)
1599年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ヒェール・マリノ・シオニー」
1599年4月4日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長4年3月9日|<庄内の乱>島津家では権力争いが起き、伏見で島津忠恒(義弘の三男)が島津筆頭家老の伊集院幸侃(忠棟、日向庄内8万石)を殺害/忠恒は謹慎処分(4月に解除され帰国)となり、代わりに忠恒・義弘と分裂し始めていた義久(義弘の兄)が実権を取り戻す
1599年4月7日 00:00|イギリス| |||<昇格>6代ハントリー伯「ジョージ・ゴードン」⇒初代ハントリー侯(~16360613死去)
1599年4月10日-01:00|フランス| |||<死去>エタン公「Gabrielle d'Estrees」
1599年4月10日-01:00|フランス| |||<即位>エタン公「Cesar, duc de Vendome」(~16651022死去)
1599年4月15日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「エセックス伯爵ハート・デヴァール」(~9.25)
1599年4月17日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハミルトン侯「ジョン・ハミルトン」3代アラン伯の弟(~16040426死去)
1599年4月25日-09:00|日本|福井県|慶長4年閏3月|<加増>越前安居1万石「戸田重政」⇒2万石(⇒慶長5年9月15日(16001021)戦死改易)
1599年4月25日-08:00|中国| |||明・万暦27年4月|明の臨清で宦官馬堂の苛斂誅求に対して暴動がおこる

1600迄 (1719件)

1599年4月27日-09:00|日本| ||慶長4年閏3月3日|後陽成天皇の命で木活字版『日本書紀神代卷』刊行/慶長勅版と呼ばれた

1599年4月27日-09:00|日本|石川県|慶長4年閏3月3日|<死去>加賀金沢120万石「前田利家」(豊臣氏五大老の1人)62歳、大坂の自邸で病死⇒子の「前田利長」(五大老)継ぐ(⇒慶長6(1601)年、能登七尾城22万5000石・西加賀小松領12万石・大聖寺領(加賀西部の能美郡・江沼郡・石川郡松任)6万3000石が加領)

1599年4月28日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|慶長4年閏3月4日|石田三成が加藤清正、福島正則、浅野幸長、蜂須賀家政、長岡忠興、黒田長政、藤堂高虎、加藤嘉明、池田輝政らの追討を受け、大坂から伏見に逃げて家康を頼る

1599年4月29日-01:00|ドイツ| ||ホーエンツォルン家が、王位継承に関するゲウ協定を結ぶ

1599年5月 04:00|刊/スペイン| ||<就任>刊総督「フアンスコ・デ・キヨネス」(~1600年7月)

1599年5月1日-01:00|ドイツ| ||<死去>トリア選帝侯「ヨハ7世」

1599年5月1日-01:00|ドイツ| ||<就任>トリア選帝侯「ロール」(~16230917死去)

1599年5月3日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長4年閏3月9日|徳川家康が石田三成襲撃事件の仲裁を行い、三成を佐和山城での謹慎処分とした

1599年5月7日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長4年閏3月13日|徳川家康は伏見城を奪取、政務を行う

1599年5月13日-09:00|日本|大分県大分市|慶長4年閏3月19日|<再興>豊後府内城2万石「早川長政」(~翌年、改易)

1599年5月15日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド連邦大蔵卿兼主席アトバ「バクハースト男爵・トーマス・サウケイル」(~16080419死去)

1599年5月24日-09:00|日本|熊本県|慶長4年4月|水野忠重の娘、かな姫が徳川家康の養女として、加藤清正に嫁ぐ

1599年5月24日-09:00|日本|広島県廿日市市|慶長4年4月|毛利輝元、大檀那として、弥山神護寺の大日堂を造立

1599年6月 00:00|カリヤ諸島/オランダ| ||ヒーター・ファン・デルの下のおランダ艦隊は、ラス・パルマスとラ・ゴメラを攻撃して略奪(~7月)

1599年6月7日-09:00|日本|愛知県常滑市|慶長4年4月15日|三郎右衛門尉、尾張国檜原白山社を再興

1599年6月10日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長4年4月18日|東山三十六峰のひとつ阿弥陀ヶ峯に前年没した豊臣秀吉を「豊国大明神」として祀る豊国神社創建

1599年6月17日-09:00|日本|宮崎県|慶長4年4月25日|島津義久が伊集院忠真の攻撃を開始/忠真は日向都之城とその支城12城に籠城(兵数8,000)

1599年7月-01:00|スペイン/フィリピン| ||モ族がグイヤ諸島を攻撃し、反スペイン蜂起

1599年7月7日-09:00|日本|大分県|慶長4年5月15日|<拝領>豊後国内1万4千石「木村秀望」(⇒翌年改易)

1599年7月7日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長4年5月15日|<改易>豊後臼杵城主6万5000石「太田一吉」朝鮮出兵中の私曲

1599年7月7日-09:00|日本|大分県大分市|慶長4年5月15日|<減封>豊後府内城12万石「福原直高」府内領没収⇒豊後臼杵6万石(~慶長5(1600)年、改易)

1599年7月7日-09:00|日本|大分県国東市|慶長4年5月15日|<改易>豊後安岐城主1万5000石「熊谷直陳」朝鮮出兵中の私曲(⇒翌年再興)

1599年7月7日-09:00|日本|大分県国東市|慶長4年5月15日|<改易>豊後富来城主2万石「垣見一直」「垣見家純」朝鮮出兵中の私曲

1599年7月8日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「デ・イエコ・ロドリゲス・バルデス・イ・ラ・バンド」(~16001220死去)

1599年7月8日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルシア総督「デ・イエコ・ロドリゲス・バルデス・イ・ラ・バンド」(~16001220没)

1599年7月11日-09:00|日本|高知県|慶長4年5月19日|<死去>土佐一国10万石(土佐浦戸城)「長宗我部元親」61歳⇒子の「長宗我部盛親」が継ぐ(~翌年改易)

1599年7月24日-01:00|スウェーデン/ポーランド| ||<退位>スウェーデン王国国王「シグムント」(ポーランド王ジグムント3世)

1599年8月-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのベイレベイ「ティリヤ・ハサン・パシャ」(1回目~11月)

1599年8月4日 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール首長「アントニオ・ペレイラ・ロペス・デ・ベレト」(~16050922)

1599年8月5日-09:00|日本|山口県山口市|慶長4年6月15日|<分与>出雲・隠岐・伯耆三郡・安芸廿日市(高嶺城)17万石「毛利秀元」(慶長5(1600)年長門国豊浦郡・厚狭郡(櫛崎城)6万石)

1599年8月8日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年6月18日|<庄内の乱>忠棟の嫡子伊集院忠真は各外城の防御を厚くし一族や家臣を配置し守りを固めた/島津忠恒は、緒戦で山田城を落とし入城、次いで恒吉城を落としたがその後戦いは膠着状態/忠真側の智将白石永仙らの活躍により、忠恒側の死傷者も多数にのぼった/義久も出陣し、財部城を攻めたが落とすことはできなかった

1599年8月13日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年6月23日|島津忠恒は山田城に進発/中務豊久が大手の木戸口まで攻め寄せ北郷勢や新納忠元らが二重木戸を打ち破って城中に攻め入った/城主・長崎治部少輔は支えることができず、落ちた

1599年8月15日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年6月25日|図書守忠長、樺山久高、柏原将監ら都盆地の南に孤立する恒吉城を攻め城主・伊集院宗右衛門尉は都城に撤退

1599年8月16日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年6月26日|伊集院忠真の弟・小伝次の守る末吉城を攻撃したが落とせず

1599年8月19日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年6月29日|山之口城主・倉野七兵衛尉が、北へ大きく迂回して後方攪乱のため福山地頭・山田有栄の高原に設けた新関を破り、東霧島の本陣を衝いたが近衛がよく守り倉野は鉄砲にあたり戦死

1600迄 (1719件)

1599年9月-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>オステント 総督「ジャン・ヒロン」(~1600年)
1599年9月2日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年7月13日|山田城在番の軍勢と東霧島本陣番の北郷勢が志和池、野々三谷両城に攻撃を仕掛け志和池と高城の軍勢と乱戦/島津方、敗走
1599年9月5日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>ベルギー総督「アルブレヒト・エルツベルグ・フォン・オスターライヒ」(オランダ 国王~1621 0713没)
1599年9月13日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「尹斗寿」(~11. 6)
1599年9月25日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ダブリン大司教アダム・ロフス(3回目)」 「ジョージ・ケアリ卿」(~16000227)
1599年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オラツィオ・ベルツィ」 「ラッタンツィオ・ヴァッリ」
1599年10月4日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年8月15日|北郷勢は戦局の打開を図るため、軍勢を二手に分け、志和池城を攻めたが失敗
1599年10月9日-09:00|日本| ||慶長4年8月20日|八幡船(海賊船)の禁止令
1599年10月12日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・光興22年8月24日|<死去>後黎朝(大越)後期第4代皇帝「世宗黎維潭」
1599年10月15日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・光興22年8月27日|<即位>後黎朝(大越)後期第5代皇帝「敬宗黎維新」(~16190623死去)
1599年10月19日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>サントメ植民地司令官「Pieter van der Does」(~10. 24死去)
1599年10月19日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||サントメはオランダが占領(~15991105)
1599年10月19日-09:00|日本|広島県福山市|慶長4年9月|安国寺恵瓊、毛利輝元を大檀越として、備後国安国寺釈迦堂を再興
1599年10月24日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<死去>サントメ植民地司令官「Pieter van der Does」
1599年10月24日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>サントメ植民地司令官「Cloper」(~同年死去)⇒「Leijnsen」(~11. 5)
1599年10月28日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年9月10日|島津忠恒は野々三谷、安永城をぬき、都城近辺の乙房丸まで攻め込んだ/伊集院忠真は都城の兵を繰り出し島津方の軍勢は崩れ、平田増宗は本道を退くことができず、野々三谷へ退いた
1599年10月31日-02:00|ルーマニア| |||<死去>トランシルヴァニア大公「アントニウ・バソリー・ソマリヨイ枢機卿」
1599年11月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ニコラエ・パトラスク」共同統治(~16000912)
1599年11月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>フタのペイルバエ「ラ・アラ・マフメト・パシャ」(1回目~1600年9月)
1599年11月1日-02:00|ルーマニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア・トランシルヴァニア総督「ミハイル・ヴァーグ・オーダ」(~16000920)
1599年11月1日-02:00|ルーマニア| |||トランシルヴァニアがワラキアに占領される(~16000920)
1599年11月5日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Joao Barbosa da Cunha」(2期目~1601年)
1599年11月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李元翼」(~16000229)
1599年11月18日-08:00|中国| ||明・万暦27年10月|明で陳奉らの苛斂誅求に対して武昌・漢陽で暴動おこる
1599年11月18日-09:00|日本|静岡県浜松市|慶長4年10月1日|<交替>遠江浜松12万石「堀尾吉晴」隠居⇒次男の「堀尾忠氏」(父の隠居領5万石を加え17万石)が嗣ぐ(慶長5年出雲松江へ)
1599年11月18日-09:00|日本|福井県越前市|慶長4年10月1日|<拝領>越前府中5万石(隠居料)「堀尾吉晴」(~翌年)
1599年11月19日-09:00|日本| ||慶長4年10月2日|家康暗殺計画に加担した諸将に対する処分が家康より発表され、浅野長政は隠居を命じられ武蔵国府中に蟄居、豊臣秀頼・淀殿側近の大野治長は下総結城、加賀野々市城主の土方雄久は常陸水戸に流罪となった
1599年11月19日-09:00|日本|石川県七尾市|慶長4年10月2日|<改易>能登石崎2万2千石「土方雄久」政争の巻添えで常陸へ配流
1599年11月22日-09:00|日本|岩手県盛岡市|慶長4年10月5日|<死去>陸奥盛岡10万石「南部信直」⇒「南部利直」が継ぐ(寛永9年8月18日(16321001)死去)
1599年11月22日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年10月5日|島津忠恒は志和池城攻め/戦線は膠着
1599年11月24日 04:00|刊| |||ペランター・ロバート・ピア市を破壊
1599年12月15日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年10月28日|島津義久自身が大雨兵を率い、財部城攻め/城兵が繰り出し野戦となり寄せ手には大きな損害がでて膠着状態
1599年12月19日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ国王「ナンダ・バイン」アラカン軍に降伏し、処刑される
1599年12月19日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ国王「ニャウン・ミン」(~16051105没)
1599年12月24日-09:00|日本|北海道|慶長4年11月7日|<改名>蝦夷領主「蠣崎慶広」⇒「松前慶広」(~元和2年10月12日(16161120)死去)
1599年12月25日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年11月8日|志和池城で寄せ手の北郷軍が伊集院軍に切り崩され互いに損害をだして退いた
1600年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンバウ・パネハン王「Timbang Paseban」(~1609年)
1600年-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「ハロム・レキ3世」殺された
1600年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「ホニャー・ヨム」(~1603年)
1600年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Lalitpur)国王「Harihara Simha」(~1609年)
1600年-05:30|インド| |||<即位>アフマド・ガール王国国王「ムルサ・ニザム・シャー2世」(~1610年死去)
1600年-05:00|カザフスタン| |||<即位>ノガイ・オルダ・ハン「Isterek」(~1618年)
1600年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン「ウラズ・ムハンマド」オタマン(カザフ・ハン国のシガイの子)の子(~1610年頃)

1600迄(1719件)

1600年-04:00|ロシア| |||<即位>シビル・ハーン「アリ」(~1607年)
1600年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュ・スルタン国スルタン「ムハンマド」
1600年-03:00|ジブチ| |||<即位>ラハイト・スルタン「ギブデ・イ・アハマト」
1600年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「アリ・パ・シャ」(~1601年)
1600年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデ・イア公「ヤコポ・ペーザロ」(~1602年)
1600年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「マフムド・パ・シャ」(1期目~同年)⇒「オスマン・パ・シャ」(1期目~1603年)
1600年-02:00|エストニア/ポーランド/スウェーデン/リトアニア| |||エストニアをめぐる、ポーランド・リトアニア共和国とスウェーデンが戦争
1600年-02:00|ブルンジ| |||ツチ族がブルンディへ移住(第二波)
1600年-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>オステント 総督「マクシミリアン・ファン・クルニンゲン」(~1601年)
1600年-01:00|ベナン| |||<就任>サハルのマリ国統治者「クバギ・ディ1世アホー・ソハ」(~1618年)
1600年-01:00|ベナン| |||<設立>ダッサのヨルバ 王国
1600年-01:00|ベナン| |||<即位>アグボムのフォン王国国王「ト・アカリ」(~1625年)
1600年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Carlo Gaudenzio Madruzzo」(~1629年)
1600年-01:00|ベナン| |||アラダ 王家の分裂によりアグボムのフォン王国建国
1600年-01:00|オランダ/チリ| |||オランダのコレス兄弟、オリバー・バン・ヌルトらがチリ沿岸を襲撃
1600年 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド 伯「ジェームス・フィッツ・ジェラルド」(~1601.11死去)
1600年 00:00|ポルトガル| |||<就任>マティウ総督「Cristovao Falcao de Sousa」(~1604年)
1600年 00:00|フェロー諸島| |||死去>フェロー諸島首席大臣「Peder Jacobsen」
1600年 00:00|ガーナ| |||西アフリカのゴールドコーストでアクム国、デンキラ国が成立
1600年 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||リオのポルトガル人、フランス人を最終的に駆逐
1600年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フラー・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「アロンソ・マルト・ナド・イ・トレス」(~1609年)
1600年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「アントニオ・デ・カルバハル」⇒暫定総督「ゴンサロ・パスケス・デ・コロナド・イ・アリアス・ダビラ」(~1604年)
1600年 07:00|メキシコ| |||ドゥランゴで原住民の反乱
1600年1月1日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年11月15日|高城に平田増宗、中原中将坊、北郷勢らが撃ちかかったがうち破られた
1600年1月5日-09:00|日本|愛知県津島市|慶長4年11月19日|尾張国知多郡牛頭天王社の社殿が建立される
1600年1月23日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長4年12月8日|島津忠真方の兵が山田城の軍勢をおびき出し100余が討ち取る
1600年1月29日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「クリストバオ・デ・モウラ・エ・ヌー・カステロ・リゴ 侯」(1期目~1603年)
1600年2月 05:00|ペルー| |||ピルカバンパでフランス・チマのひきいる先住民の反乱
1600年2月9日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポツメルン=シュテッティン公「ヨハン・フリート」北強健公
1600年2月9日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ポツメルン=シュテッティン公「バルニム10世若公」(~16030901死去)
1600年2月14日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・愼徳1年1月|大越後黎朝5代・敬宗が愼徳と改元(~旧10月)
1600年2月15日-09:00|日本|徳島県|慶長5年1月|氏姫(徳川家康の養女、小笠原秀政の娘)と蜂須賀至鎮(蜂須賀家政の長男)が婚姻
1600年2月17日-01:00|イタリア| |||<死去>「ジョルダノ・ブルーノ」イタリアの哲学者・天文学者(生年1548年)汎神論と地動説を主張し宗教裁判で禁固7年の後焚殺
1600年2月19日 10:00|日本|大阪府大阪市|慶長5年1月5日|<宇喜多騒動>夜、宇喜多家旧臣派の戸川達安、宇喜多詮家、岡越前守、花房秀成ら(すでに宇喜多家から追放されている)が大坂の中村次郎兵衛を襲撃/その後襲撃勢は大谷吉継に庇護を求める/大谷吉継は首謀者の処分を家康に委ね、家康は戸川達安を自国への配流として家臣とさせ、その他3名は宇喜多家に復帰させた
1600年2月23日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「ミゲル・デ・イバ」(~16080429没)
1600年2月24日-09:00|日本|高知県|慶長5年1月10日|土佐で浦戸一揆が鎮圧
1600年2月28日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「マウントジョイ男爵チャールズ・ブランド」(~16030601)
1600年3月7日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李山海」(~6.9)
1600年3月8日-09:00|日本|群馬県藤岡市|慶長5年1月23日|<改易>上野藤岡3万石「松平(依田)康真」(同僚殺害により)
1600年3月15日-09:00|日本|愛知県豊田市|慶長5年2月|今枝竹方、三河国八名郡山王社を建立
1600年3月15日-09:00|日本|岐阜県恵那市|慶長5年2月1日|<移封>信濃川中島「田丸直昌」→美濃岩村4万石(⇒同年改易)
1600年3月15日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長5年2月1日|<移封>信濃飯山「関一政」→美濃多良3万石(~慶長5(1600)年10月伊勢亀山へ)
1600年3月15日-09:00|日本|岐阜県可児市|慶長5年2月1日|<移封>武蔵松山「松平(桜井)忠頼」→美濃金山2万5千石(~慶長6(1601)年2月遠江浜松へ)
1600年3月15日-09:00|日本|岐阜県中津川市|慶長5年2月1日|<拝領>美濃・摂津両国内1万石(苗木城主)「河尻直次」(~9月15日討死)
1600年3月15日-09:00|日本|岐阜県不破郡垂井町|慶長5年2月1日以降|<拝領>美濃垂井1万2000石「平塚為広」(~慶長5年9月15日(16001021)死去改易)

1600迄(1719件)

1600年3月15日-09:00|日本|長野県長野市|慶長5年2月1日|<加増移封>美濃金山7万石「森忠政」→信濃松代(海津城)13万7500石(〜慶長8年美作津山へ)

1600年3月20日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年2月6日|<庄内の乱(日向国)>志和地城が降伏/その後、他の外城も順次降伏

1600年3月21日-09:00|日本|大分県杵築市|慶長5年2月7日|<加増>丹後国宮津12万石「細川忠興」+豊後杵築6万石(飛び領、城代:松井康之、有吉立行)(⇒同年豊前一国加増、本拠を中津城とする)

1600年3月22日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|慶長5年2月8日|<死去>狭山城主「北条氏規」病死(生年1545年)

1600年4月1日-01:00|サンマリノ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・フランチェスコ・ボネッティ」「ベルツォ・ベルツィ」

1600年4月8日-09:00|日本||<慶長5年2月25日|徳川家康の命により校訂作業が進められていた唐書『貞観政要』が版行

1600年4月12日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年2月29日|<庄内の乱(日向国)>梶山、勝岡、山之口の三城が降伏

1600年4月14日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年3月1日|<庄内の乱>高城が降伏

1600年4月15日 04:30|ペネロペ/スペイン||<死去>スペイン領ペネロペ総督「Gonzalo de Pina y Luduena」

1600年4月15日 04:30|ペネロペ/スペイン||<就任>スペイン領ペネロペ総督「Diego Vazquez de Escobedo + Juan Martinez de Villela」(〜9.18)

1600年4月15日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年3月2日|<庄内の乱(日向国)>安永ついで野々三谷が降伏

1600年4月22日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年3月9日|<庄内の乱(日向国)>末吉兵が城を退去

1600年4月23日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年3月10日|<庄内の乱(日向国)>先に島津本家に叛いた伊集院忠真が、家康の使者山口直文の勧降を受け義久の富隈城に赴き降伏

1600年4月23日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年3月10日|<庄内の乱(日向国)>梅北城陥落

1600年4月28日-09:00|日本|群馬県高崎市|慶長5年3月15日|上野高崎烏川で馬庭念流・樋口定次と村上天流・村上権左衛門が決闘、定次が勝つ

1600年4月28日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年3月15日|<庄内の乱(日向国)>伊集院忠真はは、家康の調停を受け入れ、降伏。都城を明け渡す

1600年4月28日-09:00|日本|宮崎県都城市|慶長5年3月15日|<庄内の乱(日向国)>忠真は頼娃1万石へ移され、後に帖佐2万石へ移された/都城には旧領主であった北郷氏が復帰し乱は終結

1600年4月29日-09:00|日本|オランダ|大分県臼杵市|慶長5年3月16日|オランダ商船「デ・リフデ」号が豊後、臼杵の佐志生に漂着/110人の乗組員のうち生存船員はわずか24人/歩けるのはウィリアム・アダムス他6人だけでうち3人は上陸の翌日死亡

1600年5月1日-09:00|日本|京都府京都市東山区|慶長5年3月18日|豊臣秀頼、方広寺大仏殿に七層の大仏殿・講堂・廻廊を建てる

1600年5月6日-09:00|日本|京都府京都市|慶長5年3月23日|藤田信吉が上杉家を離反、江戸を經由して上洛、家康に上杉景勝の謀反を申告

1600年5月10日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|慶長5年3月27日|<再興>摂津国四天王寺

1600年5月13日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長5年4月|狩野光信の花鳥襖絵(三井寺勸学院)できる

1600年5月13日-09:00|日本|千葉県旭市|慶長5年4月|<改易>下総阿知戸1万石「木曾義利(信濃木曾氏)」(叔父殺害)

1600年5月16日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長5年4月4日|醍醐寺三寶院金堂できる

1600年5月22日-02:00|ルーマニア||<就任>モルダヴィア総督「ミハイル1世」ワキアが統治(〜9月)

1600年6月-02:00|エストニア/スウェーデン||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「カール・ヘンリクソン・ホルン」(2回目〜16010130)

1600年6月8日-01:00|ドイツ||<死去>ハーデン=ハーデン辺境伯「エドゥアルト・フォルトゥアト」

1600年6月14日-02:00|ルーマニア||<就任>モルダヴィア大公副官「ウトレア・パレス/アントロニク・カンタジネーノ/サヴァネレ」(〜7月)

1600年7月-02:00|ルーマニア||<就任>モルダヴィア大公副官「マルク・セルル/フレダ・ブゼスク」(〜9月)

1600年7月 04:00|チリ/スペイン||<就任>チリ総督「アロンソ・ガルシア・デ・ラモン」(1回目〜1601年2月)

1600年7月6日-02:00|ルーマニア||ワキア公ミハイが、ワキア、モルダヴィア、トランシルバニアを統一して全ルーマニアを支配

1600年7月9日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長5年5月29日|豊臣秀頼の寄進により、毛利輝元を奉行に近江園城寺勸学院客殿が再建される

1600年7月10日-08:00|中国||明・万暦28年6月|明で楊応竜の乱が平定される

1600年7月11日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|慶長5年6月|徳川家康、松平康直の娘を養女とし、遠江国横須賀3万石「有馬豊氏」に嫁がせる

1600年7月16日-09:00|日本|福岡県|慶長5年6月6日|徳川家康、保科正直の娘を養女とし、豊前国6郡12万石「黒田長政」に嫁がせる

1600年7月22日 00:00|チャンネル諸島/イギリス||<死去>イギリス王領ジャージー知事「Anthony Paulet」

1600年7月26日-09:00|韓国/朝鮮||<就任>朝鮮国領議政「李恒福」(〜16020324)

1600年7月26日-09:00|日本|福島県会津若松市|慶長5年6月16日|<上杉征伐>会津の上杉景勝が謀反を企てたとして徳川家康が討伐の兵を挙げる

1600年7月29日-09:00|韓国/中国||釜山に停泊中の明・朝鮮水軍が台風に遭って陥没

1600年8月-05:30|インド||ムガル軍、アフマドガールを攻略

1600年8月5日-09:00|日本|長野県諏訪市|慶長5年6月26日|<死去>信濃高島2万7千石「日根野高吉」⇒「日根野吉明」が嗣ぐ(〜慶長6(1601)年下野壬生12000石へ)

1600年8月8日-09:00|日本|愛知県豊田市|慶長5年6月29日|徳川家康の臣内藤家長、三河国遍照寺の大日如来像を

1600迄 (1719件)

再興

- 1600年8月9日-09:00|日本|京都府京都市|慶長5年7月1日|京都近衛殿において「ややこ踊り」阿国、菊
- 1600年8月11日-01:00|フランス| ||フランス軍、現在のフランス南東部のサヴォワ(一部、イタリア・スイス)に侵攻
- 1600年8月19日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長5年7月11日|石田三成、家康討伐のため挙兵
- 1600年8月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長5年7月17日|細川忠興の妻で明智光秀の娘たま通称がうしあが、人質として大坂入城を強要されて死を選ぶ/38歳
- 1600年8月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長5年7月17日|豊臣奉行(石田三成、長束正家、増田長盛、前田玄以)が家康罪状13ヶ条を挙げ宣戦布告
- 1600年8月25日-09:00|日本|静岡県静岡市|慶長5年7月17日|<死去>駿河府中15万石「中村一氏」病死⇒長男の「中村一忠」が継ぐ(⇒11月伯耆一国(米子城)17万5000石)
- 1600年8月26日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長5年7月18日|<伏見城の戦い>西軍総大将である毛利輝元の名で、伏見城の守将・鳥居元忠に対して伏見城を明け渡すように命令が出された/同じく伏見城を任されていた木下勝俊は早々に退去したが、家康に同城の死守を命じられていた元忠はこれを拒絶し、西軍は大挙して伏見城を包囲、攻撃を開始/伏見城攻めの総大将は宇喜多秀家、副将は小早川秀秋で、その他に毛利秀元、吉川広家、小西行長、長宗我部盛親、長束正家、鍋島勝茂、大谷吉継などが攻城側に参加し、総勢4万人の大軍/守備軍は鳥居元忠を総大将とした1,800人
- 1600年8月27日-09:00|日本|愛知県刈谷市|慶長5年7月19日|<死去>三河刈谷城2万石「水野忠重」(徳川家臣)60歳、美濃加賀井城主「加賀井重望」に殺害される⇒子の「水野勝成」が継ぐ(3万石⇒元和元(1615)年7月21日大和郡山6万石)
- 1600年8月27日-09:00|日本|岐阜県羽島市|慶長5年7月19日|<改易>美濃加賀野井1万石「加賀井重望」/刈屋城主水野忠重・遠江浜松城主堀尾吉晴らと酒宴を行った際、酔った口論の末忠重を斬殺し、自身もその場にいた兵士達によって殺害され廃絶
- 1600年8月27日-09:00|日本|京都府舞鶴市|慶長5年7月19日|<田辺城の戦い>丹波福知山城主小野木重次、同亀岡城主前田茂勝らの西軍が、丹後田辺城に籠城する細川幽斎・細川幸隆(東軍)を攻めた
- 1600年8月30日-09:00|日本|新潟県|慶長5年7月22日|上杉景勝の軍勢、六十里越から越後に侵攻、越後一揆起こる
- 1600年9月-02:00|ルーマニア| ||<再任>モルダヴィア総督「エリヤ・モラウ」(2回目~16060630)
- 1600年9月-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのベイルベ「ティッカー・ハサン・パシャ」(2回目~1601年4月)
- 1600年9月1日-09:00|日本|福島県伊達郡川俣町|慶長5年7月24日|<河股城の戦い>伊達政宗の麾下の陸奥の駒ヶ嶺城主の桜田元親が現在の福島県伊達郡川俣町東福沢字館ノ山にあった上杉景勝の属城・河俣城を攻撃し一時河股城を占拠/上杉軍が援軍を派遣して城の奪還を図るべく戦いを仕掛けてきたので桜田は一旦は城を捨てて居城の駒ヶ嶺城に帰陣
- 1600年9月1日-09:00|日本|宮城県白石市|慶長5年7月24日|<白石城の戦い>伊達政宗が、白石城への攻撃を開始し城下町や外曲輪、3の丸に火をかけて炎上させた
- 1600年9月3日-09:00|日本|石川県小松市|慶長5年7月26日|前田利長は加賀南部や越前を制圧すべく、2万5000人の大軍を率いて西軍に与した丹羽長重が守る小松城を包囲攻撃/小松城の守備兵は長重以下、およそ3000名ほどに過ぎなかったが、兵力で圧倒的優位にありながら、前田軍は城を落とすことができなかった/利長は小松城にわずかな押さえの兵を残して、西軍の山口宗永が守る大聖寺城に向かった
- 1600年9月3日-09:00|日本|宮城県白石市|慶長5年7月26日|<白石城の戦い>東軍の伊達政宗は上杉景勝領の最前線であった白石城を攻め、本丸を除く城域を制圧した
- 1600年9月6日-09:00|日本|徳島県|慶長5年7月29日|蜂須賀家政(毛利輝元の動きに反対したことで謹慎を命じられていた)が返上した阿波国へ毛利軍(村上元吉・景親兄弟ら)を侵攻させ、徳島城を占領
- 1600年9月8日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|慶長5年8月|宇和郡松葉町の侍名主三瀬六兵衛らが、宇和郡の同志と一揆を計画、事前に発覚して、藤堂高虎の大洲留守部隊に討伐される
- 1600年9月8日-09:00|日本|大分県国東市|慶長5年8月|<再興>豊後安岐1万5千石「熊谷直盛」(⇒9月17日(16001023)、大垣城にて殺害される)
- 1600年9月8日-09:00|日本|群馬県前橋市|慶長5年8月|<蟄居>上野大胡2万石「牧野康成」(⇒慶長9(1604)年7月17日恩赦再興)
- 1600年9月8日-09:00|日本|広島県安芸高田市|慶長5年8月|毛利輝元・同秀就、大檀那として、高田郡宮崎八幡宮社殿を再興
- 1600年9月8日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|慶長5年8月1日|<伏見城の戦い>西軍が伏見城を攻め落とす
- 1600年9月8日-09:00|日本|千葉県香取市|慶長5年8月1日|<死去>下総小見川1万石「松平家忠」46歳、伏見城の戦いで戦死⇒子の「松平忠利」が嗣ぐ(⇒翌年三河深溝へ)
- 1600年9月8日-09:00|日本|千葉県香取市|慶長5年8月1日|<死去>下総矢作4万石「鳥居元忠」62歳、伏見の戦いで戦死⇒子の「鳥居忠政」が嗣ぐ(⇒10月、陸奥磐城平10万石に加増移封)
- 1600年9月8日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長5年8月1日|<死去>上総佐貫2万石「内藤家長」伏見の戦いで戦死⇒「内藤政長」が嗣ぐ(⇒10月1万石加増)
- 1600年9月8日-09:00|日本|新潟県魚沼市|慶長5年8月1日|<上杉遺民一揆(越後国/新潟県)>上杉氏は諸勢力・諸人や寺社に対し、上野家成、竹俣朝綱や加地景綱などを中心に、一向宗などにも声をかけ、地侍らを糾合させ、さらに国境を越え、上杉氏の軍勢も送り込まれ、槍を携える者700人、銃を携える者2000人、雑兵6000人が集まった/また直江兼続は、身分の低い兵のうち、智謀に富み忠義のある者を選んで、越後に浪人を装わせて潜入させ、寺社などにも声をかけて一揆を起こさせた/一揆は小倉政熙の守る下倉城を囲み、小倉政熙は討死し下倉城は一揆勢により陥落

1600迄 (1719件)

- 1600年9月9日-09:00|日本|新潟県魚沼市|慶長5年8月2日|<上杉遺民一揆(越後国/新潟県)>坂戸城の堀直寄により下倉城奪還
- 1600年9月10日-09:00|日本|石川県加賀市|慶長5年8月3日|<死去>加賀江沼郡1万3千石「山口修弘(正弘長男)」西軍参加, 落城時自刃改易
- 1600年9月10日-09:00|日本|石川県加賀市|慶長5年8月3日|<死去>加賀大聖寺5万石「山口正弘」西軍参加, 落城時自害改易
- 1600年9月10日-09:00|日本|石川県加賀市|慶長5年8月3日|<大聖寺城の戦い(加賀国/石川県加賀市)>大聖寺城宗永は西軍についたため、東軍の前田利長に攻められて落城
- 1600年9月11日-09:00|日本|新潟県三条市|慶長5年8月4日|<上杉遺民一揆(越後国/新潟県)>三条城を攻撃した越後一揆勢が、堀直次に撃退される
- 1600年9月16日-09:00|日本|石川県小松市|慶長5年8月9日|<浅井礫の戦い>前田利長軍が浅井礫を通ったとき、待ち伏せしていた江口正吉ら丹羽軍が攻撃/礫のために道幅が狭く、大軍としての威力を発揮することができないため、前田軍は被害を受けたが、前田軍の武将・長連龍や山崎長徳らの活躍もあって丹羽軍を撃退し、何とか金沢に撤退することができた
- 1600年9月17日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長5年8月10日|西軍の石田三成が大垣城主伊藤盛正を説得し開城させ入城、東軍の出方をうかがう
- 1600年9月17日-09:00|日本|福島県白河市|慶長5年8月10日|上杉景勝が、白河から会津に引き上げる
- 1600年9月18日 04:30|ペネロペ/スペイン| |||<就任>スペイン領ペネロペ暫定総督「Alonso Arias Vaca」(~1602. 7)
- 1600年9月18日-09:00|日本|三重県伊賀市|慶長5年8月11日|<上野城の戦い(伊賀国/三重県伊賀市)>(西軍)西軍の高槻城主 新庄直頼が伊賀へ入り、上杉討伐として出陣した筒井定次の本拠上野城を占拠/上野城の留守居である筒井定次の兄 筒井玄蕃允は城を捨て高野山へ逃亡
- 1600年9月20日-02:00|ルーマニア| |||<就任>オーストリア軍トランシルヴァニア最高司令官「ジョージョ・バスタ・グラフ・ス・フスト」(~16010403)
- 1600年9月20日-02:00|ルーマニア| |||オーストリアがキエフヘルツェーグアル/アルバニアを占領
- 1600年9月20日 00:00|チャンル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー知事「Walter Raleigh卿」(~16030910)
- 1600年9月21日-09:00|日本|宮城県仙台市|慶長5年8月14日|伊達政宗が、北目城に撤退
- 1600年9月23日-09:00|日本|岐阜県安八郡輪之内町|慶長5年8月16日|<福束城の戦い>東軍の徳永寿昌らが丸毛兼利の拠る美濃福束城を攻め落とす/兼利は大垣城へ逃れる
- 1600年9月26日-09:00|日本|岐阜県海津市|慶長5年8月19日|<高須城の戦い>東軍の徳永寿昌らが高木一族の拠る美濃高須・駒野・津屋城を攻め落とす/駒野城の高木帯刀は降伏、高須城の高木盛兼と津屋城の高木正家は、大垣城へ逃れる
- 1600年9月28日-09:00|日本|岐阜県羽島市|慶長5年8月21日|<木曾川・合渡川の戦い>福島正則・池田輝政らを中心とする東軍と織田秀信を中心とする西軍の戦い/東軍は福島正則を大将にした一軍が木曾川の下流にある尾越から、池田輝政を大将にした一軍が上流の河田からそれぞれ渡河を開始/木曾川を越えたら美濃国であり、当時は西軍に与している美濃岐阜城主・織田秀信の領地で秀信は抵抗したが、福島軍は竹ヶ鼻城を落とし、池田軍も織田軍の迎撃を打ち破って岐阜城に進軍
- 1600年9月29日-09:00|日本|岐阜県美濃市|慶長5年8月22日|<改易>美濃上有地2万石「佐藤方政」西軍美濃岐阜城守備(後、大坂の陣で豊臣方に与し戦死)
- 1600年9月29日 03:00|日本|岐阜県羽島郡岐南町|慶長5年8月22日|<米野の戦い(美濃国/岐阜県岐阜市) 昼、両軍は米野村で激突/西軍は9千人を擁していたとはいえ、米野村には3千人程しか布陣していなかった/東軍は1万8千人と、戦力差は歴然としていた/夕方には戦いは終わり、飯沼長資は戦死、百々綱家ら残存兵は岐阜城へ後退⇒<乱闘橋の戦い>織田秀信は境川で再度布陣して東軍を待ち受け交戦するが、再び撤退、岐阜城へ帰城
- 1600年9月29日 07:00|日本|岐阜県羽島市|慶長5年8月22日|<竹ヶ鼻城の戦い>午前8時、重勝らは竹ヶ鼻城に退却し、本丸を重勝、二の丸を梶川・花村・毛利らが守備/渡河した東軍はそのまま9時に竹ヶ鼻城を正面攻撃/正則の家臣らに負傷者が出たが、間もなく正則と旧知の間柄だった二の丸の梶川・花村・毛利らが勧告を受けて降伏し、二の丸に福島軍を呼び込んだ/本丸に孤立した重勝は降伏勧告を拒絶抵抗を続けた、正則養子の福島正之の奮戦により本丸門が破られるに及び、午後4時、重勝は自ら本丸を打って出て大槍を駆使して奮戦したのち、槍を門に立てかけ、城に火を掛け自刃
- 1600年9月30日-09:00|日本|岐阜県|慶長5年8月23日|<木曾川・合渡川の戦い(美濃国/岐阜県岐阜市・瑞穂市) 黒田長政や藤堂高虎、田中吉政らを中心とした一軍を大垣城の東に位置する合渡川に進出、合渡川には舞兵庫率いる西軍の部隊がいたが、黒田軍の襲来ですぐに破られ、黒田軍らはそのまま合渡川を渡河して大垣城から西北に約4kmのあたりに位置する赤坂を占領
- 1600年9月30日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長5年8月23日|<改易>美濃岐阜13万3千石「織田秀信」/西軍に属し岐阜城が福島正則・池田輝政らの猛攻により陥落/高野山に追放
- 1600年9月30日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長5年8月23日|<岐阜城の戦い>福島正則・池田輝政・細川忠興・加藤嘉明・浅野幸長・一柳直盛・井伊直政・本多忠勝ら東軍先鋒隊、織田秀信の岐阜城を攻落
- 1600年10月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「シモン・キエウ」(1回目~16010624)
- 1600年10月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ソフィ・シナン・パシャ」(1回目~1601年4月)
- 1600年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ベルツィ」「ファブ・リツィオ・ベルツィ」
- 1600年10月1日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長5年8月24日|黒田軍らは合渡川を渡河して大垣城から西北に約4kmのあたりに位置する赤坂を占領
- 1600年10月1日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年8月24日|<安濃津城の戦い(伊勢国/三重県津市)>朝より、毛利秀

1600迄 (1719件)

元、長束正家、安国寺恵瓊ら1万余騎が北の愛宕山から、西・南方からの包囲も狭めて本格的な合戦に突入/分部光嘉は手勢を率いて敵を迎え撃ち、毛利家臣の穴戸元次と一騎打ちを行い、双方重傷を負った。富田信高も自ら槍を振るって西軍にあたった。信高が群がる敵兵に囲まれ危機一髪となったところへ、一人の若武者が救援に駆けつけ、信高はからくも城へ生還

1600年10月1日-09:00|日本|三重県松阪市|慶長5年8月24日|<松坂城の戦い>西軍の鍋島勝茂らが伊勢松坂城の古田重勝を攻め、降伏させる

1600年10月2日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年8月25日|<安濃津城の戦い>毛利秀元らの西軍が伊勢安濃津城を攻略、高野山木食上人の仲裁で城将富田信高は剃髪して開城

1600年10月5日-01:00|フランス| |||前妻マルグリット・ド・ヴァロワ(マルゴ王妃)と離婚したばかりのフランス王アンリ4世、イタリア・フィレンツェの名門メディチ家のマリー・ド・メディシスと再婚

1600年10月5日-09:00|日本|岐阜県郡上市|慶長5年8月28日|<八幡城の合戦(美濃国/岐阜県郡上市)>遠藤慶隆は兵400余人を率いて小原を出陣し、稲葉勢の防備を避けて飛騨川を渡河して前進を続け、麻ヶ滝(現下呂市金山町)で稲葉勢守備隊を撃破すると、二隊に分かれて法師丸と野尻(旧和良村)に着陣/慶隆の弟慶胤らは、400余の兵で沓部口から攻め入った

1600年10月6日-01:00|イタリア| |||現存する最古のオペラ「エリディチ」上演

1600年10月7日-09:00|日本|岐阜県郡上市|慶長5年9月1日|<八幡城の合戦>遠藤軍は吉田川を渡り、守備側の柵を突破して、一隊が城の裏木戸に、慶隆本隊は大手に向かった/可重軍は城北の堀め手に迫ったが、二重の濠に阻まれ、双方戦闘を繰り返すも決着しなかった/その間、慶隆隊は大手から一の門に接近し、城内からの射撃に応戦の末、門内に乱入/裏木戸の守備兵を撃破した別隊も、二/曲輪に突入/一方、可重の一隊は二の丸に進撃したが、城兵の防戦に阻まれ、東木戸を破って二/曲輪に進入、遠藤・金森両軍が誤ってしばらく同士討ちをしてしまうが、やがて連合して二/門から二/丸の攻撃を開始/堀め手でも金森軍と稲葉軍との攻防戦が続き、多数の死傷者を出した/日が暮れても両者の勝敗はつかず、寄せ手はそれぞれの陣営に退却

1600年10月9日-09:00|日本|愛知県犬山市|慶長5年9月3日|犬山城が東軍の降伏勧告を受け入れ、開城/犬山城の竹中重門、稲葉貞通・典通父子、関一政らが東軍につく。城主石川貞清は城を脱出、宇喜多隊に合流

1600年10月9日-09:00|日本|岐阜県郡上市|慶長5年9月3日|<八幡城の合戦>未明、八幡城の危急を聞いた稲葉貞通が犬山より取って返し、遠藤慶重(長助)・鷲見保義(忠左衛門)・粥川五郎左衛門・粥川小十郎・餌取作助の五人が奮戦の末犠牲となって、慶隆はやっとのことで小野山の可重の陣まで逃げ延びた/貞通は八幡城に入った

1600年10月9日-09:00|日本|京都府舞鶴市|慶長5年9月3日|細川幽斎が丹後田辺城開城、丹波亀山城に退く

1600年10月9日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長5年9月3日|<大津城の戦い>西軍の京極高次が北陸の前田利長を攻撃するため出陣するも、東軍に寝返り大津城に籠城/伊勢方面へ向かう毛利元康、小早川秀包、立花宗茂ら(15,000)が大津城を攻撃

1600年10月10日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年9月4日|<第二次上田合戦>昌幸は態度を変え秀忠に対して挑発的な態度をとったため戦闘状態に入った

1600年10月11日-09:00|日本|岐阜県郡上市|慶長5年9月5日|<八幡城の合戦(美濃国/岐阜県郡上市)>遠藤慶隆は上ヶ根の砦を攻撃し、胤直を降伏させ、自身は家康の下に向かった(14日に赤坂(現大垣市)の家康本陣に到着、東軍に合流)

1600年10月11日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年9月5日|<第二次上田合戦(信濃国/長野県上田市)>徳川秀忠軍は上田城に接近し、真田信繁の守る上田城の支城・戸石城に対し、信繁の兄である信之の軍勢を差し向けると、真田信繁軍は撤退/これにより信之軍は戦わずして戸石城を接收

1600年10月12日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年9月6日|<第二次上田合戦(信濃国/長野県上田市)>徳川秀忠軍は牧野康成率いる手勢が上田城下の稲の刈り取りを始め、苅田を阻止しようと真田方の軍勢数百人が城から出てきたが敗れ、上田城へと逃走/それを追撃し上田城の大手門前まで迫ったが、ここで秀忠より撤退命令が下る

1600年10月14日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年9月8日|<第二次上田合戦>徳川方牧野康成率いる手勢が上田城下の稲の刈り取りを始め、苅田を阻止しようと真田方の軍勢数百人が城から出てきた/後備えとして潜んでいた本多忠政隊が襲い掛かり、真田勢は敗れ、上田城へと逃走、酒井、牧野、本多の各隊が追撃し、上田城の大手門前まで迫ったとき、門が開き、門の向こう側で待ち構えていた真田の鉄砲隊が射撃を浴びせ、さらに城内からも銃矢が攻撃をし、徳川方の先鋒は混乱に陥った/徳川勢は反撃を浴びて崩された先鋒隊が撤退しようとするも、後続の軍勢と鉢合わせになり進退窮まったところへ、城内から真田勢が討て出て徳川軍を打ち破った/染谷台の北東に潜んでいた信繁隊200が秀忠本陣に奇襲をかけ秀忠自身は家臣に馬を与えられ、小諸へと逃れた/また昌幸は神川の上流に堤防を築き、神川を密かに塞ぎ止めており、信繁の合図で堤防が切られると、大量の水が濁流となって染谷台に押し寄せ、真田勢に追われていた神川付近の多くの徳川勢の人馬が飲み込まれる事となり、第二次上田合戦は真田方の勝利に終わった

1600年10月14日-09:00|日本|新潟県三条市|慶長5年9月8日|<上杉遺民一揆(越後国/新潟県)>堀親良は下田に向かい、首300余りを獲えた/同日、堀直寄は父の堀直政、兄の堀直清と共に三条城から津川に向けて兵を出し津川に向かう途中、会津の兵3000余人とともに一揆の兵が高所に登り、三段に構え、深田を前にして備えていた、これを見て直寄は家臣に「敵が深田を前にして、高さところに備えたれば、我れよりかかって勝負をいたせば敗北は必定なり、密かに脇道より敵の横合いに出でて仕掛けて切り崩さば、勝利は我にあらん」として、身近な兵10人ほどで崖陰に廻り敵の右の傍より迫り、鉄砲を撃ちかけ敵を切り崩し、これを平定

1600年10月14日-09:00|日本|山形県山形市|慶長5年9月8日|<慶長出羽合戦>上杉軍直江兼統は米沢と庄内から最上領を攻撃開始/畑谷城、谷地城など諸城を次々と落城させる

1600年10月15日-09:00|日本|大分県|慶長5年9月9日|西軍に加担した大友義統が長門から豊後に上陸、侵攻を開

1600迄 (1719件)

始

- 1600年10月15日-09:00|日本|大分県|慶長5年9月9日|東軍の黒田官兵衛(豊前中津城)は、支度金で集めた兵9,000で出陣、豊後へ侵攻
- 1600年10月15日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年9月9日|<第二次上田合戦>徳川秀忠は上田城が予想外に頑強であることに驚き、一旦全軍を小諸へと撤収し先を急ぐことにする
- 1600年10月16日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長5年9月10日|毛利勢は加藤家家臣石川隆次が守る来島城(或いは仏殿城)に攻め寄せたが堅固だったためこれを諦め、正木城(松前城)に矛先を向けた
- 1600年10月16日-09:00|日本|大分県杵築市|慶長5年9月10日|<木付城の戦い>大友義統が毛利の支援を得て西軍方につき、夜明けから杵築(木付)城(丹後細川忠興の飛び地)を攻撃/木付城側も康之が相原山に伏兵を置いて迎え撃ち、柴田統生を討ち死にさせるなど大友勢の敗北に終わった/この合戦で朱湯院長泉寺・円通山観音禅寺・太平山宝泉寺が焼失
- 1600年10月17日-09:00|日本|大分県杵築市|慶長5年9月11日|<木付城の戦い>杵築城を攻撃した大友勢が、城内から反撃を受け、立石まで軍を後退させる
- 1600年10月17日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長5年9月11日|<大津城の戦い(近江国)>夜(〜12日夜明け)京極方の赤尾伊豆守・山田大炊は兵500を率いて夜中に城外へ討って出て、毛利や筑紫の陣所に乗り込んで戦った/宗茂は城方の夜襲を予見し、更に家臣の十時連貞が敵将の丸毛萬五郎・箕浦備後・三田村安右衛門三人を捕縛
- 1600年10月18日-09:00|日本|山形県東村山郡山辺町|慶長5年9月12日|<慶長出羽合戦・畑谷城の戦い>上杉軍は畑谷城を包囲/この城は、最上軍の白鷹方面最前線基地であるが、城将は江口光清以下500人ほどに過ぎなかった。義光は江口に撤退を命令していたが、江口以下、城兵は命令を無視し玉砕を覚悟で必死に抵抗する/兵力の差はいかんともし難く、畑谷城はその日のうちに落城、江口は敵軍の中に斬り込んで一戦した後、自害して果てた/江口の激しい抵抗は、上杉軍にも1000人近い死傷者を出させた
- 1600年10月19日-09:00|日本|大分県別府市|慶長5年9月13日|<石垣原の戦い>黒田如水が大友義統と豊後石垣原で戦い、三日間の激闘の後これを破る
- 1600年10月19日-09:00|日本|京都府舞鶴市|慶長5年9月13日|<田辺城の戦い>天皇が、幽斎の歌道の弟子である大納言三条西実条と中納言中院通勝、中将烏丸光広を勅使として田辺城の東西両軍に派遣し、講和を命じる/幸隆と幽斎はこれに従い、田辺城を明け渡し、敵将前田茂勝の居城である丹波亀山城に身を移されることとなった。この戦いは西軍の勝利となったが、小野木ら丹波・但馬の西軍1万5000はこの間、田辺城に釘付けにされ、開城から2日後の関ヶ原の戦い本戦には間に合わなかった
- 1600年10月19日-09:00|日本|京都府宮津市|慶長5年9月13日|東軍の細川幽斎が勅命を受けて丹後宮津城を開城
- 1600年10月19日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長5年9月13日|<大津城の戦い(近江国)>大津城の二の丸までが西軍に攻略される
- 1600年10月19日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年9月13日|<死去改易>伊勢井生城主1万石「松浦久信」関ヶ原西軍参加、近江大津城攻撃中に戦死
- 1600年10月19日-09:00|日本|三重県鳥羽市|慶長5年9月13日|<鳥羽城の戦い>鳥羽城を占拠していた西軍・九鬼嘉隆軍が城を出て舟津で東軍の息子守隆と戦い、負けが濃くなった嘉隆は伊勢湾内に浮かぶ答志島へと逃れ身を潜めた
- 1600年10月19日-09:00|日本|山形県東村山郡山辺町|慶長5年9月13日|米沢の直江兼続の本隊が、最上領の畑谷城を攻撃し、翌日陥落させる
- 1600年10月20日-09:00|日本|大分県別府市|慶長5年9月14日|<石垣原の戦い>大友義統は敗戦を知って自刃しようとしたが田原親賢に諫められ、剃髪して法体となって田原親賢を黒田軍の陣の母里友信(妻は宗麟娘)に派遣して如水に降伏し、石垣原の戦いは終了
- 1600年10月20日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長5年9月14日|<杭瀬川の戦い>三成は家臣である島清興(左近)の進言により、赤坂付近を流れる杭瀬川に兵を繰り出して、東軍の中村一忠・有馬豊氏を誘い出し、宇喜多隊の明石全登と連携してこれを散々に打ち破った
- 1600年10月20日-09:00|日本|岐阜県不破郡関ヶ原町|慶長5年9月14日|西軍、三成隊が赤坂の陣を攻撃、30人程討ち取る/西軍、小早川秀秋(兵数8,000)が近江高宮から北上、松尾山城へ移動、松尾山城に入っていた伊藤盛正(大垣城主)を追い出し、布陣
- 1600年10月20日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶長5年9月14日|<大津城の戦い(近江国)>毛利元康は大坂城からの使者・高野山の木食応其上人と新庄直忠を遣わし、降伏を勧めたが、高次はそれに従わなく徹底抗戦の構えを見せたが遂に降参
- 1600年10月20日 10:00|日本|岐阜県大垣市|慶長5年9月14日|夜、東軍の水野勝成が大垣城(守備大将福原長堯)を攻撃/西軍敗北の報が城内に届くと相良頼房、秋月種長・高橋元種兄弟が降伏/福原長堯は本丸で抵抗
- 1600年10月21日-09:00|日本| |慶長5年9月15日|<改易>所領不明1万5000石「杉谷越中守」関ヶ原西軍参加
- 1600年10月21日-09:00|日本|愛知県犬山市|慶長5年9月15日|<改易>尾張犬山1万2千石「石川貞清」西軍参加、京都に隠棲
- 1600年10月21日-09:00|日本|石川県|慶長5年9月15日|<改易>加賀国内1万石「坂井直政」丹羽家家老として西軍参加
- 1600年10月21日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長5年9月15日|<改易>伊予今治7万石「小川祐忠」西軍参加、小早川秀秋らと共に寝返り、平塚為広の首級を上げるも許されず
- 1600年10月21日-09:00|日本|愛媛県大洲市|慶長5年9月15日|<改易>伊予大洲2万石「池田秀氏」西軍参加、美濃駒野城守備
- 1600年10月21日-09:00|日本|大分県大分市|慶長5年9月15日|<改易>豊後府内2万石「早川長政」西軍参加、丹後田

1600迄 (1719件)

辺城攻撃, 盛岡に幽閉

- 1600年10月21日-09:00| 日本| 大分県別府市| 慶長5年9月15日| <石垣原の合戦>大友義統が黒田如水に降伏, 捕らえられ, 黒田如水方の森太兵衛に警護されて中津に送られる
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 大阪府大阪市| 慶長5年9月15日| <改易>所領不明2万石「木下一元(利久)」関ヶ原西軍参加, 大坂城留守居
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岡山県岡山市| 慶長5年9月15日| <改易>備前岡山574,000石「宇喜多秀家」西軍副将(五大老)薩摩へ逃亡, 1606年八丈島に流刑, 子孫は八丈島に住し, 明治維新後東京へ戻る
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県安八郡輪之内町| 慶長5年9月15日| <改易>美濃福束2万石「丸毛兼利」西軍参加
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県恵那市| 慶長5年9月15日| <改易>美濃岩村4万石「田丸直昌」西軍参加, 越後に追放
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県大垣市| 慶長5年9月15日| <死去改易>美濃大垣3万4千石「伊藤盛正」西軍参加, 関ヶ原で戦死
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県大垣市| 慶長5年9月15日| <大垣城の戦い>弘暁に水野勝成、松平康長、西尾光教、津軽為信ら東軍が西軍が本拠地としていた大垣城三の丸に攻撃を開始/三の丸はその日のうちに陥落
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県海津市| 慶長5年9月15日| <改易>美濃高須1万石「高木盛兼(守之)」西軍参加, 美濃高須城守備
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県中津川市| 慶長5年9月15日| <死去改易>美濃・摂津両国内1万石(苗木城主)「河尻直次」討死
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県不破郡垂井町| 慶長5年9月15日| <死去改易>美濃垂井1万2千石「平塚為広」西軍参加, 関ヶ原で戦死
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 岐阜県美濃加茂市| 慶長5年9月15日| <死去改易>美濃太田山3万石「原勝胤」西軍参加, 関ヶ原で自刃
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 京都府| 慶長5年9月15日| <改易>山城・丹波国内1万2千石「石川貞通」西軍参加, 大坂天王寺守備
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 京都府| 慶長5年9月15日| <改易>大和国内1万5千石「寺田光吉」西軍参加, 山城伏見城攻撃
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 京都府福知山市| 慶長5年9月15日| <改易>丹波福知山3万1千石「小野木重次」西軍参加, 11月8日自刃
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 滋賀県大津市| 慶長5年9月15日| <大津城の戦い>(9月7日~)西軍側は毛利元康を大将とし立花宗茂・小早川秀包・筑紫広門ら九州方面の諸大名の軍勢を中心とした総勢1万5000人の軍勢をもって大津城を攻撃/寄せ手は大砲を城内に撃ち込み天守にも命中し城内は混乱/高次をはじめとする京極勢は木食応其の仲介により降伏して大津城を開城/高次は一命を助けられ高野山によって出家
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 鳥取県岩美郡岩美町| 慶長5年9月15日| <改易>因幡浦住1万石「垣屋恒総」西軍参加, 近江大津城攻撃, 10月高野山で自刃
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 鳥取県鳥取市| 慶長5年9月15日| <改易>因幡鳥取城主5万石「宮部継潤」関ヶ原西軍参加
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 兵庫県加古川市| 慶長5年9月15日| <改易>播磨加古川1万2千石「糟屋武則」西軍参加(慶長7年、500石で幕府に仕えのち再び廃絶)
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県| 慶長5年9月15日| <改易>越前国内1万1千石「奥山正之」西軍参加, 剃髪後宗巴と号し、公家・文人と交流/子に500石安堵
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県| 慶長5年9月15日| <改易>越前国内1万石「上田重安」西軍参加
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県| 慶長5年9月15日| <改易>越前国内2万5千石「木下頼継(大谷吉継の次男)」西軍参加
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県あわら市| 慶長5年9月15日| <改易>越前金津1万700石「溝江長晴」西軍参加
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県大野市| 慶長5年9月15日| <改易>越前大野5万石「織田秀雄(織田信雄嫡男)」西軍に城を明け渡したため
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県坂井市| 慶長5年9月15日| <改易>越前丸岡城主46000石「青山忠元」関ヶ原西軍参加(父は修理亮宗勝)
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県敦賀市| 慶長5年9月15日| <死去改易>越前敦賀5万石「大谷刑部(吉継)」42歳/西軍参加, 関ヶ原の戦いで小早川秀秋軍と戦い戦死
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県福井市| 慶長5年9月15日| <改易>越前東郷5万石「丹羽長正(丹羽長重弟)」西軍参加
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 福井県福井市| 慶長5年9月15日| <死去改易>越前安居1万石「戸田勝成」西軍参加, 関ヶ原で織田長孝軍と戦い、戦死
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 三重県伊勢市| 慶長5年9月15日| <改易>伊勢国内1万石「寺西直次」西軍参加, 伊勢桑名城守備
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 三重県桑名市| 慶長5年9月15日| <改易>伊勢桑名2万2千石「氏家行広(氏家ト全息)」西軍参加, 後に荻野道喜と称し大坂の陣で落城時に自刃
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 三重県桑名市| 慶長5年9月15日| <改易>伊勢国内1万5千石「氏家行継(氏家行広弟)」西軍参加, 伊勢桑名城守備
- 1600年10月21日-09:00| 日本| 三重県津市| 慶長5年9月15日| <改易>伊勢竹原1万石「山崎定勝」西軍参加, 伊勢安濃津城攻撃

1600迄 (1719件)

- 1600年10月21日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年9月15日|<改易>所領不明1万石「中江直澄」関ヶ原西軍参加, 伊勢安濃津城攻撃
- 1600年10月21日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長5年9月15日|<死去改易>日向佐土原2万8千石「島津豊久」(31家久の子)西軍参加, 関ヶ原の戦いで戦死→本家領に編入
- 1600年10月21日-09:00|日本|山形県東村山郡山辺町|慶長5年9月15日|<長谷堂城の戦い>上杉方の直江兼続、最上義光の支城出羽畑谷城を攻略、長谷堂城を包囲
- 1600年10月21日-09:00|日本|和歌山県新宮市|慶長5年9月15日|<改易>紀伊新宮2万7千石「堀内氏善」西軍参加
- 1600年10月21日-02:00|日本|岐阜県不破郡関ヶ原町|慶長5年9月15日|<関が原の合戦>午前、石田隊に黒田隊、細川隊が攻めかかり石田隊は大砲の発射で応戦/大谷隊には藤堂隊、京極隊が襲い掛かるが吉継は三倍近い藤堂隊、京極隊を何度も押し返した/小西隊には古田隊、織田隊がそれぞれ攻めかかった/最後まで南宮山の毛利軍ら3万3,000もの大軍は参戦せず、小早川秀秋の裏切りと並ぶ西軍の敗因となる
- 1600年10月21日 03:00|日本|岐阜県不破郡関ヶ原町|慶長5年9月15日|<関が原の合戦>正午頃、小早川隊は山を駆け降りると大谷隊の右翼を攻撃、大谷吉継は小早川隊を松尾山の麓まで押し返した/脇坂安治、小川祐忠、赤座直保、朽木元綱らの西軍諸隊も小早川隊に呼応して東軍に寝返り、大谷隊の側面を突く/戸田勝成・平塚為広は戦死し、吉継も自刃/宇喜多隊は東軍勢の前に壊滅/宇喜多秀家は敗走し、小西行長も敗走/石田隊も島・蒲生・舞などの重臣は討死し、壊滅、三成も伊吹山方面へ逃走/島津隊は島津豊久・阿多盛淳・肝付兼護ら多数の犠牲者を出し、兵も80前後に激減しながらも撤退に成功/毛利勢は戦わずして撤退/殿軍に当たった長宗我部・長束・安国寺らの軍勢は少なからざる損害を受けるが辛うじて退却に成功
- 1600年10月22日-09:00|日本|岐阜県海津市|慶長5年9月16日|美濃駒野城に籠城していた池田秀氏は、城を放棄して退却
- 1600年10月22日-09:00|日本|三重県|慶長5年9月16日|鍋島勝茂は父・鍋島直茂の命で伊勢・美濃国境付近で傍観していたが、西軍敗走の報に接するや直ちに大坂へ退却
- 1600年10月22日-09:00|日本|三重県伊賀市|慶長5年9月16日|伊賀上野城を占拠していた新庄直頼・新庄直定は、城を放棄して退却
- 1600年10月22日-09:00|日本|三重県亀山市|慶長5年9月16日|<死去改易>伊勢亀山2万2千石「岡本良勝(宗憲)」関ヶ原西軍参加, 城を明け渡して自害, 嫡男・重義も近江水口で自刃
- 1600年10月22日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長5年9月16日|氏家行広・行継兄弟は、山岡道阿弥に桑名城を明け渡した
- 1600年10月22日-09:00|日本|三重県桑名市|慶長5年9月16日|長島城を包囲していた原長頼は逃走したが捕縛
- 1600年10月22日-09:00|日本|三重県鳥羽市|慶長5年9月16日|志摩鳥羽城を巡り嫡男・九鬼守隆と合戦した九鬼嘉隆は伊勢答志島へ逃走
- 1600年10月22日-09:00|日本|山形県山形市|慶長5年9月16日|<長谷堂城の戦い>200名の決死隊を率い上杉側の春日元忠軍に夜襲を仕掛け上杉勢は同士討ちを起こすほどの大混乱に陥り、志村は兼続のいる本陣近くまで攻め寄って、250人ほどの首を討ち取る戦果を挙げた
- 1600年10月22日-09:00|日本|和歌山県新宮市|慶長5年9月16日|九鬼嘉隆と共に行動した堀内氏善は、紀伊新宮城に籠城したが、城を捨てて逃走
- 1600年10月22日 10:00|日本|岐阜県大垣市|慶長5年9月16日|<大垣城の戦い>夜に相良頼房、秋月種長、高橋元種が水野勝成との交渉によって東軍に寝返り
- 1600年10月23日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶長5年9月17日|石田三成に応じた毛利氏の兵が伊予三津浜に陣し加藤嘉明を攻めるが、嘉明の将加藤忠明・佃十成ら三津で芸州勢を撃退、離反した荏原城の平岡善兵衛を討つ
- 1600年10月23日-09:00|日本|大分県国東市|慶長5年9月17日|<死去改易>豊後安岐1万5千石「熊谷直盛」西軍に属し、東軍に寝返った相良頼房らに謀殺される
- 1600年10月23日-09:00|日本|大分県国東市|慶長5年9月17日|<死去改易>豊後富来2万石「垣見一直」美濃大垣城を守衛、東軍に寝返った相良頼房らに謀殺される
- 1600年10月23日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長5年9月17日|<佐和山城の戦い>長谷川守知が寝返り東軍の兵を引き入れ佐和山城三の丸が陥落
- 1600年10月23日-09:00|日本|奈良県|慶長5年9月17日|<死去改易>大和・河内国内1万3千石「宇多頼忠」西軍参加, 近江佐和山城守備, 落城時自刃
- 1600年10月23日-09:00|日本|山形県上山市|慶長5年9月17日|<慶長出羽合戦・上山の戦い>直江軍とは別に掛入石仲中山口を進軍してきた篠井康信、横田旨俊ら4000人が羽州街道最前線上山城攻め、守将最上氏家臣・里見民部は善戦し城門を開けて打って出、城門付近で激戦が繰り広げられたが、上杉軍の背後から、最上軍が襲いかかった/上杉軍はたちまち大混乱に陥り、木村親盛が坂弥兵衛なる者に討ち取られた他、椎名弥七郎をはじめとする将兵の多くが討たれた
- 1600年10月23日-09:00|日本|山形県山形市|慶長5年9月17日|<長谷堂城の戦い>直江兼続は春日元忠に命じ攻め立てたが、長谷堂城の周りは深田になっており、人も馬も足をとられ迅速に行動ができないところへ最上軍が一斉射撃を浴びせて上杉軍を散々に撃ち付けた/兼続は、長谷堂城付近で刈田狼藉を行い城兵を挑発するが、志村は挑発には乗らず
- 1600年10月24日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶長5年9月18日|<三津浜夜襲>夜半から朝にかけて佃十成率いる少数の加藤嘉明勢は、数に勝る毛利勢に対し周辺に火を放ちながら夜襲をかけ、三津の刈屋畑や古三津一円で激戦の末にこれを敗走させた/毛利勢は佃十成によって村上元吉が討ち取られ、その他曾根景房らも討ち死、穴戸景世も手傷を負うなどし、多数の将兵を失うなど大きな損害を受けた
- 1600年10月24日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長5年9月18日|<加増>筑前名島357,000石「小早川秀秋(木下家定五

1600迄 (1719件)

- 男)」⇒備前・美作・備中東半(旧宇喜多秀家領岡山)55万石(本戦で寝返り東軍勝利を決定づける)(慶長7年10月18日(16021201)死去断絶)
- 1600年10月24日-09:00|日本|岐阜県|慶長5年9月18日|<死去改易>美濃国北方・越前国内1万石「木村由信」西軍参加,美濃大垣城守備,秋月種長らの裏切りで嫡男・豊統と同時に殺害される
- 1600年10月24日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長5年9月18日|<大垣城の戦い>相良頼房、秋月種長、高橋元種が守將の垣見一直、木村由信、木村豊統、熊谷直盛らを軍議を名目に呼び出し謀殺し、大垣城の主だった武將は福原長堯のみとなった
- 1600年10月24日-09:00|日本|京都府舞鶴市|慶長5年9月18日|石田方の小野木重勝に包囲されていた丹後田辺城の細川幽斎が停戦を受諾
- 1600年10月24日-09:00|日本|滋賀県|慶長5年9月18日|<死去改易>近江国内3万石「石田正継(石田三成父)」佐和山城落城の際自害
- 1600年10月24日-09:00|日本|滋賀県|慶長5年9月18日|<死去改易>近江・河内国内25000石「石田正澄(石田三成の兄)」西軍参加,近江佐和山城落城時自刃
- 1600年10月24日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長5年9月18日|<佐和山城の戦い>早朝に田中吉政隊が天守に攻め入り佐和山城落城/正澄ら三成の一族は自刃/三成の三男佐吉をはじめとする生き残った者は助命/赤松則英は逃亡後福島正則を頼って投降/三成嫡男・石田重家は脱出して京都妙心寺に入る
- 1600年10月24日-09:00|日本|山形県|慶長5年9月18日|上杉軍下秀久は谷地城・長崎城・山野辺城などを攻略/直江兼続本隊の別動隊が白鷹方面から五百川溪谷沿いに進軍し、八沼城・鳥屋カ森城などを落として左沢まで進出した後山野辺で本隊と合流している
- 1600年10月25日-09:00|日本|岩手県北上市|慶長5年9月19日|<岩崎城の戦い>陸奥の前和賀領主・和賀忠親らが一揆を起こす
- 1600年10月25日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶長5年9月19日|都築谷孫右衛門が三津に到着して残兵を集めた上で、荏原城の城兵と連携し監禁行為を行ったが、押し寄せた加藤勢と畠寺原で遭遇し、平岡直房らと共に久米の如来寺に立て籠もり、河野通軌は荏原城に籠る/加藤勢が如来寺を攻め寄せると平岡直房率いる河野残兵は道後山に退いたが、佃十成に手傷を負わせ、また加藤家の指揮官黒田九兵衛は鉄砲で撃たれて討死
- 1600年10月25日-09:00|日本|岐阜県不破郡関ヶ原町|慶長5年9月19日|小西行長が粕川谷の山中で関ヶ原の住人林蔵主の手に捕らえられ、草津に滞在中であった家康本陣に護送された
- 1600年10月25日-09:00|日本|京都府京都市|慶長5年9月19日|<任命>京都所司代「奥平信昌」徳川家康により(翌年3月)
- 1600年10月26日 10:00|日本|岩手県花巻市|慶長5年9月20日|<花巻城の夜討ち>夜、和賀忠親が旧臣などを集めて立ち上がり陸奥国稗貫郡の花巻城を襲撃(岩崎一揆における最初の戦い)/花巻城は主力が田瀬方面に向かい手薄な状態で三の丸、二の丸は破られ、和賀勢は本丸に迫り、御台所前御門を挟んで攻防が続く
- 1600年10月27日-09:00|日本|岩手県花巻市|慶長5年9月21日|<花巻城の夜討ち>主力が戻ったうえに盛岡から援軍がやってきて北信愛は和賀勢を花巻城から撤退させた/北信景ら南部軍の追撃は凄まじく、一揆軍は諸館の戦いで敗北を重ねて拠点の二子城も奪還され、最終的には岩崎城に籠城して南部軍を迎え撃つ態勢となった
- 1600年10月27日-09:00|日本|熊本県宇土市|慶長5年9月21日|<宇土城の戦い>加藤清正、宇土城を攻め、城下を焼き払う
- 1600年10月27日-09:00|日本|滋賀県長浜市|慶長5年9月21日|関ヶ原に敗れた石田三成が北近江伊香郡高時村の古橋にある岩窟に身を潜めているところを田中吉政の兵に発見され逮捕される
- 1600年10月28日-09:00|日本|大分県国東市|慶長5年9月22日|黒田如水が豊後国東の熊谷直盛の安岐城を開城・接收
- 1600年10月28日-09:00|日本|京都府亀岡市|慶長5年9月22日|細川忠興が丹波に入り前田玄以の亀山城を収め、次いで小野木重勝の福知山城攻めに向け出陣
- 1600年10月29日-09:00|日本|大分県国東市|慶長5年9月23日|<富来城の戦い>黒田如水が垣見理右衛門・藤井九左衛門の守る富来城を攻める
- 1600年10月29日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶長5年9月23日|<大垣城の戦い>大垣城の武將福原長堯は徳川家康の使者の説得により松平康長に降伏を申し入れ、開城
- 1600年10月29日-09:00|日本|京都府京都市|慶長5年9月23日|安国寺恵瓊は京都に逃亡したが京都所司代の奥平信昌配下に発見され、捕らえられる
- 1600年10月29日-09:00|日本|熊本県宇土市|慶長5年9月23日|<宇土城の戦い>加藤清正が 小西行長の宇土城を開城させる
- 1600年10月29日-05:00|日本|愛媛県松山市|慶長5年9月23日|未明、加藤嘉明勢が兵を出して道後周辺あるいは伊予三津/木山で最後の一戦を戦い、毛利勢は北に逃れた
- 1600年10月30日-09:00|日本|愛媛県|慶長5年9月24日|伊予に在陣する毛利軍の元に関ヶ原合戦の報が伝わり、撤退
- 1600年10月30日-09:00|日本|大分県国東市|慶長5年9月24日|黒田如水が毛利高政領の本城日隈城及び支城の角牟礼城も開城接收
- 1600年10月30日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|慶長5年9月24日|毛利輝元が大坂城西/丸を退去、無血開城
- 1600年10月31日-09:00|日本|徳島県徳島市|慶長5年9月25日|徳島城にあった毛利軍が、蜂須賀家臣益田彦四郎に徳島城を返還して撤退
- 1600年10月31日-09:00|日本|宮城県刈田郡七ヶ宿町|慶長5年9月25日|伊達政宗配下の茂庭綱元が上杉領湯原城を攻略

1600迄(1719件)

1600年11月2日-09:00|日本|奈良県御所市|慶長5年9月27日|<加増移封>不明8千石「桑山元晴」→大和御所1万石/
相続拝領(⇒10月15日2000石加増)

1600年11月2日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|慶長5年9月27日|<改易>大和郡山城主20万石「増田長盛」関ヶ原西
軍参加. 高野山に追放

1600年11月2日-08:00|中国/朝鮮| |慶長5年9月27日|朝鮮駐留の明軍撤兵

1600年11月4日-09:00|日本|高知県南国市|慶長5年9月29日|長宗我部盛親が兄の津野親忠を岩村靈巖寺に攻めて
殺害

1600年11月4日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長5年9月29日|<宮崎城の戦い>日向飢肥の伊東祐兵が東軍方につく
. 伊東祐兵は病気のため、嫡男伊東祐慶が家臣の稲津重政に命じ、宮崎城(高橋元種領の飛び地)を攻撃、占領

1600年11月4日-09:00|日本|山形県山形市|慶長5年9月29日|<長谷堂城の戦い>上杉勢は総攻撃を敢行、長谷堂城
を守る志村光安はなおも善戦し、上杉軍の武将・上泉泰綱を討ち取るという戦果を挙げた

1600年11月5日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|慶長5年9月30日|<死去改易>近江水口城主5万石「長束正家」関ヶ原西
軍参加. 徳川方に城を明け渡し、桜井谷の民家へ移り自刃

1600年11月6日-09:00|日本|大分県|慶長5年10月|<改易>豊後・伊勢国内26300石「駒井重勝」西軍に属し山城伏見
城攻撃

1600年11月6日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|慶長5年10月|<交替>武蔵岩槻2万石「高力清長」隠居⇒「高
力忠房」が嗣ぐ(〜元和5(1619)年9月遠江浜松35000石)

1600年11月6日-09:00|日本|愛媛県|慶長5年10月1日|<死去改易>伊予国内6万石「安国寺恵瓊」西軍参加、京都六条
河原にて斬首. 安芸武田氏断絶

1600年11月6日-09:00|日本|岐阜県美濃加茂市|慶長5年10月1日|<死去改易>美濃太田30000石「原長頼」西軍に属
し美濃太田城守備. 京都六条河原にて斬首

1600年11月6日-09:00|日本|熊本県宇土市|慶長5年10月1日|<死去改易>肥後宇土20万石「小西行長」西軍参加、京
都六条河原にて斬首. 嫡男・兵庫頭は毛利輝元により斬首

1600年11月6日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長5年10月1日|<死去改易>近江佐和山19万4千石「石田三成(五奉行)
」41歳. 西軍主将、六条河原にて斬首

1600年11月6日-09:00|日本|徳島県板野郡藍住町|慶長5年10月1日|<死去改易>阿波住吉1万石「赤松則英」西軍参
加近江佐和山城守備. 京都戒光寺自刃. 赤松氏宗家は断絶

1600年11月6日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長5年10月1日|日向飢肥城主の伊東祐兵は嫡男祐慶を日向へ帰し、
西軍方の高橋元種の宮崎城を攻撃/宮崎城を開城させる

1600年11月6日-09:00|日本|山形県東村山郡山辺町|慶長5年10月1日|<長谷堂城の戦い>上杉景勝が関ヶ原の西軍
敗戦により長谷堂城から撤兵/最上伊達連合軍が追撃/富神山の付近で陣頭に立つ最上義光の兜に銃弾が当た
るなど大激戦となり両軍多くの死傷者を出した/追撃軍を迎え撃つため直江兼統は自ら畑谷城に手勢と共に立
てこもって殿をつとめ/最上勢は寒河江・白岩・左沢を回復

1600年11月7日-09:00|日本|大分県|慶長5年10月2日以降|<加増移封>美濃中山5千石「稲葉通孝」→豊後国内14156
石(〜慶長12年7月26日(16070917)無嗣改易)

1600年11月7日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長5年10月2日|<加増移封>郡上八幡城4万石「稲葉貞通」⇒豊後臼杵
藩5万石(〜慶長8年9月3日(16031017)死去)

1600年11月7日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長5年10月2日|<死去改易>豊後臼杵60000石「福原長堯」西軍に属し
美濃大垣城守備. 伊勢朝熊山で自刃

1600年11月7日-09:00|日本|大分県国東市|慶長5年10月2日|<富来城の戦い>黒田如水は垣見家家臣の笈利右衛門
が守る富来城を開城させ、ここでも城兵に自由を与えて自軍に加えた

1600年11月7日-09:00|日本|岐阜県郡上市|慶長5年10月2日|<加増移封>美濃小原7500石「遠藤慶隆」→美濃郡上八
幡2万7千石/旧領復帰(〜寛永9年3月21日(16320510)死去)

1600年11月7日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|慶長5年10月2日|<改易>大和郡山20万3千「増田長盛(五奉行)」息
子増田盛次の西軍参加. 高野山に追放

1600年11月8日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長5年10月3日|<佐賀関の戦い>臼杵城城主・太田一吉は城を出て中
川秀成を迎え撃ち佐賀関で激突/田原親賢が鉄砲で撃たれて戦死するなど多くの被害を出し中川秀成は太田一
吉を攻め落とせなかった

1600年11月8日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|慶長5年10月3日|<死去改易>近江水口5万石「長束正家」西軍参加. 近江
桜井谷の中西孫左衛門宅で自刃

1600年11月9日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長5年10月4日|<改易>豊後国臼杵6万5千石「太田一吉(宗隆)」関ヶ原
の役では西軍に属し降伏開城し所領を没収

1600年11月9日-09:00|日本|大分県臼杵市|慶長5年10月4日|豊後岡城の中川秀成が西軍の臼杵城(太田一吉)を攻
略. 官兵衛が引き取る

1600年11月9日-09:00|日本|山形県西村山郡河北町|慶長5年10月4日|谷地城に籠る上杉勢下秀久も11日間の籠城
のすえ降伏

1600年11月10日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|慶長5年10月5日|家康の命により亀井茲矩が西軍方の鳥取城を攻撃
開始/総攻撃に宮部家の伊吹長兵衛らは太刀打ちできず降伏. この時攻撃軍に鳥取城下は焼き払われた

1600年11月10日-09:00|日本|福岡県八女市|慶長5年10月5日|<改易>筑後山下1万8000石「筑紫広門」関ヶ原西軍参
加(後に3000石安堵)

1600年11月11日-09:00|日本|福島県福島市|慶長5年10月6日|伊達政宗は片倉景綱・茂庭綱元・屋代景頼を出陣さ
せ、上杉領信夫郡の福島城(城主本庄繁長)を攻撃. 上杉軍は援軍として直江兼統が加勢し、戦いは膠着状態とな

1600迄 (1719件)

る

1600年11月12日-09:00|日本|兵庫県|慶長5年10月7日|<死去改易>播磨・丹波国内12000石「石川頼明」西軍参加, 切腹

1600年11月15日-09:00|日本|大分県|慶長5年10月10日|<改易>豊後国内1万4千石「木村清久」西軍に所属し, 近江瀬田橋守備

1600年11月15日-09:00|日本|岐阜県恵那市|慶長5年10月10日|<降伏>美濃岩村4万石「田丸直昌」改易

1600年11月15日-09:00|日本|福井県越前市|慶長5年10月10日|<改易>越前金剛院20,000石「青木俊矩(青木一矩の嫡男)」西軍北国口守備, 前田利長預かり

1600年11月15日-09:00|日本|福井県越前市|慶長5年10月10日|<死去改易>越前北庄8万石「青木一矩」関ヶ原西軍参加, 病死

1600年11月15日-09:00|日本|福井県小浜市|慶長5年10月10日|<改易>若狭小浜6万2千石「木下勝俊(木下家定長男)」東軍だが山城伏見城守備放棄

1600年11月15日-09:00|日本|福岡県|慶長5年10月10日|<改易>豊前1万石「毛利勝永」西軍参加

1600年11月15日-09:00|日本|福岡県北九州市|慶長5年10月10日|<改易>豊前小倉6万石「毛利勝信」西軍参加, 土佐に追放

1600年11月15日-09:00|日本|福岡県久留米市|慶長5年10月10日|<改易>筑後久留米13万石「小早川秀包」西軍参加, 近江大津城攻撃

1600年11月15日-09:00|日本|山口県岩国市|慶長5年10月10日|<減移封>出雲富田14万2千石「吉川広家」本戦で東軍に内応⇒周防岩国3万石(後に高直しして6万石~慶長19(1614)年12月22日隠居)/岩国は幕末まで毛利本家より支藩扱いを許されず/吉川広家の功績を知る幕府は、吉川氏を諸侯並みの待遇とし、当主は代替わりに將軍への拝謁が許されるという特権を与えて、吉川広家の功に報いた

1600年11月15日-09:00|日本|山口県下関市|慶長5年10月10日|<減封>周防山口20万石「毛利秀元」西軍参加→長門府中5万石(石高は毛利本家より分知~慶安3年閏10月3日(1650)死去)

1600年11月15日-09:00|日本|山口県萩市|慶長5年10月10日|<減封>安芸周防長門備中半国備後伯耆半国出雲隠岐石見120万5千石「毛利輝元」(西軍総大将、隠居)→長門萩29万8480石(長州藩, 1610年の検地で369,000石に高直し~元和9(1623)年9月10日, 正式に秀就へと家督譲渡)

1600年11月16日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|慶長5年10月11日|<死去>日向飢肥藩57000石「伊東祐兵」⇒「伊東祐慶」が継ぐ(~寛永13年4月4日(1636)死去)

1600年11月16日-09:00|日本|山形県鶴岡市|慶長5年10月11日|最上義光は上杉領の庄内南部へ侵攻、尾浦城を攻略

1600年11月17日-09:00|日本|高知県|慶長5年10月12日|<改易>土佐浦戸22万2千石「長宗我部盛親」関ヶ原西軍参加により廃絶/高野山に追放

1600年11月17日-09:00|日本|三重県鳥羽市|慶長5年10月12日|<死去>九鬼嘉隆が、子の守隆からの赦免を伝える急使の到着に間に合わず答志島和具で自刃(59歳)

1600年11月18日-09:00|日本|鳥取県八頭郡若桜町|慶長5年10月13日|<死去改易>因幡若桜2万石「木下(荒木)重堅」西軍参加, 近江大津城攻撃, 摂津一心院で自刃

1600年11月19日 00:00|イギリス|||<就任>初代オーストリア侯「チャールズ・スチュアート」(~1625)戴冠時に併合)

1600年11月19日-09:00|日本|熊本県宇土市|慶長5年10月14日|宇土城が開城. 小西行景が自害

1600年11月19日-09:00|日本|福岡県北九州市|慶長5年10月14日|黒田如水が小倉城を占領、筑後へ進軍

1600年11月20日-09:00|日本|||慶長5年10月15日|<改易>領土不明3万石「小野弥七郎」西軍参加

1600年11月20日-09:00|日本|愛知県|慶長5年10月15日|<加増移封>武蔵忍10万石「松平忠吉(徳川家康の四男)」⇒尾張清洲52万石(~慶長12年3月5日(1607)死去無嗣断絶)

1600年11月20日-09:00|日本|愛知県|慶長5年10月15日|<改易>尾張・伊勢国内10000石「川口宗勝」西軍に属し山城伏見城攻撃, 高野山に蟄居後、伊達政宗預かり

1600年11月20日-09:00|日本|愛知県|慶長5年10月15日|<拝領>三河水野藩1万石「水野忠胤(徳川譜代, 水野忠重二男)」(~慶長14年(1609)年10月16日切腹改易)

1600年11月20日-09:00|日本|愛知県犬山市|慶長5年10月15日|<拝領>尾張犬山2万7千石「小笠原吉次」(~慶長12(1607)年閏4月29日下総佐倉に転封)

1600年11月20日-09:00|日本|愛知県豊田市|慶長5年10月15日|<拝領>三河伊保藩1万石「丹羽氏次」(~慶長6(1601)年3月19日死去)

1600年11月20日-09:00|日本|青森県弘前市|慶長5年10月15日|<加増>陸奥弘前(堀越城)45000石「津軽為信」+上野国大館2000石⇒47000石(⇒慶長12年12月5日(1608)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|石川県小松市|慶長5年10月15日|<改易>加賀小松城主12万5450石「丹羽長重」関ヶ原西軍参加(後に1万石安堵)

1600年11月20日-09:00|日本|茨城県筑西市|慶長5年10月15日|<所領安堵>常陸下館3万1千石「水谷勝俊」(~慶長11年6月3日(1606)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|茨城県土浦市|慶長5年10月15日|<加増移封>下総市川5千石「松平信一」→常陸土浦3万5千石(~慶長9(1604)年, 桜井松平家から信吉を養子に迎えて家督を譲った)

1600年11月20日-09:00|日本|愛媛県|慶長5年10月15日|<改易>伊予国内15,000石「菅達長」西軍に属し伊勢湾警備

1600年11月20日-09:00|日本|愛媛県|慶長5年10月15日|<改易>伊予中予風早郡1万4000石「来島長親」(⇒慶長6(1601)年9月、豊後森1万4000石へ再封)

1600年11月20日-09:00|日本|愛媛県|慶長5年10月15日|<改易>伊予麻布1万石「安見勝之」西軍参加

1600迄(1719件)

1600年11月20日-09:00|日本|愛媛県|慶長5年10月15日|<所領安堵>風早郡内14000石「来島康親」(⇒翌年9月、豊後森1万4000石)

1600年11月20日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長5年10月15日|<加増>伊予板島8万石「藤堂高虎」⇒伊予今治20万石(⇒慶長13(1608)年、伊賀国内及び伊勢安濃郡・一志郡内22万石に加増移封)

1600年11月20日-09:00|日本|愛媛県伊予郡松前町|慶長5年10月15日|<加増移封>伊予松前10万石「加藤嘉明」⇒20万石(⇒慶長8(1603)年、本拠地を正木から勝山に移し地名を松山と改名)

1600年11月20日-09:00|日本|大分県|慶長5年10月15日|<所領安堵>豊後国日田・玖珠2郡(永山城)2万石「毛利高政」(⇒慶長6(1601)年4月5日、豊後佐伯2万石)

1600年11月20日-09:00|日本|大分県佐伯市|慶長5年10月15日|<移封>豊後隈府2万石「毛利高政」⇒豊後佐伯2万石(〜寛永5年11月16日(16281211)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|大分県竹田市|慶長5年10月15日|<所領安堵>豊後岡藩7万4千石「中川秀成」(⇒慶長17年8月14日(16120909)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府|慶長5年10月15日|<改易>摂津国内1万3千石「新庄直定」関ヶ原の戦いで西軍に与し(⇒慶長18(1613)年、常陸麻生藩27300石相続)

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府|慶長5年10月15日|<改易>領土不明1万石「矢部定政」西軍に属し近江大津城攻撃(後に200石安堵)

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|慶長5年10月15日|<加増>河内狭山6900石「北条氏盛」⇒河内狭山藩1万1千石立藩(〜慶長13年5月18日(16080630)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶長5年10月15日|<減封>摂津大坂222万石(大坂城)「豊臣秀頼」⇒摂津大坂657,400石/一大名に転落

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府岸和田市|慶長5年10月15日|<所領安堵>和泉岸和田3万石「小出秀政」(⇒慶長9年3月22日(16040421)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府摂津市|慶長5年10月15日|<立藩>摂津味舌3万石「織田長益」(摂津国島下郡2千石に大和国山辺郡27000石加増)(⇒元和元(1615)年8月、大和国式上郡・山辺郡・摂津国島下郡1万石を四男長政(戒重藩)に、式上郡・山辺郡1万石を五男尚長(柳本藩)に分与し残余の1万石は自分の養老領とした)

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府泉南郡岬町|慶長5年10月15日|<加増>和泉谷川1万石「桑山重晴」+孫の一晴から4000石、子の元晴から2000石譲渡⇒1万6千石(〜慶長11年10月1日(16061101)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|大阪府高槻市|慶長5年10月15日|<改易>摂津高槻3万石「新庄直頼」西軍参加、宇都宮に追放

1600年11月20日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長5年10月15日|<加増移封>筑前名島30万7千石「小早川秀秋」⇒備前(岡山)・美作51万石(〜慶長7(1602)年10月18日無嗣断絶)

1600年11月20日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶長5年10月15日|<拝領>備中庭瀬29200石「戸川達安」(〜寛永4年12月25日(16280131)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|香川県高松市|慶長5年10月15日|<所領安堵>讃岐高松171800石「生駒親正」(⇒翌年5月隠居)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県|慶長5年10月15日|<加増立藩>飛騨高山3万8千石「金森長近」+美濃国上有知1万8000石⇒飛騨高山藩(高山城)38000石・美濃上有知(鉾尾山城)18000石(〜慶長13年8月12日(16080920)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県|慶長5年10月15日|<拝領>美濃国内10000石「古田重然(織部)」(〜慶長20年6月11日(16150706)切腹改易)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡揖斐川町|慶長5年10月15日|<加増移封>美濃国曾根2万石「西尾光教」⇒美濃揖斐藩3万石(〜元和元年11月19日(16160108)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡揖斐川町|慶長5年10月15日|<加増移封>美濃曾根2万石「西尾光教」⇒美濃揖斐3万石(〜元和元年11月19日(16160108)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡大野町|慶長5年10月15日|<拝領>美濃野村1万石「織田長孝」(〜慶長11年7月5日(16060808)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県海津市|慶長5年10月15日|<加増移封>美濃松木3万7百石「徳永寿昌」⇒美濃高須5万673石(〜慶長17年7月10日(16120806)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県海津市|慶長5年10月15日|<拝領>美濃今尾1万石「市橋長勝」(⇒慶長15(1610)年、伯耆矢橋2万3000石へ加増移封)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|慶長5年10月15日|<所領安堵>美濃黒野4万石「加藤貞泰」(⇒慶長15(1610)年7月15日、伯耆米子藩6万石に加増移封)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県関市|慶長5年10月15日|<加増>美濃関藩11200石「大嶋光義」⇒18000石(〜慶長9(1604)年8月23日死去、所領を4人の息子たちに分知、それぞれ1万石以下の旗本となり廃藩)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県中津川市|慶長5年10月15日|<改易>美濃苗木1万石「川尻秀長」関ヶ原西軍参加/後に200俵支給

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県中津川市|慶長5年10月15日|<拝領>美濃苗木10521石「遠山友政」(〜元和5年12月19日(16200123)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|岐阜県羽島市|慶長5年10月15日|<改易>美濃加賀井10000石「加賀井(重望の子)」西軍に属し美濃大垣城守備、水野勝成に処刑される

1600年11月20日-09:00|日本|京都府綾部市|慶長5年10月15日|<改易>丹波国何鹿郡上林1万石「高田治忠」西軍に属し丹後田辺城攻撃

1600年11月20日-09:00|日本|京都府綾部市|慶長5年10月15日|<減封>丹波上林15000石「藤掛永勝」西軍に属し丹

1600迄 (1719件)

後田辺城攻撃⇒6000石

- 1600年11月20日-09:00|日本|京都府亀岡市|慶長5年10月15日|<所領安堵>丹波・亀山5万石「前田玄以」(～慶長7年5月20日(16020709)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|京都府京丹後市|慶長5年10月15日|<所領安堵>丹後国大野1万石「大野治長」(⇒慶長19(1614)年6月、5000石を豊臣秀頼より加増)
- 1600年11月20日-09:00|日本|京都府南丹市|慶長5年10月15日|<改易>丹波・美濃国内2万石「生熊長勝」西軍に属し尾張犬山城守備、常陸松岡城に幽閉され自刃
- 1600年11月20日-09:00|日本|京都府宮津市|慶長5年10月15日|<加増移封>信濃伊奈10万石「京極高知」⇒丹後宮津12万3千石(～元和8年8月12日(16220917)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|熊本県|慶長5年10月15日|<加増>肥後半国25万石「加藤清正」隈本(熊本)城主⇒天草、球磨郡を除く肥後1国52万石(～慶長16(1611)年6月24日死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|熊本県人吉市|慶長5年10月15日|<所領安堵>肥後人吉2万石「相良頼房」(～寛永13年6月13日(16360715)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|群馬県安中市|慶長5年10月15日|<拝領>上野板鼻1万石「里見忠重(義康弟)」(⇒慶長18(1613)年10月1日職務怠慢で改易)
- 1600年11月20日-09:00|日本|埼玉県川口市|慶長5年10月15日|<立藩>武蔵鳩ヶ谷1万石「阿部正次(徳川譜代)」
- 1600年11月20日-09:00|日本|滋賀県|慶長5年10月15日|<改易>近江国内12000石「樋口雅兼」西軍に属し山城伏見城攻撃
- 1600年11月20日-09:00|日本|滋賀県|慶長5年10月15日|<改易>近江国内1万石「服部正栄」西軍に属し大坂安堂寺町守備
- 1600年11月20日-09:00|日本|滋賀県|慶長5年10月15日|<改易>近江新庄城主14600石「新庄直忠」関ヶ原の戦いでは西軍に属し
- 1600年11月20日-09:00|日本|滋賀県高島市|慶長5年10月15日|<減封>近江朽木谷20000石「朽木元綱」小早川秀秋らと共に本戦で寝返るが戦後、所領を減らされる⇒9600石
- 1600年11月20日-09:00|日本|滋賀県高島市|慶長5年10月15日|<立藩>近江高島1万5千石「佐久間安政」(⇒慶長12(1607)年、常陸国小田5000石を加増され合計2万石)
- 1600年11月20日-09:00|日本|滋賀県長浜市|慶長5年10月15日|<改易>近江国友20000石「野村直隆」西軍に属し山城伏見城攻撃
- 1600年11月20日-09:00|日本|滋賀県彦根市|慶長5年10月15日|<加増移封>上野高崎12万石「井伊直政」⇒近江国佐和山18万石(⇒慶長7年2月1日(16020324)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|島根県松江市|慶長5年10月15日|<加増移封>遠江国浜松12万石「堀尾忠氏」⇒出雲松江藩24万石(～慶長9年8月4日(16040828)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|島根県松江市|慶長5年10月15日|<加増移封>遠江浜松12万石「堀尾忠氏」⇒出雲松江24万石(隠岐も領有)(～慶長9年8月4日(16040828)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶長5年10月15日|<加増>上総佐貫2万石「内藤政長」+1万石⇒3万石(⇒慶長20(1615)年1万石加増)
- 1600年11月20日-09:00|日本|千葉県館山市|慶長5年10月15日|<加増>安房国(館山城)9万1千石「里見義康」+常陸国鹿島郡3万石⇒12万石(～慶長8年11月16日(16031218)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|千葉県船橋市|慶長5年10月15日|<加増>下総栗原4千石「成瀬正成」+甲斐国内2万石・三河国加茂郡内1万石⇒下総栗原藩34000石立藩(～元和3(1617)年尾張犬山藩)
- 1600年11月20日-09:00|日本|東京都|慶長5年10月15日|<加増>武蔵江戸256万石「徳川家康(東軍総大将)」⇒日本各地400万石
- 1600年11月20日-09:00|日本|徳島県徳島市|慶長5年10月15日|<交替>阿波徳島18万5700石「蜂須賀家政」隠居⇒子の「蜂須賀至鎮」が継ぐ(⇒慶長20(1615)年間6月4日淡路7万石を加増され25万7千石)
- 1600年11月20日-09:00|日本|栃木県大田原市|慶長5年10月15日|<加増>下野黒羽1万3千石「大関資増」⇒1万4千石(⇒慶長9(1604)年、6000石加増)
- 1600年11月20日-09:00|日本|栃木県栃木市|慶長5年10月15日|<加増>下野皆川1万3千石「皆川広照」⇒3万石(⇒慶長8(1603)年信濃飯山藩7万5000石)
- 1600年11月20日-09:00|日本|栃木県栃木市|慶長5年10月15日|<拝領>下野西方15000石「藤田信吉」(上杉氏旧臣)(⇒慶長20(1615)年改易)
- 1600年11月20日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|慶長5年10月15日|<加増>下野烏山2万石「成田泰親」⇒37000石(～元和2年12月18日(16170125)死去)、氏宗(泰之)と続く(～元和8年改易)
- 1600年11月20日-09:00|日本|栃木県日光市|慶長5年10月15日|<拝領>下野板橋1万石「松平一生」(～慶長9年4月25日(16040523)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|慶長5年10月15日|<改易>伯耆羽衣石4万石「南条元忠(伯耆南条氏)」西軍に属し近江大津城攻撃
- 1600年11月20日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|慶長5年10月15日|<加増>因幡鹿野13800石「亀井茲矩」+因幡高草郡2400石⇒因幡鹿野藩38000石(～慶長17年1月26日(16120227)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|慶長5年10月15日|<加増移封>近江国内1万5千石「池田長吉(輝政弟)」⇒因幡鳥取藩6万石立藩(～慶長19年9月24日(16141027)死去)
- 1600年11月20日-09:00|日本|富山県富山市|慶長5年10月15日|<拝領>越中布市1万5千石「土方雄久」(⇒慶長13(1608)年能登国石崎1万石⇒下総国田子15000石)

1600迄 (1719件)

1600年11月20日-09:00|日本|長崎県対馬市|慶長5年10月15日|<所領安堵>対馬府中藩2万石「宗義智」(⇒慶長10(1605)年2月、28000石)
1600年11月20日-09:00|日本|長野県|慶長5年10月15日|<改易>信濃国内1万石「毛利秀秋」西軍に属し山城伏見城攻撃
1600年11月20日-09:00|日本|長野県伊那市|慶長5年10月15日|<加増移封>下総多古1万石「保科正光(徳川譜代)」⇒信濃高遠2万5千石(寛永8年10月7日(1631)死去)
1600年11月20日-09:00|日本|長野県上田市|慶長5年10月15日|<加増>上野沼田2万7千石「真田信之」⇒信濃上田95000石(⇒元和8(1622)年10月、信濃松代13万石に加増移封(沼田3万石は継承))
1600年11月20日-09:00|日本|長野県小諸市|慶長5年10月15日|<所領安堵>信濃小諸57000石「仙石秀久」(⇒慶長19年5月6日(1614)死去)
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県|慶長5年10月15日|<改易>大和岸田1万石「岸田忠氏」西軍参加
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県|慶長5年10月15日|<改易>大和広瀬20000石「箸尾高春」西軍に属し大和高取城攻撃
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県|慶長5年10月15日|<改易>大和国内1万8千石「織田信雄」大坂で傍観
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県宇陀市|慶長5年10月15日|<加増移封>伊勢長島1万石「福島高晴(福島正則の弟)」⇒大和松山3万石(慶長20(1615)年6月25日改易)
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県宇陀市|慶長5年10月15日|<改易>大和宇陀2万石「多賀秀種(堀秀政弟)」西軍に属し近江大津城攻撃、越後へ追放
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県葛城市|慶長5年10月15日|<移封>紀伊和歌山2万石「桑山一晴」4000石を祖父の重晴に隠居料として分与⇒大和布施1万6千石(慶長9年2月26日(1604)死去)
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県五條市|慶長5年10月15日|<拝領>大和五条藩(二見城)10000石「松倉重政」(⇒元和1(1615)年12月26日、肥前日野江4万3千石)
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県御所市|慶長5年10月15日|<加増>大和御所1万石「桑山元晴」+大和葛上郡2000石⇒大和御所藩12000石立藩(元和6年7月20日(1620)死去)
1600年11月20日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|慶長5年10月15日|<加増>大和高取15000石「本多利久」⇒25000石(慶長8(1603)年8月13日死去)
1600年11月20日-09:00|日本|新潟県新発田市|慶長5年10月15日|<所領安堵>越後新発田6万石「溝口秀勝」(慶長15年(1610)9月28日死去)
1600年11月20日-09:00|日本|新潟県上越市|慶長5年10月15日|<所領安堵>越後春日山45万石「堀秀治」(慶長11年5月26日(1606)死去)
1600年11月20日-09:00|日本|新潟県村上市|慶長5年10月15日|<所領安堵>越後村上9万石「村上頼勝」(慶長9(1604)年5月28日死去)
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県|慶長5年10月15日|<改易>播磨国内1万7千石「横浜茂勝」西軍に属し近江大津城攻撃
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県|慶長5年10月15日|<改易>播磨国内2万石「木下延重」西軍に属し山城伏見城攻撃
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|慶長5年10月15日|<拝領>播州赤穂2万2000石「池田長政(輝政弟)」(池田本家より1万5000石加増)(⇒慶長8(1603)年備前下津井32000石)
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県丹波市|慶長5年10月15日|<改易>丹波国内1万石「木下俊定(家定の子)」西軍に属し近江大津城攻撃
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県丹波市|慶長5年10月15日|<所領安堵>丹波国柏原藩3万6000石「長野信良(織田信包)」(⇒慶長19年7月17日(1614)死去)
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|慶長5年10月15日|<所領安堵>但馬豊岡25000石「杉原長房」(⇒慶長16(1611)年8月16日、浅野長政遺領常陸小栗庄5000石を分与される)
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県姫路市|慶長5年10月15日|<加増移封>三河吉田15万2千石「池田輝政」→播磨・備前・淡路52万石(姫路城主)(慶長18年1月25日(1613)死去)
1600年11月20日-09:00|日本|兵庫県養父市|慶長5年10月15日|<所領安堵>但馬国八木15000石「別所吉治」丹波由良藩(⇒慶長20(1615)年5000石加増し2万石)
1600年11月20日-09:00|日本|広島県広島市|慶長5年10月15日|<加増移封>尾張清洲20万石「福島正則」⇒安芸広島49万8223石(元和5(1619)年6月2日改易・信濃川中島へ)
1600年11月20日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|慶長5年10月15日|<改易>若狭高浜2万石「木下利房」西軍参加(後に2万5千石安堵)
1600年11月20日-09:00|日本|福井県小浜市|慶長5年10月15日|<加増移封>近江大津城6万石「京極高次」⇒若狭小浜8万5000石(⇒翌年近江国高島郡7100石加増)
1600年11月20日-09:00|日本|福井県南条郡南越前町|慶長5年10月15日|<改易>越前今庄1万2千石「赤座直保(吉家)」西軍参加、小早川秀秋などと共に寝返るが許されず/子孫は加賀藩士
1600年11月20日-09:00|日本|福岡県大牟田市|慶長5年10月15日|<改易>筑後内山1万8000石「高橋(立花)直次(立花宗茂弟)」西軍参加/後に5000石安堵
1600年11月20日-09:00|日本|福岡県久留米市|慶長5年10月15日|鍋島軍が久留米城攻略/その後立花宗茂の柳川城を攻撃
1600年11月20日-09:00|日本|福岡県福岡市|慶長5年10月15日|<加増移封>豊前中津18万石「黒田長政」⇒筑前福岡50万2416石(元和9年8月4日(1623)死去)

1600迄 (1719件)

1600年11月20日-09:00|日本|福島県いわき市|慶長5年10月15日|<加増移封>下総矢作4万石「鳥居忠政」⇒陸奥磐城平10万石(⇒元和8(1622)年、出羽山形22万石に加増移封)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県|慶長5年10月15日|<改易>伊勢・摂津国内10,000石「山中長俊」西軍に属し大坂城留守居

1600年11月20日-09:00|日本|三重県亀山市|慶長5年10月15日|<移封>美濃多良3万石「関一政」⇒伊勢亀山3万石(⇒慶長15(1610)年7月19日、伯耆黒坂5万石)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|慶長5年10月15日|<加増移封>尾張黒田3万5千石「一柳直盛」⇒伊勢神戸5万石(〜寛永13(1636)年6月1日伊予西条68000石)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|慶長5年10月15日|<改易>伊勢神戸3万2千石「滝川雄利」西軍参加、神戸城に籠城/後に2万石安堵

1600年11月20日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年10月15日|<加増>伊勢安濃津5万石「富田信高(知信)」⇒7万石(⇒慶長13(1608)年伊予宇和島へ)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年10月15日|<加増>伊勢上野1万石「分部光嘉」+1万石⇒伊勢上野藩2万石立藩(〜慶長6年11月29日(16011223)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年10月15日|<改易>伊勢雲出1万石「蒔田広定」西軍に属し伊勢安濃津城攻め、後に備中浅尾1万石

1600年11月20日-09:00|日本|三重県津市|慶長5年10月15日|<所領安堵>伊勢林藩1万石「織田信重」(⇒慶長20(1615)年閏6月29日、所領収公)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県鳥羽市|慶長5年10月15日|<加増>伊勢志摩35000石「九鬼守隆」⇒55000石(⇒慶長19(1614)年1000石加増)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県松阪市|慶長5年10月15日|<加増>伊勢松阪37000石「古田重勝」⇒55000石(〜慶長11年6月16日(16060720)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県三重郡菰野町|慶長5年10月15日|<拝領>伊勢菰野1万2千石「土方雄氏」(〜寛永12(1635)年3月隠居)

1600年11月20日-09:00|日本|三重県度会郡玉城町|慶長5年10月15日|<加増移封>伊勢岩出25700石「稲葉道通」⇒伊勢田丸45700石(〜慶長12年12月12日(16080129)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|宮城県大崎市|慶長5年10月15日|<加増>陸奥岩出山58万石「伊達政宗」徳川家康より刈田郡2万石⇒60万石

1600年11月20日-09:00|日本|宮城県児湯郡高鍋町|慶長5年10月15日|<所領安堵>日向高鍋3万石「秋月種長」(〜慶長19年6月13日(16140719)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|宮城県延岡市|慶長5年10月15日|<所領安堵>日向国縣5万3千石「高橋元種」(〜慶長18(1613)年10月24日改易)

1600年11月20日-09:00|日本|宮城県宮崎市|慶長5年10月15日|<所領安堵>日向飫肥5万7000石「伊東祐兵」(〜10月11日死去)

1600年11月20日-09:00|日本|和歌山県田辺市|慶長5年10月15日|<改易>紀伊田辺1万9000石「杉若氏宗」西軍参加

1600年11月20日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|慶長5年10月15日|<加増移封>甲斐府中21万7千石「浅野幸長(長政長男)」⇒紀伊和歌山39万5千石(〜慶長18年8月25日(16131009)死去)

1600年11月20日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|慶長5年10月15日|<改易>紀伊平井10000石「鈴木重朝」西軍に属し山城伏見城攻撃、鳥居元忠を討ち取る

1600年11月22日-09:00|日本|秋田県仙北市|慶長5年10月17日|秋田実季が、由利衆とともに小野寺氏の大森城を攻略

1600年11月22日-09:00|日本|石川県|慶長5年10月17日|<加増>加賀・金沢83.5万石「前田利長」+利政旧領能登21万石と加賀西部の西軍大名の旧領⇒加賀・能登・越中119.5万石(〜慶長10(1605)年6月28日隠居)以後前田氏が襲封

1600年11月22日-09:00|日本|石川県七尾市|慶長5年10月17日|<改易>能登七尾215000石「前田利政(前田利長弟)」西軍参加、在国し出陣拒否

1600年11月22日-09:00|日本|熊本県八代市|慶長5年10月17日|加藤清正家臣の吉村左近は小西領八代城を接收

1600年11月25日-09:00|日本|福岡県柳川市|慶長5年10月20日|立花宗茂は柳川北方で鍋島直茂勢と衝突し(江上合戦・八院の戦い・柳川合戦)立花了均(鎮実)・三太夫統次・新田鎮実らの重臣を失い、宿老の小野鎮幸も重傷を負うなどの大打撃を受けた

1600年11月27日-09:00|日本|秋田県横手市|慶長5年10月22日|最上軍(湯沢豊前・鮭延典膳・延沢遠江ら)仙北柳田城を攻略

1600年11月28日-09:00|日本|熊本県宇土市|慶長5年10月23日|加藤清正が小西行長の家臣・小西行景の守る宇土城を開城させる

1600年11月30日-09:00|日本|福岡県柳川市|慶長5年10月25日|<改易>筑後柳川城13万2000石「立花宗茂」加藤清正に降伏開城

1600年12月3日-09:00|日本|兵庫県朝来市|慶長5年10月28日|<死去改易>但馬竹田2万2千石(龍野城主)「斎村政広(赤松広通)」西軍参加、鳥取城城下焼き払いの咎で鳥取の真教寺で切腹

1600年12月4日-01:00|オランダ/フィリピン|||マヘッサの海戦でオランダがフィリピン攻撃を開始

1600年12月6日-09:00|日本|島根県浜田市|慶長5年11月|<拝領>石見浜田2万石「坂崎直盛(宇喜多詮家)」(⇒翌年10月石見津和野藩3万石)

1600年12月6日-09:00|日本|鳥取県米子市|慶長5年11月|<加増移封>駿河府中15万石「中村一忠」⇒伯耆一国(米子城)17万5000石(〜慶長14年5月11日(16090612)死去無嗣改易)

1600迄(1719件)

1600年12月6日-09:00|日本|福岡県柳川市|慶長5年11月|<加増移封>三河国岡崎城10万石「田中吉政」⇒筑後一国柳川城32万石(〜慶長14年2月18日(16090323)死去)

1600年12月6日-07:00|ベトナム|||大越黎朝・弘定1年11月|大越後黎朝5代・敬宗が弘定と改元(〜1619年旧5月)

1600年12月7日-09:00|日本|鹿児島県|慶長5年11月2日|南下してきた黒田如水に対し、島津義久が家康へ使者を送ったこと、取り成しを依頼したいと伝え和睦が成立

1600年12月7日-09:00|日本|山口県岩国市|慶長5年11月2日|<分封>周防岩国(玖珂郡一円)37129石「吉川広家」毛利輝元より(〜慶長19年(1614)年12月22日隠居)

1600年12月7日-09:00|日本|山口県山口市|慶長5年11月2日|<分封>長門国豊浦郡・厚狭郡47802石(長府藩)「毛利秀元」毛利輝元より分与(後高直し6万石〜慶安3年閏10月3日(16501126)死去)

1600年12月12日-09:00|日本|高知県|慶長5年11月7日|<加増移封>遠江掛川59000石「山内一豊」⇒土佐国内9万8000石(後の検地で20万2600石〜慶長8(1603)年土佐高知へ)

1600年12月12日-09:00|日本|高知県|慶長5年11月7日|<改易>土佐浦戸22万2000石「長宗我部盛親」西軍参加、高野山に追放

1600年12月13日-09:00|日本|愛知県西尾市|慶長5年11月8日|新左衛門ら、三河国阿弥陀寺の如意輪観音像を再興

1600年12月14日-09:00|日本|大分県中津市|慶長5年11月9日|<加増移封>丹後舞鶴12万石「細川忠興」⇒豊前中津39000石(⇒慶長7(1602)年11月藩庁を小倉城に移し小倉藩となる)

1600年12月16日-01:00|ドイツ|||<死去>プファルツ=ツグアイフ・リュッケン=ビルケンフェルト公「カール1世」

1600年12月16日-01:00|ドイツ|||<即位>プファルツ=ツグアイフ・リュッケン=ビルケンフェルト公「ゲオルク・ヴィルヘルム」(〜16691225死去)

1600年12月20日 03:00|アルゼンチン/スペイン|||<死去>リオ・デ・ラ・プラタ総督「デ・イエコ・ロドリゲス・バルデス・イ・ラ・バント」

1600年12月20日 03:00|アルゼンチン/スペイン|||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「フランス・ト・ホーモント・イ・ナヴァラ」(1回目〜1602年)

1600年12月20日 04:00|パラグアイ/スペイン|||<死去>スペイン領ヌエバ・アンダルス総督「デ・イエコ・ロドリゲス・バルデス・イ・ラ・バント」

1600年12月20日 04:00|パラグアイ/スペイン|||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス暫定総督「フランソワ・ト・ホーモン・イ・ナヴァラ」(⇒1601年、総督〜1602年)

1600年12月22日-09:00|日本|埼玉県川口市|慶長5年11月17日|<加増>武蔵鳩ヶ谷5千石「阿部正次」+相模一宮5千石⇒1万石(〜元和3(1617)年9月上総大多喜3万石)

1600年12月23日-09:00|日本|愛媛県|慶長5年11月18日|<加増移封>伊予松前(正木)10万石「加藤嘉明」⇒伊予半国20万石(〜慶長8(1603)年10月、本拠地を勝山に移し地名を松山と改名)

1600年12月23日-09:00|日本|愛媛県今治市|慶長5年11月18日|<加増移封>伊予大洲8万3千石「藤堂高虎」⇒伊予国分20万石(⇒慶長9(1604)年伊予今治へ/今張の地を今治と改名)

1600年12月24日-09:00|日本|高知県|慶長5年11月19日|<土佐浦戸一揆>長宗我部遺臣、土佐でお家再興のために一揆を起こす

1600年12月25日-05:30|インド/ポルトガル|||<就任>ポルトガル領インド総督「アリス・デ・サルターニャ」(〜16050520死去)

1600年12月31日 00:00|イギリス/インド|||イギリス東インド会社を設立